



An Oshkosh Corporation Company

---

# 操作・安全マニュアル

このマニュアルは常に本機とともに保管してください。

ブームリフト・モデル

**E300AJ**

**E300AJP**

**S/N 0300211844 以降**

---

**ANSI** **CE**  **AS/NZS**

**3123980**

November 5, 2018 - Rev E

Japanese - Operation and Safety



## 序文

本書は非常に重要なツールです。常に機械とともに保管してください。

本書の目的は、オーナー、ユーザー、オペレータ、貸主、借主それぞれに、本来の用途に合った安全で正しい機械操作に欠かせない注意事項と操作手順を説明することにあります。

製品は常に改善されているため、JLG Industries, Inc. は、予告なく仕様の変更を行う権利を保有します。更新された情報については JLG Industries, Inc. までお問い合わせください。

## 安全警告記号、警告文



これは「安全警告記号」です。人身傷害の危険性のあることを知らせるためのものです。人身障害や死亡事故を防ぐため、この記号に続く安全に関するメッセージに従ってください。

### ⚠ 危険

切迫した危険な状態を示します。回避しなければ、重大な傷害または死亡事故につながります。このステッカーの背景は赤色です。

### ⚠ 警告

潜在的に危険な状況を示します。回避しなければ、重大な傷害または死亡事故につながる可能性があります。このステッカーの背景はオレンジ色です。

### ⚠ 注意

潜在的に危険な状況を示します。回避しないと軽傷又は中程度の傷害を招く可能性があります。また、不安全な作業慣習への警告をする場合もあります。このステッカーの背景は黄色です。

### 注記

人身の安全または資産の保護に直接的、間接的にかかわる情報あるいは企業方針を示します。

**警告**

本製品はすべての安全関連公報を順守しなければなりません。JLG INDUSTRIES 社、または、JLG の認定する代表者に連絡し、本製品のために発行された安全関連公報についての情報を入手してください。

**注記**

JLG INDUSTRIES, INC. は本作業車の、記録上のオーナーに安全関連公報を送付します。現在のオーナー記録が更新された正確なものであるか確認するには、JLG INDUSTRIES, INC. までお問い合わせください。

**注記**

JLG 製品が作業者の身体的負傷、あるいは、死亡を含む事故に関わった、あるいは、個人的資産、または、JLG 製品に重大な損害があった場合、ただちに JLG INDUSTRIES, INC. に連絡してください。

**次の場合：**

- 事故の報告
- 製品の安全に関する出版物
- 現在のオーナーの最新情報
- 製品の安全に関する質問
- 標準・規制への対応に関する情報
- 製品の用途に関する質問
- 製品の変更・改変に関する質問

**連絡先：**

製品安全性・信頼性部門  
JLG Industries, Inc.  
13224 Fountainhead Plaza  
Hagerstown, MD 21742  
USA

またはお近くの JLG オフィス  
(マニュアル表紙内側に記載の住所を参照)

**米国：**

フリーダイヤル： 877-JLG-SAFE (877-554-7233)

**米国外：**

電話： 240-420-2661  
ファックス： 301-745-3713  
電子メール： ProductSafety@JLG.com

## 改訂記録

初版	A - 2015 年 9 月 30 日
改訂	B - 2015 年 10 月 19 日
改訂	C - 2018 年 5 月 30 日
改訂	D - 2018 年 6 月 29 日 - 表紙、Prop 65 の改訂
改訂	E - 2018 年 11 月 5 日

セクション-段落、タイトル	ページ	セクション-段落、タイトル	ページ
<b>セクション-1-安全上の注意</b>		SkyGuard 機能テスト .....	2-9
1.1 概要 .....	1-1	<b>セクション-3-機械のコントロールとインジケータ</b>	
1.2 操作前の準備 .....	1-1	3.1 概要 .....	3-1
オペレータのトレーニングと知識 .....	1-1	3.2 制御装置およびインジケータ .....	3-1
作業場の検査 .....	1-2	地上制御盤 .....	3-2
機械の検査 .....	1-3	バスケットのステーション .....	3-10
1.3 操作 .....	1-3	バスケット制御インジケータパネル .....	3-15
概要 .....	1-3	<b>セクション-4-機械の操作</b>	
転倒・落下の危険 .....	1-4	4.1 説明 .....	4-1
感電の危険 .....	1-5	4.2 ブーム操作の特性と制限 .....	4-2
転倒の危険 .....	1-7	容量 .....	4-2
クラッシュ・衝突の危険 .....	1-10	安定性 .....	4-2
1.4 牽引、リフト、搬送 .....	1-11	4.3 モーター操作 .....	4-6
1.5 メンテナンス .....	1-11	電源 / 緊急停止スイッチ .....	4-6
メンテナンスの危険 .....	1-11	バスケット / 地上選択スイッチ .....	4-6
バッテリーの危険 .....	1-13	モーター起動 .....	4-6
<b>セクション-2-ユーザーの責任、機械の準備、および点検</b>		4.4 走行（運転） .....	4-7
2.1 スタッフのトレーニング .....	2-1	前後への走行 .....	4-9
オペレータのトレーニング .....	2-1	斜面の走行 .....	4-10
トレーニングの監督 .....	2-1	4.5 ステアリング .....	4-10
オペレータの責任 .....	2-1	4.6 バスケット .....	4-10
2.2 準備、検査、メンテナンス .....	2-2	バスケットの平準の調整 .....	4-10
始業点検 .....	2-5	バスケットの回転 .....	4-10
毎日のウォークアラウンド点検 .....	2-6		
機能チェック .....	2-8		

セクション-段落、タイトル	ページ	セクション-段落、タイトル	ページ
4.7 ブーム	4-11	5.4 緊急牽引手順	5-2
ブームのスイング	4-12	5.5 手動下降システム	5-3
上部ブームの上昇と下降	4-12	5.6 手動スイング優先	5-5
4.8 機能の速度コントロール	4-12	5.7 機械安全性システムオーバーライド (MSSO) (CE のみ)	5-5
4.9 機械安全性システムオーバーライド (MSSO) (CE のみ)	4-13		
4.10 SKYGUARD の操作	4-13	<b>セクション-6- アクセサリー</b>	
SkyGuard	4-13	6.1 パイプラック	6-2
SkyGuard - SkyLine	4-14	安全上の注意	6-2
SkyGuard - SkyEye	4-14	準備および検査	6-3
SkyGuard 機能表	4-15	操作	6-3
4.11 停止と駐車	4-16		
4.12 リフトおよびタイダウン	4-16	<b>セクション-7- 一般仕様およびオペレータ保守</b>	
リフト	4-16	7.1 はじめに	7-1
タイダウン	4-16	7.2 動作仕様および性能データ	7-1
		動作仕様	7-1
		寸法データ	7-3
		容量	7-4
		タイヤ	7-4
		油圧オイル	7-4
		主要構成要素の重量	7-8
		7.1 オペレータによるメンテナンス	7-10
		7.1 バッテリーのメンテナンスおよび充電	7-14
		バッテリーのメンテナンス、四半期ごと	7-14
		バッテリーの充電 (毎日)	7-15
<b>セクション-5- 緊急時の対応</b>			
5.1 概要	5-1		
5.2 事故の通知	5-1		
5.3 緊急時の操作	5-1		
オペレータが機械を制御できない	5-1		
バスケットまたはブームが頭上で 引っかかっている	5-2		



---

セクション-段落、タイトル	ページ	セクション-段落、タイトル	ページ
7.2 タイヤおよび車輪 .....	7-16		
タイヤの交換 .....	7-16		
車輪とタイヤの交換 .....	7-16		
車輪の取り付け .....	7-16		
7.1 補足情報 .....	7-17		
<b>セクション-8-点検と修理の記録</b>			

セクション-段落、タイトル

ページ

セクション-段落、タイトル

ページ

このページは意図的に余白にしてあります。

図番号 — タイトル ページ

2-1.	基本的な部分名称 .....	2-4
3-1.	地上制御盤 - E300AJ .....	3-3
3-2.	地上制御盤 - E300AJ 機械安全性システムオ ーバーライド (MSSO) 付属 (CE のみ) .....	3-4
3-3.	地上制御盤 - E300AJP .....	3-5
3-4.	地上制御盤 - E300AJP 機械安全性システムオ ーバーライド (MSSO) 付属 (CE のみ) .....	3-6
3-5.	バスケット制御コンソール .....	3-11
3-6.	バスケット制御インジケータパネル .....	3-16
4-1.	前方安定度が最低となる位置 .....	4-3
4-2.	後方安定度が最低となる位置 - E300AJ .....	4-4
4-3.	後方安定度が最低となる位置 - E300AJP .....	4-5
4-4.	勾配および横方向傾斜 .....	4-8
4-5.	斜面の走行 .....	4-10
4-6.	リフト・固定図 .....	4-17
4-7.	ANSI ステッカー位置シート 1/5 .....	4-18
4-8.	ANSI ステッカー位置シート 2/5 .....	4-19
4-9.	ANSI ステッカー位置シート 3/5 .....	4-20
4-10.	ANSI ステッカー位置シート 4/5 .....	4-21
4-11.	ANSI ステッカー位置シート 5/5 .....	4-22
4-12.	CE/ オーストラリア ステッカー位置シート 1/5 .....	4-25
4-13.	CE/ オーストラリア ステッカー位置シート 2/5 .....	4-26
4-14.	CE/ オーストラリア ステッカー位置シート 3/5 .....	4-27
4-15.	CE/ オーストラリア ステッカー位置シート 4/5 .....	4-28
4-16.	CE/ オーストラリア ステッカー位置シート 5/5 .....	4-29
4-17.	日本語ステッカー位置シート 1/5 .....	4-32

図番号 — タイトル ページ

4-18.	日本語ステッカー位置シート 2/5 .....	4-33
4-19.	日本語ステッカー位置シート 3/5 .....	4-34
4-20.	日本語ステッカー位置シート 4/5 .....	4-35
4-21.	日本語ステッカー位置シート 5/5 .....	4-36
4-22.	韓国語ステッカー位置シート 1/5 .....	4-39
4-23.	韓国語ステッカー位置シート 2/5 .....	4-40
4-24.	韓国語ステッカー位置シート 3/5 .....	4-41
4-25.	韓国語ステッカー位置シート 4/5 .....	4-42
4-26.	韓国語ステッカー位置シート 5/5 .....	4-43
4-27.	スペイン語ステッカー位置シート 1/5 .....	4-46
4-28.	スペイン語ステッカー位置シート 2/5 .....	4-47
4-29.	スペイン語ステッカー位置シート 3/5 .....	4-48
4-30.	スペイン語ステッカー位置シート 4/5 .....	4-49
4-31.	スペイン語ステッカー位置シート 5/5 .....	4-50
4-32.	フランス語ステッカー位置シート 1/5 .....	4-53
4-33.	フランス語ステッカー位置シート 2/5 .....	4-54
4-34.	フランス語ステッカー位置シート 3/5 .....	4-55
4-35.	フランス語ステッカー位置シート 4/5 .....	4-56
4-36.	フランス語ステッカー位置シート 5/5 .....	4-57
4-37.	中国語ステッカー位置シート 1/5 .....	4-60
4-38.	中国語ステッカー位置シート 2/5 .....	4-61
4-39.	中国語ステッカー位置シート 3/5 .....	4-62
4-40.	中国語ステッカー位置シート 4/5 .....	4-63
4-41.	中国語ステッカー位置シート 5/5 .....	4-64
4-42.	ポルトガル語ステッカー位置シート 1/5 .....	4-67
4-43.	ポルトガル語ステッカー位置シート 2/5 .....	4-68

## 図一覧

---

### 図番号 — タイトル ページ

- 4-44. ポルトガル語ステッカー位置シート 3/5 ..... 4-69
- 4-45. ポルトガル語ステッカー位置シート 4/5 ..... 4-70
- 4-46. ポルトガル語ステッカー位置シート 5/5 ..... 4-71
- 5-1. 手動下降の位置..... 5-4
- 7-1. オペレータによるメンテナンスおよび注油の図... 7-9

### 図番号 — タイトル ページ

## 表番号 — タイトル ページ

1-1	最小接近距離 (M.A.D.) .....	1-6
1-2	ビューフォースケール (参考用のみ) .....	1-9
2-1	検査・メンテナンス表 .....	2-3
6-1	市販アクセサリ .....	6-1
7-1	動作仕様 - E300AJ .....	7-1
7-2	動作仕様 - E300AJP .....	7-2
7-3	寸法データ - E300AJ .....	7-3
7-4	寸法データ - E300AJP .....	7-3
7-5	容量 .....	7-4
7-6	タイヤ .....	7-4
7-7	油圧オイル .....	7-4
7-8	Mobil DTE 11M 仕様 .....	7-5
7-9	DTE 10 Excel 15 の仕様 .....	7-5
7-10	Mobilfluid 424 仕様 .....	7-6
7-11	Mobil EAL 224H の仕様 .....	7-6
7-12	Mobil EAL EnviroSyn H の仕様 .....	7-7
7-13	Quintolubric 888-46 .....	7-7
7-14	臨界安定性重量 .....	7-8
7-15	潤滑油仕様 .....	7-10
7-16	ホイールトルク表 .....	7-17
8-1	点検と修理の記録 .....	8-1

## 表番号 — タイトル ページ

## 表一覧

---

表番号 — タイトル ページ

表番号 — タイトル ページ

このページは意図的に余白にしてあります。

## セクション1. 安全上の注意

### 1.1 概要

ここでは、機械を安全かつ正しく使用し維持するために必要な注意事項を示します。適切に機械を使用するために、必ず本書の内容に基づいて日常業務を確立してください。また、本書と「サービス・メンテナンス マニュアル」の情報から、有資格者がメンテナンスプランを立て、これに従って機械が安全に操作されるようにする必要があります。

本機の所有者 / ユーザー / オペレータ / 貸主 / 借主は、本書を読み、トレーニングを修了し、経験と資格のあるオペレータの監督下で機械の操作が終了するまで操作の責任を引き受けてはなりません。

このセクションには、安全性、トレーニング、点検、メンテナンス、用途、および操作に関する所有者、ユーザー、オペレータ、貸主、および借主の責任が含まれます。安全性、トレーニング、点検、メンテナンス、用途、および操作に関してご質問がある場合は JLG 株式会社（以下 "JLG"）にご連絡ください。

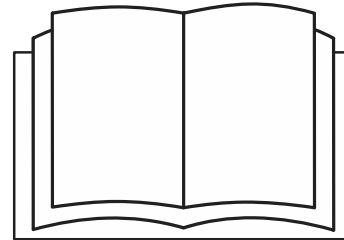
### 警告

本書に示した安全上の注意を守らない場合、機械や物品の破損、人身傷害、死亡事故を招くことがあります。

### 1.2 操作前の準備

#### オペレータのトレーニングと知識

- 機械を操作する前に「操作・安全マニュアル」を通して読み、内容をご理解ください。本書に関する質問、情報などについては、JLG Industries, Inc. までお問い合わせください。



- ・オペレータは、承認された有資格者によるトレーニングを受けるまで操作の責任を引き受けることはできません。
- ・機械を操作できるのは、機械の正しく安全な操作とメンテナンスの方法を理解していることを実際に操作することによって示し、承認された有資格者に限られます。
- ・本機およびこのマニュアルの「危険」、「警告」、「注意」および操作説明を全て読み、理解し、順守してください。
- ・JLGにより決められている用途の範囲内で機械を使用するようにしてください。
- ・このマニュアルに記されているとおり、操作担当者は全員、緊急時に使用するボタンなどの装置と緊急時の機械操作に精通する必要があります。
- ・機械の使用と用途にかかわる雇用主、地方、政府の規制をすべて読み、理解し、これに従ってください。

### 作業場の検査

- ・本機を操作する前に、作業場のあらゆる危険を回避するための安全策を講じる必要があります。
- ・JLGにより書面で承認されない限り、トラック、トレーラー、鉄道車両、船舶、足場またはその他の機器から作業台を操作したり、上昇させたりしないでください。
- ・操作する前、電線、橋形クレーンなど、作業場の高所に危険な個所がないか確認してください。
- ・穴、突起、急斜面、障害物、塵埃、見えない穴など、作業面に危険なものがないか確認してください。
- ・作業場に危険な個所がないか確認してください。JLGによりその目的が承認されない限り、危険な環境では本機を操作しないでください。
- ・シャーシの各車輪の隣にあるタイヤ負荷ステッカーに記載の最大タイヤ負荷を支える上で地面の状態が適切かどうか確認してください。支持されていない面を移動しないでください。



## 機械の検査

- ・本書セクション2に記載されている通りに点検および機能確認を行うまで、本機を操作しないでください。
- ・機械の「サービス・メンテナンス マニュアル」に記載されているメンテナンス・検査要件に従って保守点検が行われるまで、本機を操作しないでください。
- ・安全装置はすべて正常に動作することを確認してください。これらの装置を改変した場合は安全基準違反となります。

### 警告

高所作業バスケットの改良・改変は、事前にメーカーから文書による許可を得た場合のみ行えるものとします。

- ・安全上の注意事項や指示を記したステッカーがないか判読できない機械は操作しないでください。
- ・機械が元の部品に対して変更されているかどうか確認してください。変更はJLGにより承認されていることを確認してください。
- ・作業床に塵埃が溜まらないようにしてください。靴やバスケット床を泥、油、 그리스等の滑りやすい物質から保護します。

## 1.3 操作

### 概要

- ・機械の操作にあたっては細心の注意を払う必要があります。携帯電話、無線通信機など、機械の安全な操作への注意を妨げる機器を使用する前に、機械を完全に停止させてください。
- ・機械は、スタッフおよびスタッフの道具や機器を移動する以外の目的に使用しないでください。
- ・操作を行う前に、機械の機能とすべての機能の動作特性に精通する必要があります。
- ・不具合のある機械は操作しないでください。不具合がある場合は機械を停止してください。機械の使用を停止し、関係機関に通知してください。
- ・安全装置は移動、改変、無効化しないでください。
- ・コントロールスイッチまたはレバーは、ニュートラルを経て反対方向に一気に切り換えないでください。スイッチを次の機能に切り換える前には常に、スイッチをニュートラルに戻して止めてください。制御装置は低速かつ均一の手で操作します。
- ・緊急時を除き、プラットフォームに人がいる際に、地上から機械に触れたり操作したりする人がいないようにしてください。

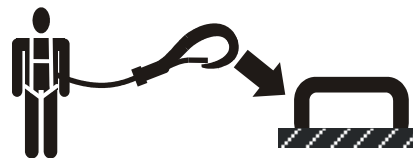
## セクション1- 安全上の注意

- JLGの承認がない限り、バスケットのレールで物を運ばないでください。
- バスケットに人が2人以上いるとき、オペレータは機械の全ての操作に責任を持つものとします。
- 電動ツールは適切な形で收容され、バスケットの作業場にそのコードが放置されていないことを常に確認してください。
- 運転する場合、常にブームを進行方向に沿って、リアアクスル上に位置します。ブームがフロントアクスル上にある場合、操縦と運転の機能が逆になる事に注意します。
- 動かなくなった機械あるいは停止した機械を押したり引いたりする場合は、必ずシャーシの固定部を引いてください。
- 機械から離れる前には、バスケットを完全に下ろし、すべての電源を切ってください。
- 機械を操作する際は指輪、時計、宝飾品などを身につけないでください。ゆったりした衣類の着用や束ねていない長髪は避けてください。機器に絡まったり巻き込まれたりすることがあります。
- 薬物やアルコールを摂取し、発作、めまい、体をコントロールできないなどの可能性がある場合、本機を操作することはできません。

- 油圧シリンダーでは、熱膨張と縮小が発生します。その結果、機械が固定されているときに、ブームおよび/または作業台の位置が変化することがあります。熱による移動に影響を与える要因としては、機械が固定されている時間、油圧オイル温度、周囲エア温度、ブームと作業台の位置が挙げられます。

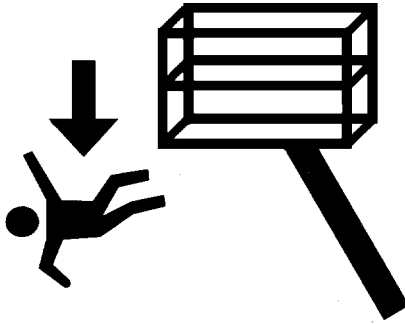
### 転倒・落下の危険

- 操作中、プラットフォーム内の搭乗者は認可されたストラップアンカーポイントに接続されたストラップ付きのフルボディハーネスを着用しなければなりません。締め具アンカーポイントに取り付ける締め具は1つだけです。



- 出入りはゲートからのみ行ってください。バスケットから出入りするときは細心の注意を払ってください。プラットフォームが完全に下がっていることを確認してください。プラットフォームに入ったり出たりするときは本機の方向を向いてください。機械とは常に「3点接点」を保ち、出入りのときは常に両手と片足または両足と片手を使います。

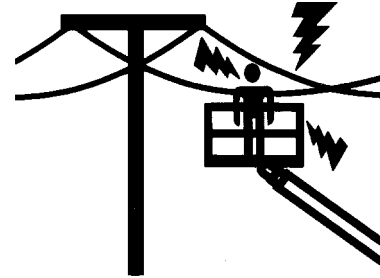
- ・ 機械を操作する前に、全てのゲートが閉じられ、適切な位置に固定されている事を確認します。

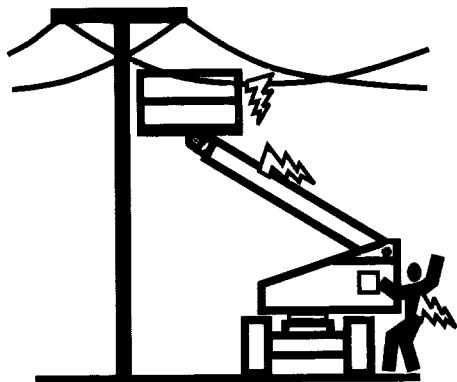


- ・ プラットフォームでは必ず、両足を常に安定した状態に保ってください。どのような目的であっても、機械上で移動距離やリーチを長くするために梯子、箱、ステップ、厚板などを使用しないでください。
- ・ 靴やバスケットの床にオイル、泥や滑りやすいものが付かないようにしてください。

## 感電の危険

- ・ 本機は絶縁されておらず、電流（との接触またはその影響を受けやすい状態）に対して保護されていません。





- 表 1-1 に示されている最小接近距離 (MAD) に従って、電線、装置や全ての通電部品 (露出または絶縁) からの距離を維持します。
- 機械の動きや電線の揺れを考慮してください。

表 1-1. 最小接近距離 (M.A.D.)

電圧範囲 (相間)	最小接近距離 メートル (フィート)
0 ~ 50kV	3 (10)
50kV 以上 200kV まで	5 (15)
200kV 以上 350kV まで	6 (20)
350kV 以上 500kV まで	8 (25)
500kV 以上 750kV まで	11 (35)
750kV 以上 1000kV まで	14 (45)

**注意：** この要件は、雇用主、地域、政府の規制がより厳格である場合を除いて適用されるものとします。

- 機械の各部、乗員、工具や機材は、電圧 5 万ボルト以下の電線や装置から 3 m (10 フィート) 以上の距離を保ってください。電圧がさらに 3 万ボルト上がると、距離を 0.3m (1 フィート) 増やす必要があります。

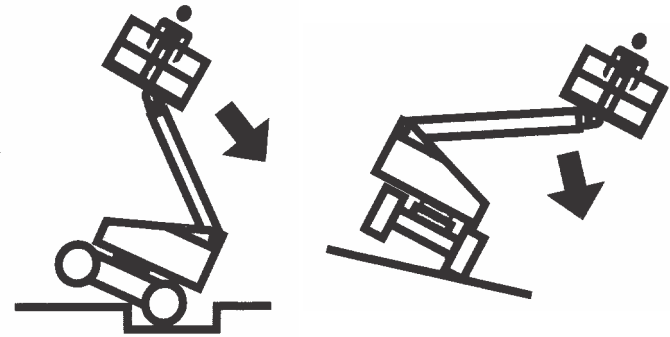
- ・最小接近距離は、絶縁バリアを取り付けて接触を防ぎ、バリアの定格が保護される電線の電圧に対応する場合は短くすることができます。バリアは機械の一部（または機械に取り付けるもの）にしないでください。最小接近距離は、絶縁バリアの所定の作業寸法内の距離にまで短くするものとします。この決定は、通電機器付近の作業慣行に関する雇用主、地域、政府の要件に従い、有資格者が行うものとします。

**⚠ 危険**

作業車や作業者が禁止ゾーン(MAD)内で作業をしてはいけません。そうではないことが確認されていなければ、すべての電気部品や配線には電流が流れていると考えるべきです。

**転倒の危険**

- ・使用者は、表面の状態を熟知してから運転しなければなりません。運転中は横方向傾斜および勾配の許容範囲を超えないでください。



- ・傾斜した面、不均一な面、柔らかい面の上やその近くでは、プラットフォームを上げたり、プラットフォームを上げた状態で運転したりしないでください。バスケットをリフトする前、バスケットをリフトした状態で運転する前には、機械が平坦で安定した水平面にあることを確認してください。
- ・床面、橋、台車、その他の上を走行する前に、走行面の荷重容量を確認してください。

## セクション1- 安全上の注意

---

- バスケットに記載の最大作業負荷を超えないでください。JLGの承認がない限り、負荷はすべてバスケットの内側に保ってください。
- 本機のシャーシと地面の穴、突起、急斜面、障害物、塵埃、覆いのある穴など危険性のある場所との間は0.6 m (2 ft) の距離を保ってください。
- ブームで物を押したり引いたりしてはなりません。
- 本機をクレーンとして使用しないでください。機械を隣接する構造物に結びつけないでください。ワイヤ、ケーブルなどをバスケットに接続しないでください。
- ブームアセンブリまたはプラットフォームの車輪が 1 つ以上地面から離れている位置にある場合、機械を安定する試みの前に全ての人員が離れる必要があります。クレーン、フォークリフト、または他の適切な装置を使用して機械を安定させます。
- 風速が秒速 12.5 m (時速 28 マイル) を超える場合は、本機を運転しないでください。風速に影響を及ぼす要因は、バスケットの高さ、周囲の構造物、現場の気象状況、および接近中の嵐です。表 1-2、ビューフォースケール (参考用のみ) を参照するか、他の方法を利用して風の状況を監視してください。
- 高い位置での風速は、地上レベルよりはるかに高い可能性があります。
- 風速は急に変化する可能性があります。近づきつつある天気事象、バスケットを下降させるために必要となる時間、および現在の風の状況と発生する可能性のある風の状況を監視する方法について、常に考慮してください。
- バスケットや積載物の表面積を増やさないでください。風にさらされる面積が増えると、安定性が低下します。
- 承認されていないデッキエクステンションやアタッチメントでバスケットのサイズを大きくしないでください。

**注記**

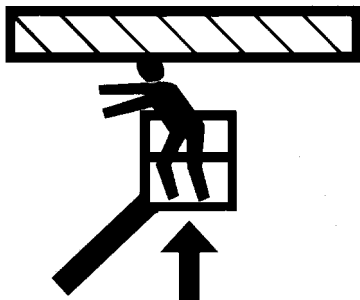
風速が秒速 12.5 M (時速 28 マイル) を超える場合は、本機を操作しないでください。

表 1-2. ビューフォースケール (参考用のみ)

ビューフォート番号	風速		説明	地表条件
	m/s	時速マイル		
0	0-0.2	0	穏やか	穏やか。煙が、垂直に立ち上がる。
1	0.3-1.5	1-3	軽い空気	煙で風の動きが見える。
2	1.6-3.3	4-7	そよ風	露出した肌に風を感じる。葉が音を立てる。
3	3.4-5.4	8-12	そよ風	葉や小さな枝が継続的に動く。
4	5.5-7.9	13-18	適度なそよ風	ほこりや緩い紙が浮かぶ。小さな枝が動き始める。
5	8.0-10.7	19-24	軟風	小さな木が揺れる。
6	10.8-13.8	25-31	強い風	大きな枝が動く。旗がほぼ水平にはためく。傘の使用が困難になる。
7	13.9-17.1	32-38	疾風に近い / 中等度の疾風	木全体の動き。風に逆らって歩くには努力が必要。
8	17.2-20.7	39-46	疾風	木から小枝が折れる。道路で車がそれる。
9	20.8-24.4	47-54	強い疾風	構造に軽い損傷。

### クラッシュ・衝突の危険

- ・ 操作員、地面の作業員は全員、承認されたヘルメットを着用する必要があります。
- ・ プラットフォームを上昇、下降させる際、および運転する際は、作業エリアでプラットフォームの上、横、下の空間に余裕があることを確認します。



- ・ 操作中は、体の全部分をプラットフォームのレール内側に保ってください。
- ・ 障害物にプラットフォームを近づけて配置するには運転機能ではなく、ブーム機能を使用します。
- ・ 視界が遮られる場所を運転中は注意を呼びかけてください。

- ・ すべての運転およびスイング操作時には、オペレータ以外の人員が機械から少なくとも 1.8 m (6 ft) 離れるようにします。
- ・ オペレータは、どのような走行条件でも、地面、混雑状況、視界、傾斜、作業員の位置など衝突や人身傷害につながる要因の条件に応じて、走行速度を制限しなければなりません。
- ・ 運転速度の如何にかかわらず、停止距離に注意してください。高速走行中は、停止する前に低速に切り替えます。傾斜面は必ず低速で走行します。
- ・ 狭い場所、閉所の場合、またバックするときは高速運転をしないでください。
- ・ 常に、プラットフォームにあるコントロール類やスタッフにぶつかったり干渉したりする障害物を避けるよう十分注意してください。
- ・ 他のオーバーヘッドや床面の機械のオペレーターが、空中作業プラットフォームの存在に気づいていることを確認します。高架クレーンへの電源を切ってください。
- ・ 上がっているブームやバスケットの下で作業したり、歩いたり、立ったりしないように、作業員に警告します。必要に応じて床にバリケードを配置します。



## 1.4 牽引、リフト、搬送

- ・牽引、リフト、運搬中はバスケットに人を入れないでください。
- ・本機は、緊急時、不具合があるとき、停電時、積み込み/積み下ろしのときを除き、牽引しないでください。緊急引航手順については、このマニュアルの緊急時手順のセクションを参照してください。
- ・引航、持ち上げ、運搬する前にブームが格納位置にあり、ターンテーブル（装備している場合）がロックされていることを確認します。プラットフォームから、完全にツール類を取り除く必要があります。
- ・機械を持ち上げる時は、機械の指定された箇所のみで持ち上げます。十分な容量の機器で機械を持ち上げます。
- ・持ち上げの情報については、このマニュアルの機械操作のセクションを参照してください。

## 1.5 メンテナンス

ここでは、本機のメンテナンス中に守るべき一般的な安全上の注意事項について説明します。機械のメンテナンス中に守るべき他の注意事項は、本書および「サービス・メンテナンス マニュアル」に適宜追記してあります。最も重要なことは、メンテナンス担当者がこれらの注意事項を厳密に守り、ケガや機械、物品の破損を避けることです。有資格者がメンテナンスプランを立て、これを守ることで機械の安全を保証する必要があります。

### メンテナンスの危険

- ・調整や修理を行う前に、すべての制御装置の電源を切り、作動部がすべて不意に動くことのないよう固定されていることを確認します。
- ・上昇したプラットフォームの下では、可能な場合はプラットフォームが完全に下げられるまで、または安全支柱、ブロック器具、高架支持具などで動かないように保持されるまで作業をしないでください。
- ・本機の電源が入っている間、または油圧システムに圧力がかかっているときに、油圧ホースや付属品の修理または締め付けを行わないでください。
- ・油圧コンポーネントを緩める前、あるいは取り外す前には必ず、すべての油圧回路から油圧を解放してください。

## セクション1- 安全上の注意

- ・ 漏れの確認に手を使用しないでください。漏れの位置を探すには、段ボール紙または紙片を使用してください。噴出する液体から手を保護するために手袋を着用してください。



- ・ 交換部品、コンポーネントは元の部品またはコンポーネントと同じか同等のものを使用してください。
- ・ 重い部品は機械装置の補助なしに絶対に動かさないでください。不安定な場所に重量物を置かないようにしてください。機械のコンポーネントをリフトするときは適切な支持具を使用してください。

- ・ 機械を溶接のグラウンドとして使用してはなりません。
- ・ 溶接や金属切削操作を行う場合、シャーシを溶接と金属切断スパッタの直接暴露から保護するために注意する必要があります。
- ・ エンジンが稼動している機械に燃料を補給してはなりません。
- ・ 承認されている不燃性の洗剤のみを使用してください。
- ・ バッテリー、ソリッドタイヤなど、安定性が問題になる部品を重量や仕様の異なるものに交換しないでください。安定性に影響を与える形で変更を加えないでください。
- ・ 臨界安定性部品の重量については「サービス・メンテナンスマニュアル」を参照してください。

### ⚠ 警告

高所作業バスケットの改良・改変は、事前にメーカーから文書による許可を得た場合のみ行えるものとします。

## バッテリーの危険

- ・電気部品の保守を行うとき、機械に対して溶接作業を行うときは必ずバッテリーの電源を切ってください。
- ・充電や保守作業中、バッテリーの近くでの喫煙、火気、スパークなどは避けてください。
- ・バッテリー端子間にツールなどの金属を接触させるのは避けてください。
- ・バッテリーを扱うときは常に手、目、顔を保護するものを着用してください。バッテリーの酸が皮膚や衣服に触れないようにしてください。

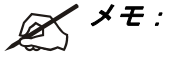
### 注意

バッテリー液は高腐食性です。常に皮膚や衣服に触れないようにしてください。もし触れた場合は清水ですぐに洗い流し、医師の手当を受けてください。

- ・バッテリーの充電は、必ず換気の良い場所で行ってください。
- ・バッテリー液を一定レベル以上に補充しないでください。蒸留水をバッテリーに追加する際は、バッテリーが完全に充電された後で行ってください。

セクション1-安全上の注意

---



<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---	---

## セクション2. ユーザーの責任、機械の準備、および点検

### 2.1 スタッフのトレーニング

高所作業プラットフォームは人が扱う装置です。したがって、操作・メンテナンスを行うにはトレーニングを受ける必要があります。

薬物やアルコールを摂取し、発作、めまい、体をコントロールできないなどの可能性がある場合、本機を操作することはできません。

### オペレータのトレーニング

オペレータのトレーニングで対象となる事柄は次のとおりです。

1. プラットフォーム内および地上でのコントロール、緊急用コントロール、安全システムの使用とその制限。
2. 機械のコントロールのラベル、指示、警告。
3. 雇用主の規則、政府の規制。
4. 承認された落下防止装置の使用。
5. 不具合や潜在的な問題を認識するために必要十分な機械の操作に関する知識。
6. 高架障害物、他の可動機器、障害物、くぼみ、穴、傾斜のある場所で機械を最も安全に操作する手段。

7. 保護されていない電気導体の危険を回避する手段。

8. 作業の要件、機械の用途。

### トレーニングの監督

トレーニングは、障害物のない場所で、有資格者の監督の下、機械を安全に操作・制御できるようになるまで行う必要があります。

### オペレータの責任

オペレータは、不具合がある場合または機械や作業場所の安全性が保たれない場合に機械を停止する責任と権限があることを自覚するよう指導を受ける必要があります。

### 2.2 準備、検査、メンテナンス

以下の表は、JLG Industries, Inc. により義務付けられた定期的な機械の点検およびメンテナンスについて記されています。また現地の条例のもとで、高所作業プラットフォームに関する他の規制が課せられていないかも調べてください。検査・メンテナンスの頻度は、機械を過酷な環境で使用する場合、機械の使用頻度が高い場合、機械を過酷な条件で使用する場合など、必要に応じて増やす必要があります。

#### 注記

JLG INDUSTRIES, INC. は、工場で訓練を受けた保守技術員を、特定の JLG 製品モデルのための JLG サービストレーニングスクールを無事終了した担当者として承認しています。

## セクション2- ユーザーの責任、機械の準備、および点検

**表 2-1. 検査・メンテナンス表**

タイプ	頻度	主要責任者	整備資格	参照先
始業点検	毎日の使用前、またはオペレータが代わるたび。	ユーザーまたはオペレータ	ユーザーまたはオペレータ	オペレータ用安全マニュアル
納入前点検（下記「注」を参照）	販売、リースまたはレンタル機材の納入前。	オーナー、ディーラー、またはユーザー	有資格の JLG メカニック	サービス・メンテナンスマニュアル、対応する JLG 検査フォーム
頻回点検（注を参照）	3 か月または 150 時間の使用のどちらか早い方、または 3 か月以上使用しなかった場合、または中古で購入。	オーナー、ディーラー、またはユーザー	有資格の JLG メカニック	サービス・メンテナンスマニュアル、対応する JLG 検査フォーム
年 1 回の機械点検（注を参照）	年 1 回、前回の検査日から 13 か月以内。	オーナー、ディーラー、またはユーザー	工場でのトレーニングを受けた整備技術者（推奨）	サービス・メンテナンスマニュアル、対応する JLG 検査フォーム
予防保守	「サービス・メンテナンスマニュアル」に記載の間隔で。	オーナー、ディーラー、またはユーザー	有資格の JLG メカニック	サービス・メンテナンスマニュアル
<b>注意：</b> 検査フォームは JLG から入手できます。「サービス・メンテナンスマニュアル」を使用して検査を行います。				

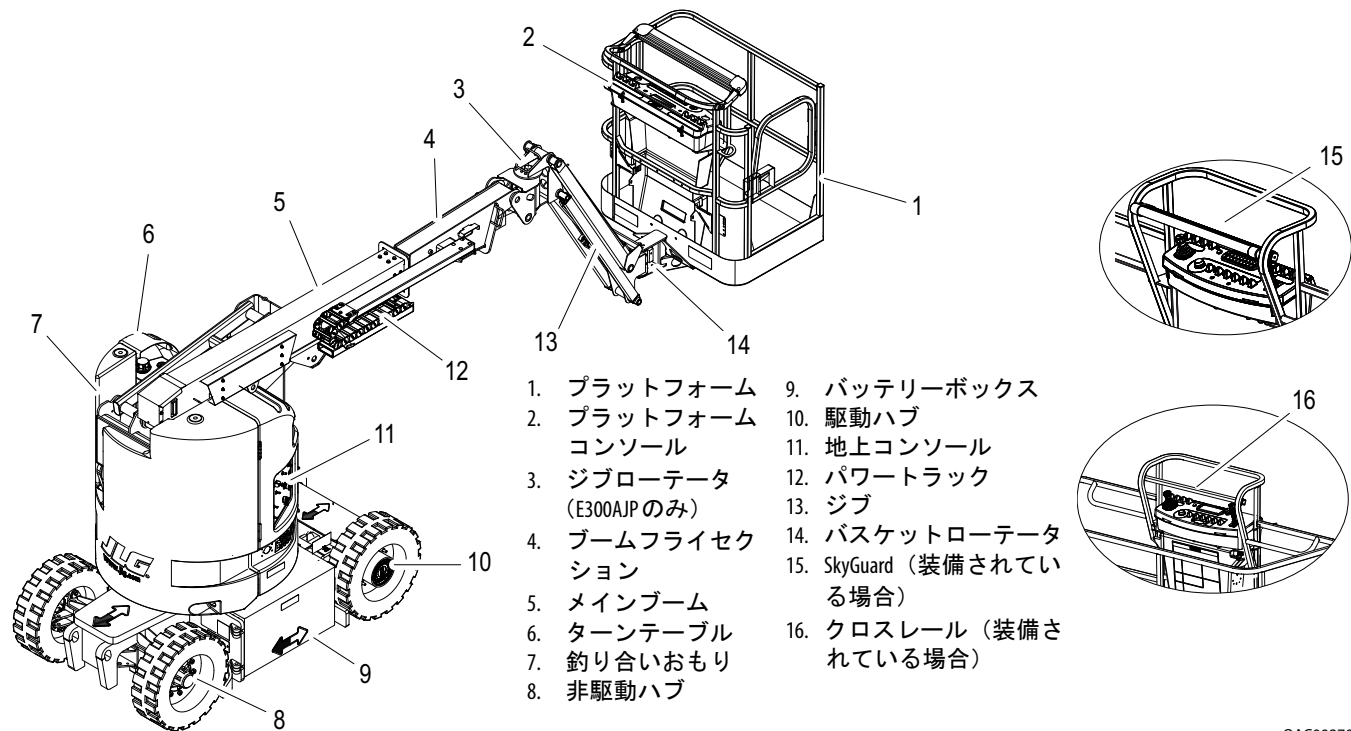


図 2-1. 基本的な部分名称

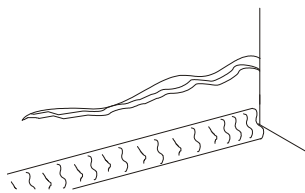
OAC00270



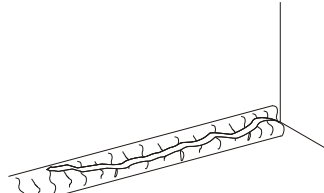
## 始業点検

始業点検は次のそれぞれを含みます。

1. **清潔度** - すべての表面に漏れ（オイル、燃料、またはバッテリー液）や異物がないか点検します。漏れがある場合は、メンテナンス担当者に報告します。
2. **構造** - 機械の構造部に、くぼみ、破損、溶接部や母材のクラックなどの不具合がないか検査します。



母材のクラック



溶接部のクラック

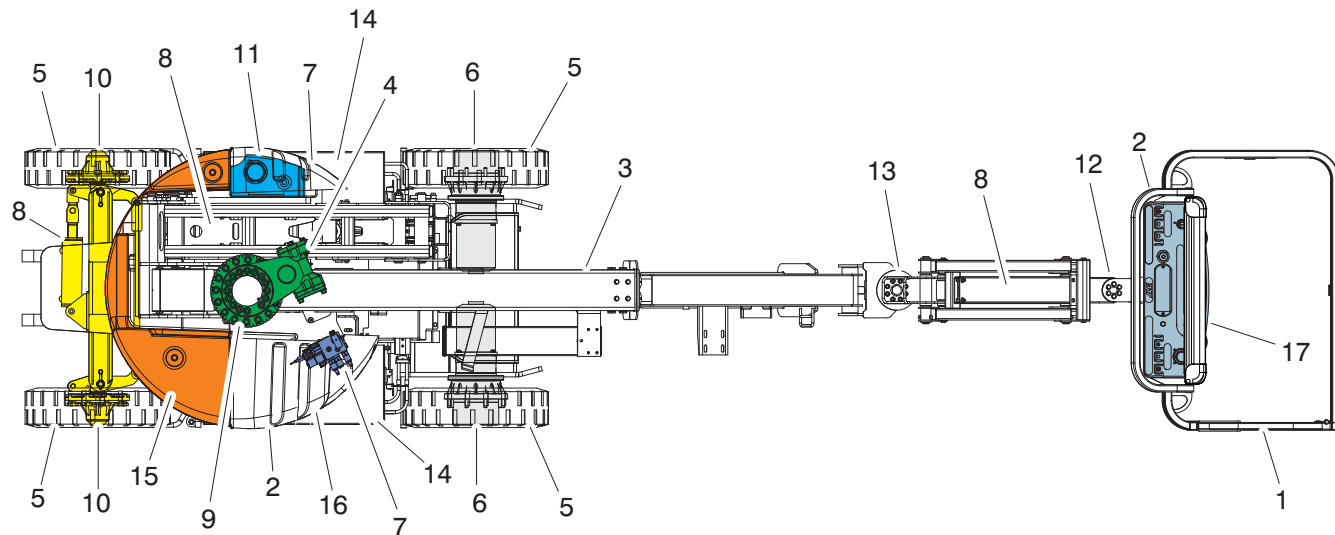
3. **ステッカーやラベル** - すべてのが清潔で判読可能かチェックします。欠けたステッカーがないことを確認します。判読できないステッカーはすべてクリーニングし交換します。
4. **操作・安全マニュアル「オペレータ・安全マニュアル」** - 「AEM 安全マニュアル」（ANSI 市場のみ）、「ANSI 責任マニュアル」（ANSI 市場のみ）のコピーが耐候性保管コンテナに保管されているか確認します。

5. **毎日のウォークアラウンド点検** - 指示に従って実行します。
6. **バッテリー** - 必要に応じて交換します。
7. **油圧オイル** - 油圧オイルレベルを点検します。油圧オイルが適切なレベルまで補充されていることを確認します。
8. **アクセサリ / アタッチメント** - 作業車に搭載された個々のアクセサリやアタッチメントの運転者と安全マニュアルで、具体的な検査、運転、および、保守説明を参照します。
9. **機能チェック** - 「ウォークアラウンド」点検が完了した後、高所および地面に障害物のない場所で全システムの機能点検を行います。操作手順についてはセクション 4 を参照してください。

### 警告

作業車が正しく運転不可能であれば、ただちに作業車の電源を切ります。すべての問題を保守担当者に報告してください。作業車は、運転しても安全という宣言があるまでは、運転してはいけません。

## 毎日のウォークアラウンド点検



OAC00280

### 一般

図で述べたように、項目1で「ウォークアラウンド点検」を開始します。以下のチェックリストにリストされた状態を、各項目の順にチェックします。

#### 警告

事故防止のために、機械の電源がオフであることを確認します。

すべての不具合が修正されるまで機械を操作しないでください。

*点検ノート：すべてのコンポーネントについて、緩みや欠落部品がない事、それらが固定されている事、目に見える損傷、漏れや過度の摩耗、その他の述べられた条件がないことを確認します。*

1. プラットフォームアセンブリ およびゲート-フットスイッチが適切に動作し、変更、無効化またはブロックされていないこと。ラッチやヒンジが動作状態にあること。
2. プラットフォームおよび地上の制御コンソール-スイッチやレバーがニュートラルに戻り、ステッカー/ラベルが剥がれておらず、判読でき、制御マークが判読できる。

3. ブーム部分/アップライト/ターンテーブル-点検メモを参照。
4. スイングモーターおよびウォームギア-損傷の徴候がない。
5. 車輪/タイヤアセンブリ-しっかり固定されており、耳付きナットがなくなっていないこと。トレッドの減り、カット、切れや他の不一致の点検。車輪に破損や腐食がないか点検する。
6. 駆動モーター、ブレーキ、およびハブ-漏れの兆候がないこと。
7. ボンネットアセンブリ-「点検ノート」を参照してください。
8. すべての油圧シリンダ-目に見える損傷がなく、ピボットピンや油圧ホースに損傷がないこと、漏れがないこと。
9. ターンテーブルのベアリング-注油が適切に行われていること。ボルトが無くなっていないこと、またはベアリングと機械の間に緩みがないこと。
10. タイロッドエンドおよびステアリングスピンドル-点検メモを参照。
11. 油圧ポンプおよびタンク-点検メモを参照。

12. プラットフォーム回転台 - 点検メモを参照。
13. ジブローテータ - 点検メモを参照。
14. バッテリーボックス - バッテリーの電解液レベルが適正であること。ケーブルの緩み。点検メモを参照。
15. 釣り合いおもり - 点検メモを参照。
16. 手動下降 - 点検メモを参照。
17. SkyGuard (装備されている場合) - 点検メモを参照。

### 機能チェック

機能チェックは次のように行います。

1. プラットフォームに負荷のない状態で、地上制御盤から：
  - a. スイッチまたはロックを保護するすべてのガードが適切な位置にあることをチェックします。
  - b. すべての機能を操作して、適切に動作することを確認します。
  - c. 緊急停止ボタンを押すと、機械の全機能が停止することを確認します。
  - d. 機能有効スイッチを放すと、すべてのブーム機能が停止することを確認します。
2. プラットフォーム制御コンソールから：
  - a. 制御コンソールが適切な位置にしっかり固定されていることを確認します。
  - b. スイッチまたはロックを保護するすべてのガードが適切な位置にあることをチェックします。
  - c. すべての機能を操作して、適切に動作することを確認します。
  - d. 緊急停止ボタンを押すと、機械の全機能が停止することを確認します。
  - e. フットスイッチを放すと、機械のすべての機能が停止することを確認します。

3. プラットフォームを格納した状態で：
    - a. 最大登坂角を超えない斜面を走行し、停止してブレーキがかかることを確認します。
    - b. 適切な操作に応じて、勾配インジケータが点灯することを確認します。
  4. いずれかの後部タイヤの上でブームをスイングさせて、運転方向インジケータが点灯し、運転機能を有効にするのに運転方向優先スイッチを使用する必要があることを確認します。
    - c. **SkyGuard - SkyEye** - センサービームのパスに腕や手をかざす。
3. センサーが有効になったら、次の状態を確認します。
    - a. テレスコープ展開機能が停止し、テレスコープ格納機能が短時間だけ動作する。
    - b. 警告音が鳴る。
    - c. SkyGuard ビーコンが装備されている場合、ビーコンが点灯する。
  4. SkyGuard センサーを解除し、コントロールを解除して、フットスイッチを元の位置に戻します。通常の操作が実行できることを確認します

### SkyGuard 機能テスト

**注意：** SkyGuard の操作の詳細については、セクション4.10 を参照してください。

障害物のない領域のプラットフォームコンソールから：


1. テレスコープ展開機能を操作します。
2. SkyGuard センサーを有効にします。
  - a. **SkyGuard** - 黄色のバーに約 222Nm (50 ポンド) の圧力をかける。
  - b. **SkyGuard - SkyLine** - ケーブルを押して、ケーブルと右ブラケット間の磁気接続を外す。

**注意：** SkyLine を装備した機械では、ケーブルの磁気端をブラケットに取り付けます。

機能の逆動作または遮断後、SkyGuard が移動したままの場合は、SkyGuard オーバーライドスイッチをセンサーが解除されるまで押し続け、機械を通常使用状態に戻します。

セクション2- ユーザーの責任、機械の準備、および点検

---

 メモ:

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---	---

## セクション3. 機械のコントロールとインジケータ

### 3.1 概要

#### 注記

メーカーは機械の用途と運転に直接関わることはできません。正しい安全慣行に従う責任は、ユーザーとオペレータ自身にあります。

ここでは、制御機能を理解する上で必要な情報を提供します。

### 3.2 制御装置およびインジケータ

**注意：** すべての機械には、マークを使用して制御機能を表示する制御パネルが装備されています。ANSI 機械では、制御ボックスの前にある制御ボックスガードに貼られているステッカーを参照するか、地上の制御盤でマークと対応する機能を確認します。

**注意：** インジケータパネルは別の形状のマークを使用して、発生した可能性がある別の種類の操作状況をオペレーターに警告します。以下にマークの意味について説明します。



危険が予想される状況を示します。対応処置がとられない場合、重大な傷害や死亡の原因となります。このインジケータは赤色です。



異常な操作状況を示します。対応処置がとられない場合、機械の停止や破損につながる可能性があります。このインジケータは黄色です。



操作状況に関する重要情報、すなわち安全な操作に欠かせない手順を示します。このインジケータは緑色ですが、容量インジケータの場合はプラットフォームの位置に応じて緑色か黄色になります。

### 警告

重大なケガを避けるために、バスケットの動きを制御するコントロールレバーまたはトグルスイッチが、放した時にオフ位置に戻らない場合、機械を操作してはなりません。

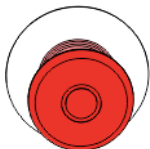
### 地上制御盤

(図3-1.、図3-2.、図3-3. および図3-4. を参照)

**注意：** 機械をシャットダウンするとき、バスケット / 地上選択スイッチおよび緊急停止スイッチは「オフ」になっている必要があります。



**注意：** 電源 / 緊急停止スイッチが「オン」になっており、モーターが稼動していない場合は、電源が「オン」であることを示すアラームが鳴ります。

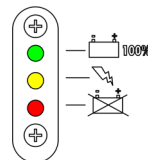


**注意：** ブーム、テレスコープ、下部リフト、スイング、メインリフト、ジブリフト、バスケットレベル優先、およびバスケット回転の機能を操作するには、機能有効化スイッチを押し下げたままにする必要があります。



### 1. バッテリー充電状態

バッテリーの充電状態は3つのLEDランプにより示されます。**グリーン**は100%充電されていることを示します。**黄色**は充電中であることを示します。**赤**はバッテリーが異常な状態であることを示します。



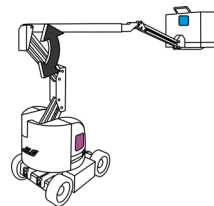
### 2. 機能有効化

機械の電源が入っているときにブームの制御装置をすべて有効にするには、有効化スイッチを「下」に押し下げた状態にする必要があります。

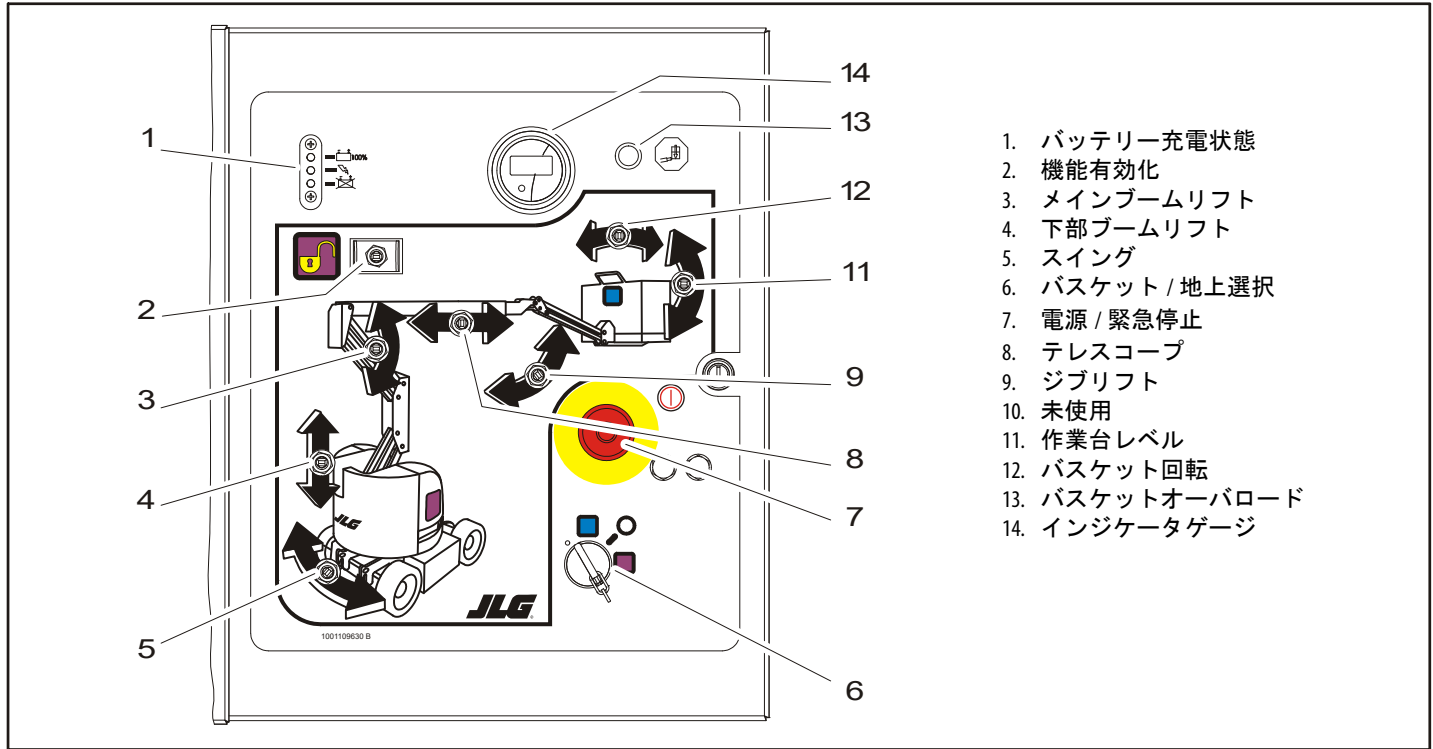


### 3. メインブームリフト

位置を上下に変更する場合に、メインブームを上昇 / 下降させることができます。







1. バッテリー充電状態
2. 機能有効化
3. メインブームリフト
4. 下部ブームリフト
5. スイング
6. バスケット / 地上選択
7. 電源 / 緊急停止
8. テレスコープ
9. ジブリフト
10. 未使用
11. 作業台レベル
12. バスケット回転
13. バスケットオーバーロード
14. インジケータゲージ

図 3-1. 地上制御盤 - E300AJ

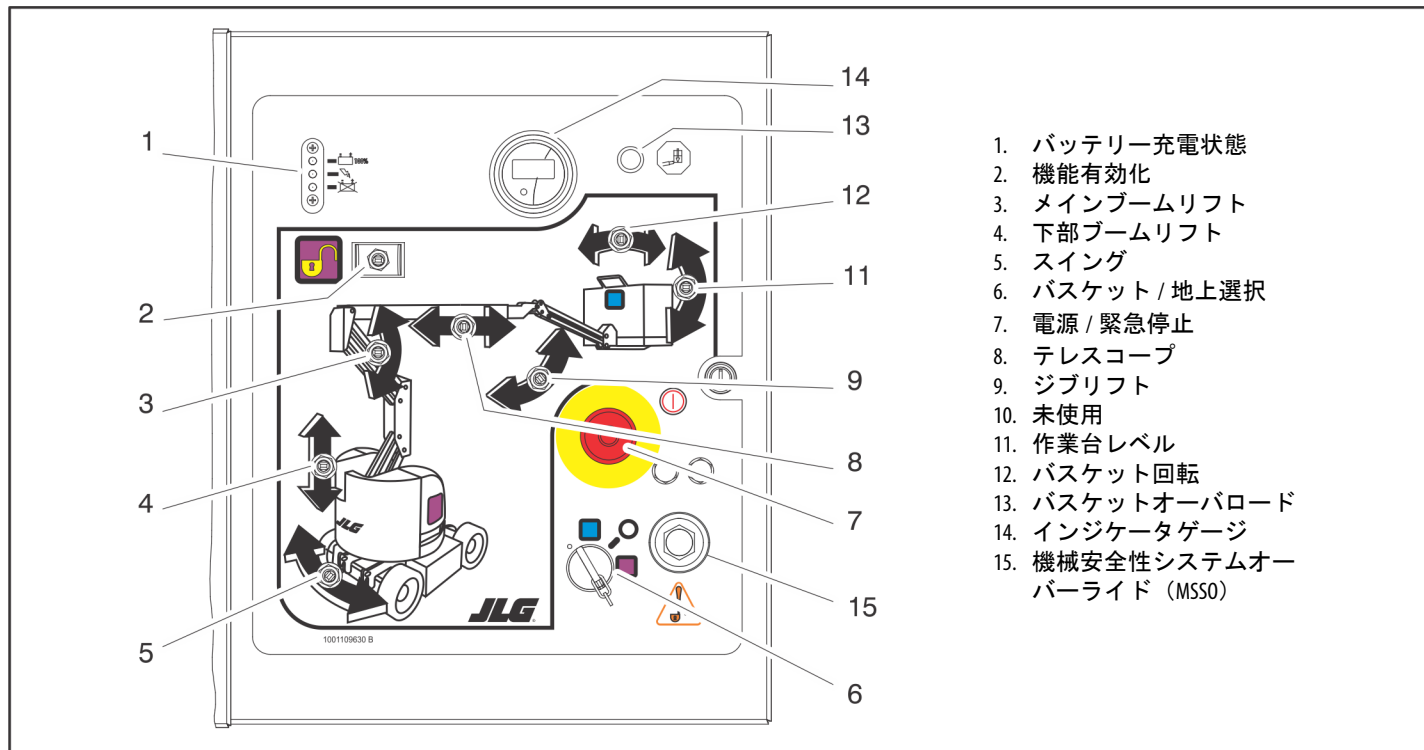
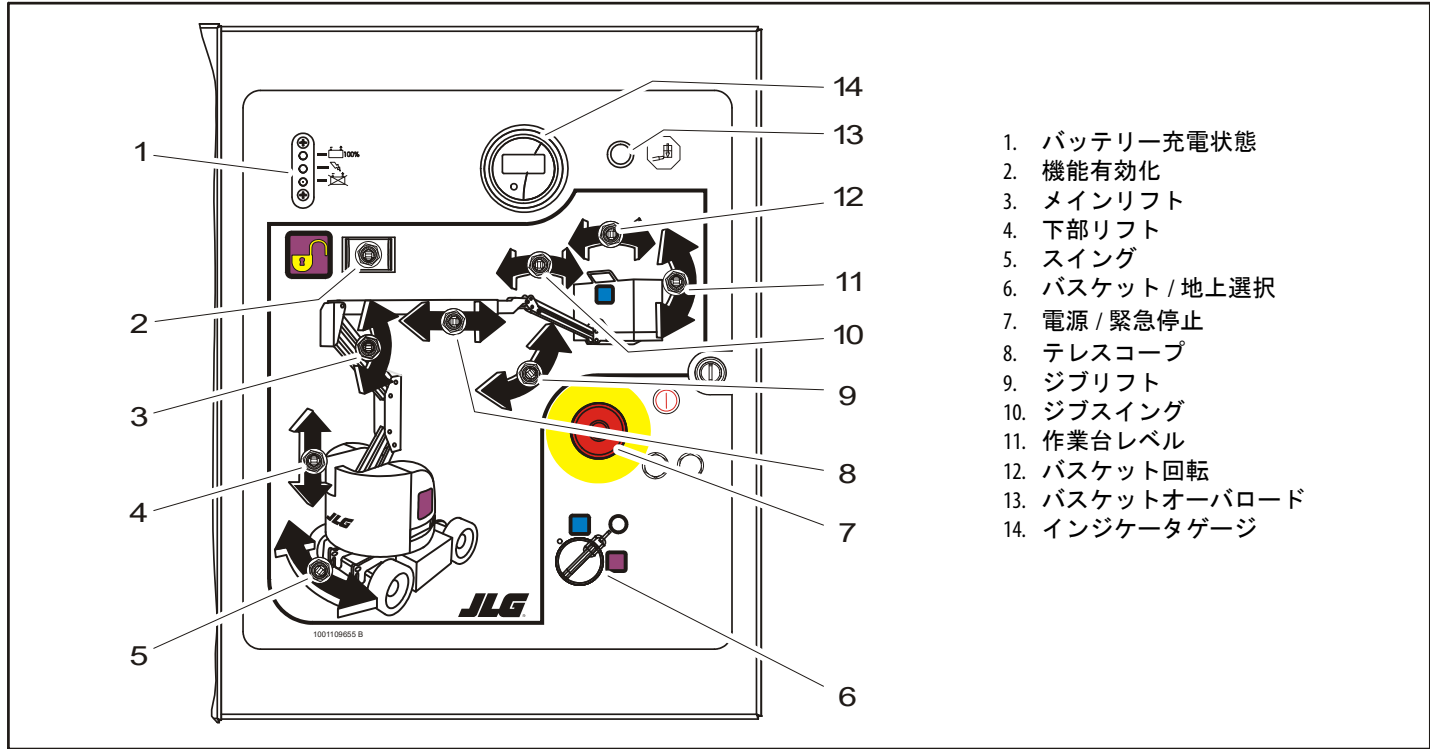


図 3-2. 地上制御盤 - E300AJ 機械安全性システムオーバーライド (MSSO) 付属 (CE のみ)



1. バッテリー充電状態
2. 機能有効化
3. メインリフト
4. 下部リフト
5. スイング
6. バスケット / 地上選択
7. 電源 / 緊急停止
8. テレスコープ
9. ジブリフト
10. ジブスイング
11. 作業台レベル
12. バスケット回転
13. バスケットオーバーロード
14. インジケータゲージ

図 3-3. 地上制御盤 - E300AJP

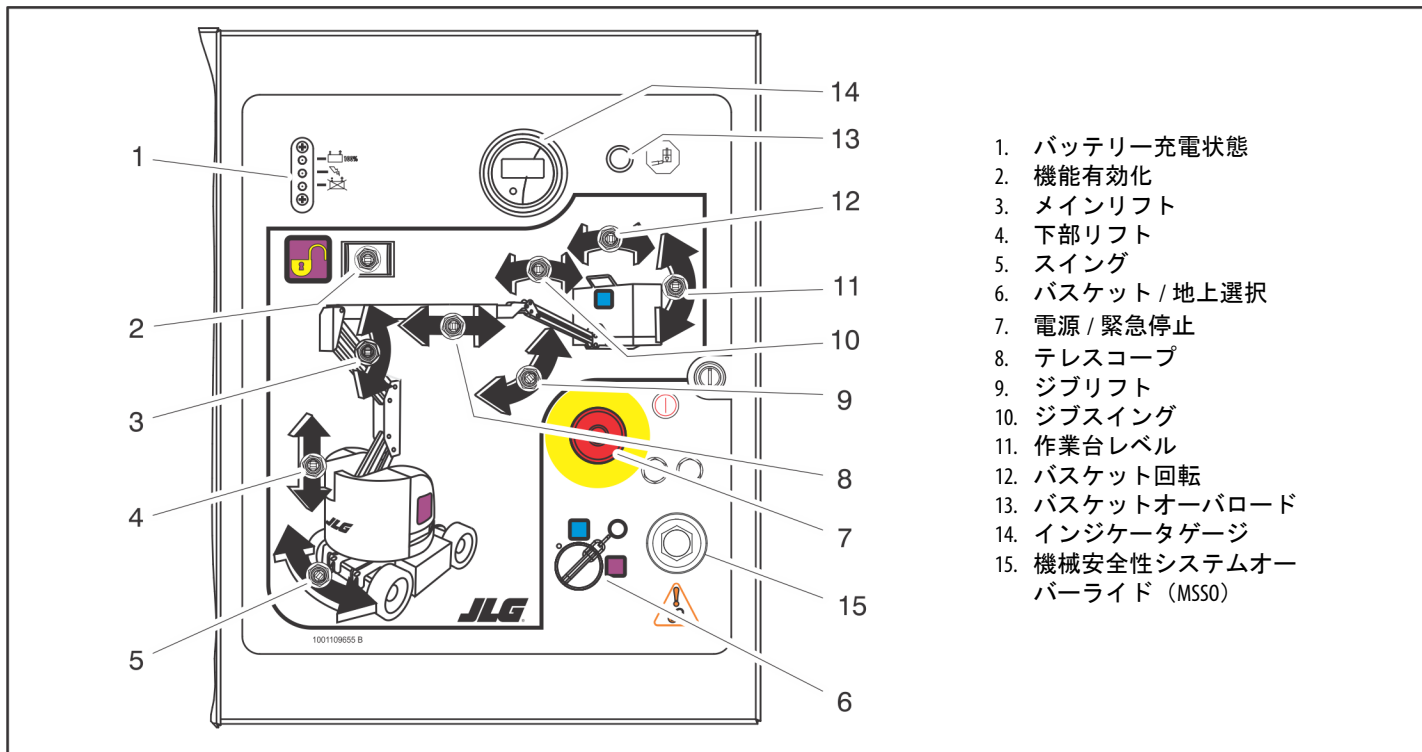
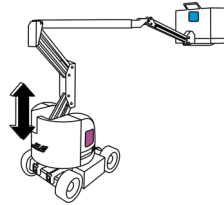


図 3-4. 地上制御盤 - E300AJP 機械安全性システムオーバーライド (MSSO) 付属 (CEのみ)

## セクション3- 機械のコントロールとインジケータ

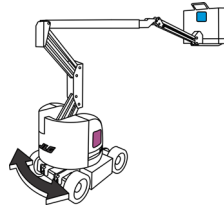
### 4. 下部ブームリフト

直立ブームと下部ブームを上昇 / 下降させることができます。



### 5. スイング

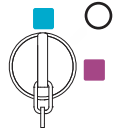
ターンテーブルを 350 度、非連続的に回転させることができます。スイングを有効にするには、スイッチを左または右の位置にします。



**注意：** バスケット / 地上選択スイッチが中央位置にあると、両方の操作盤の制御への電力供給が停止します。間違えて制御が起動しないように、キーを取り外してください。CE 仕様の機械では、バスケット位置でキーを外すことができます。緊急の場合に地上の操作者がキーを使用できるようにしておく必要があります。

### 6. バスケット / 地上選択スイッチ

このスイッチはキー操作で 3 つの位置を選択でき、「バスケット」の位置にある場合は、バスケット制御コンソールに電源が供給されます。スイッチキーを「地上」の位置に回すと、バスケットへの電源が遮断され、地上制御装置のみが操作可能になります。

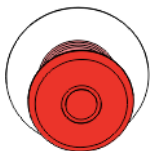


### ⚠ 注意

本機が停止しているときは、バッテリーの放電を防ぐため、電源 / 緊急停止スイッチをオフの位置にする必要があります。

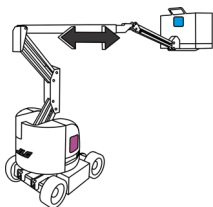
#### 7. 電源 / 緊急停止スイッチ

二位置の赤いマッシュルーム型スイッチで、引く（オンにする）と、バスケット / 地上選択スイッチに電源が供給されます。押し込むと（オフ）、プラットフォーム / 地上選択スイッチの電源が遮断されます。



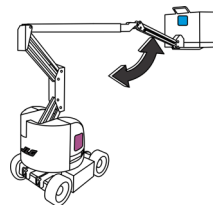
#### 8. テレスコープ制御

ブームを拡張および格納します。



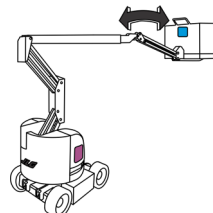
#### 9. ジブリフト

ジブを上げ下げします。



#### 10. ジブスイング

ジブをスイングさせることができます。

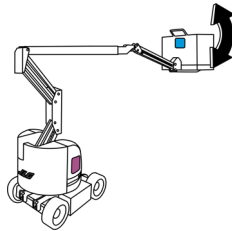


### 警告

バスケット平準化オーバーライド機能は、バスケットの微小な平準化のみに使用します。正しく使用しないと、積荷 / 乗員が動かされたり、落下したりする可能性があります。この注意を守らないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性があります。

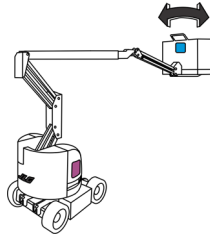
#### 11. バスケット平準化オーバーライド

3 ポジションスイッチにより、オペレータは自動セルフ平準化システムを調整できます。このスイッチは、斜面を登る / 降りるような状況で、バスケットの平準を調整するために使用されます。



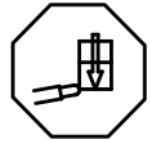
#### 12. バスケット回転

バスケットを回転させます。



#### 13. バスケットオーバーロード（装備されている場合）

バスケットが過負荷であることを示します。



#### 14. インジケータゲージ

機能が動作している間に機械が使用された時間を記録します。不具合発生の場合、時間メーターに3桁の不具合コードも表示されます。不具合コード一覧については、保守マニュアルを参照してください。また、機械に不具合があった時にオペレータがディスプレイに注目できるように、小さな赤いインジケータライトがあります。



#### 15. 機械安全性システムオーバーライド (MSSO) (CEのみ)

負荷検出システムの稼働時にロックアウトされる機能コントロールの緊急時オーバーライドを行います。



### バスケットのステーション

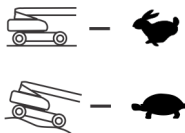
(図 3-5.、バスケット制御コンソールを参照)

#### 警告

重大なケガを避けるために、バスケットの動きを制御するコントロールレバーまたはトグルスイッチが、放した時にオフまたはニュートラル位置に戻らない場合、機械を操作してはなりません。

#### 1. 速度モード

速度モードスイッチを有効にすることで、オペレータは高速または低速動作をすることができます。

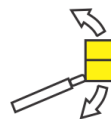


#### 警告

バスケット平準化オーバーライド機能は、バスケットの微小な平準化のみに使用します。正しく使用しないと、積荷 / 乗員が動かされたり、落下したりする可能性があります。この注意を守らないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性があります。

#### 2. バスケット平準化オーバーライド

3 ポジションスイッチにより、オペレータは自動セルフ平準化システムを調整できません。このスイッチは、斜面を登る / 降りるような状況で、バスケットの平準を調整するために使用されます。

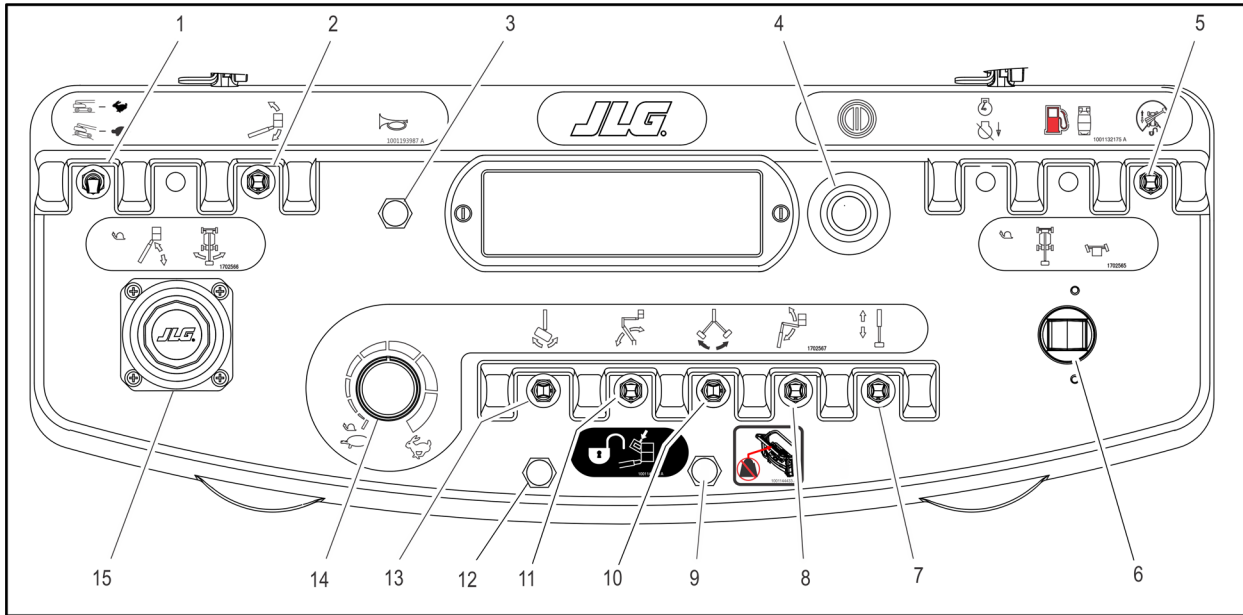


#### 3. ホーン

プッシュ式のホーンスイッチを押すと、警報音装置に電力を供給します。







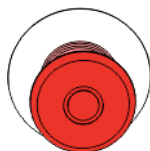
- |                    |                |                     |                   |
|--------------------|----------------|---------------------|-------------------|
| 1. 速度モード           | 5. 運転方向オーバーライド | 9. SkyGuard オーバーライド | 13. バスケット回転       |
| 2. バスケット平準化オーバーライド | 6. 運転 / 操縦     | 10. ジブスイング          | 14. 機能の速度         |
| 3. ホーン             | 7. テレスコープ      | 11. 下部ブームリフト        | 15. メインリフト / スイング |
| 4. 電源 / 緊急停止       | 8. ジブ          | 12. SkyGuard インジケータ |                   |

図 3-5. バスケット制御コンソール

## セクション3- 機械のコントロールとインジケータ

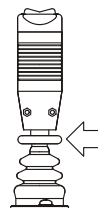
### 4. 電源 / 緊急停止スイッチ

このスイッチは2位置の赤いマッシュルーム型で、スイッチを引くと（オン）、バスケット制御装置に電源が供給されます。スイッチを押すと（オフ）、バスケット機能への電源供給が止まります。



**注意：** 運転ジョイスティックを操作するには、ハンドルの下にあるロッキングリングを引っ張ります。

**注意：** 運転ジョイスティックにはバネがあり、放すと自動的にニュートラル位置に戻ります。



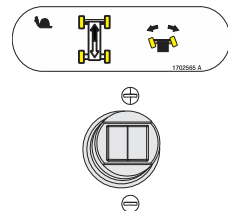
### 5. 運転方向オーバーライド

ブームが後輪タイヤの上、またはいずれかの方向にスイングされた場合、走行機能を選択すると、運転方向インジケータが点灯します。走行またはステアリングを有効にするには、スイッチを押して放し、3秒以内に走行 / ステアリングの制御装置を動かします。運転する前に、シャーシとプラットフォームの両方の制御盤にある白 / 黒の方向矢印を確認します。運転コントロールを方向矢印と一致する方向に動かします。



### 6. 運転 / 操縦

前進するには前方へ押し、後退するには引きます。操縦は、操縦ハンドルの端にある親指操作のロッカースイッチで行います。



**注意：** 下部ブームを水平より高く上昇させるか、または上部ブームをブームレストより約 40.64 cm (16 インチ) 上に上昇させると、高速走行機能は自動的に低速走行に切り替わります。この動作は、機能速度制御がクリープにクリックされる場合も発生します。

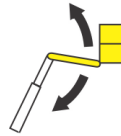
### 7. テレスコープ

メインブームを拡張および格納することができます。



### 8. ジブ

「上」または「下」の位置に設定することにより、ジブを上昇または下降させることができます。



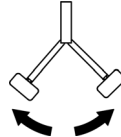
### 9. SkyGuard オーバーライドスイッチ (装備している場合)

このスイッチを使用すると、SkyGuard システムにより無効にされた機能を再び有効にし、オペレータが機械の機能を再び使用できます。



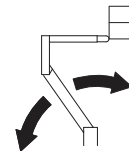
### 10. ジブスイング (装備している場合)

右または左にジブをスイングさせることができます。



### 11. 下部ブームリフト

「上」または「下」の位置にすると、直立ブームを上昇/下降させることができます。



### 12. SkyGuard インジケータ (装備している場合)

SkyGuard センサーが起動したことを示します。すべての制御装置は、オーバーライドボタンを押すまで遮断されます。すると、コントロールは通常どおり動作します。

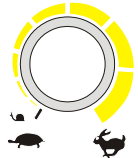
### 13. バスケット回転

右または左の位置にすると、バスケットが回転します。



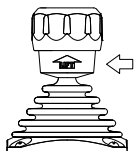
### 14. 機能速度制御

ブームおよびスイング機能の速度を調整します。遅い速度には反時計回りに回し、速い速度には時計回りに回します。運転、スイング、およびメインブームリフトをクリープに調整するには、カチッと音がするまでノブを反時計回りに回します。



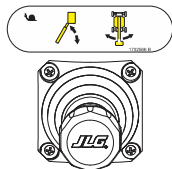
## セクション3- 機械のコントロールとインジケータ

**注意：** メインブームリフト/スイング用ジョイスティックを操作するには、ハンドルの下にあるロッキングリングを引きます。



**注意：** メインブームリフト/スイング用ジョイスティックにはバネがあり、放すと自動的にニュートラル位置に戻ります。

### 15. メインリフト/スイングコントローラ



メインリフトとスイングを実施します。前方へ押すとリフトが上昇し、後方へ引くとブームが下降します。右スイングするには右に動かし、左スイングは左に動かします。ジョイスティックを動かすと、スイッチが起動し、選択した機能を使用できます。「機能速度」ノブを使用することにより、これらの機能を比例的に制御できるようになります。

## バスケット制御インジケータパネル

(図 3-6.、バスケット制御インジケータパネルを参照)

### 1. 傾斜警報ライトおよびアラーム

チルト角度	市場
3°	CE およびオーストラリア
5°	ANSI および日本



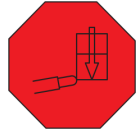
この赤いライトはシャーンが斜面上にあることを示します。シャーンが斜面上にあり、ブームが水平以上である際も、アラームが鳴ります。ブームを上げたり、延長する時に点灯した場合、操作を続行する前に、水平以下まで縮めて下げ、水平になるように機械の位置を再調整します。ブームが水平以上で機械が斜面上の場合、傾斜アラーム警告ライトが点灯し、アラームが鳴り、自動的にクリーブが有効になります。

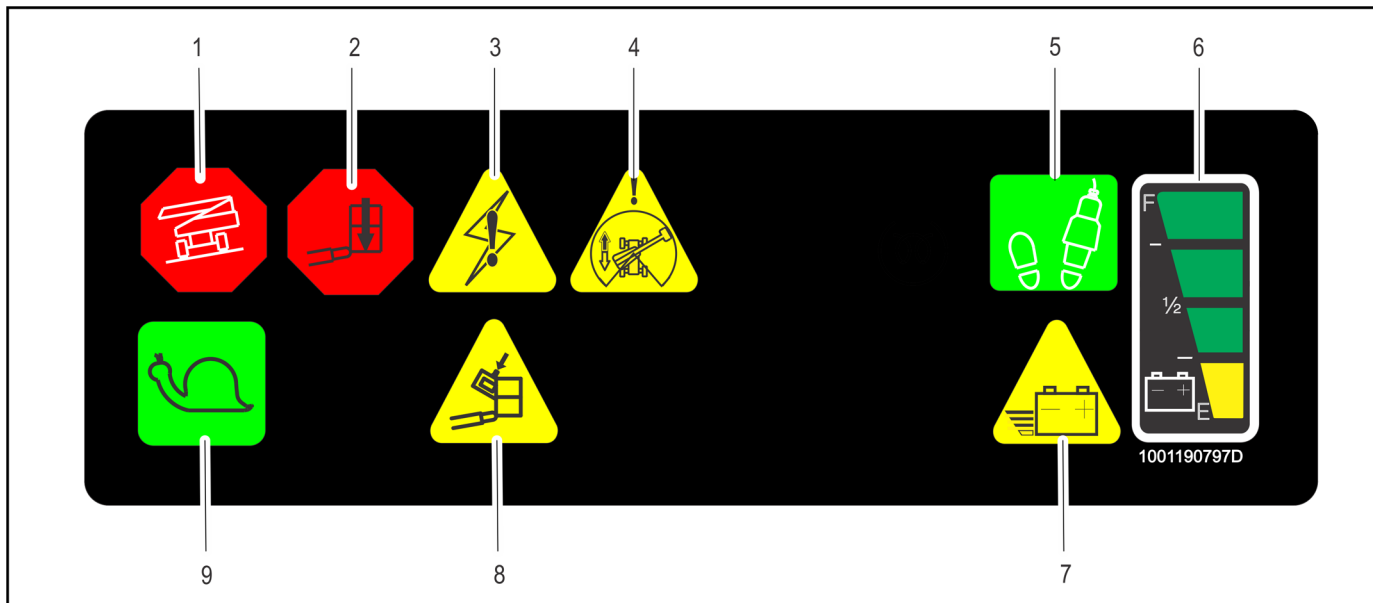
### **警告**

ブームが上昇あるいは延長された時に傾斜警告ライトが点灯している場合、ブームを延長又は水平以上に上げる前に、ブームを水平以下まで下げて縮小し、その後機械が水平になるように動かします。

### 2. バスケットオーバーロード（装備されている場合）

バスケットが過負荷であることを示します。





- |                 |             |             |
|-----------------|-------------|-------------|
| 1. 傾き           | 4. 運転方向     | 7. 低バッテリー   |
| 2. バスケットオーバーロード | 5. 有効化      | 8. SkyGuard |
| 3. システム不具合      | 6. バッテリーの充電 | 9. クリープ     |

図 3-6. バスケット制御インジケータパネル

### 3. システム不具合インジケータ

システム不具合インジケータが点灯した場合は、電気システムの故障を示します。



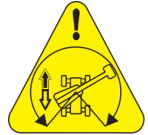
システム障害の考えられる4つの原因：

- a. 7秒の作動時間の経過が認められていた、またはフットスイッチを押す前に機能が選択されていた。システムは、フットスイッチが押された位置に引っかかっている、または機能スイッチがオンの位置にはまり込んでいる場合のように、この状況を障害として読み取ります。フットスイッチを押し直して制御装置の電源を入れ、ライトを消します。
- b. 電力の最大限度に到達しており、機械が作動しない。これは、機械がはまり込んでいる場合や、起伏の多い地形あるいは機械の最大登坂角を超える急な坂道の走行を試みる場合に発生する可能性があります。この状況は、意図されている以上の電力を提供するようにエンジンに求めることによりエンストさせることに相当します。
- c. バッテリーがほぼ消耗されており、機械が不都合な場所で停止しないようにするために極めて近いうちに充電しなければいけません。

- d. 回路の1つにその他の何らかの不具合がある。原因を特定するには、連続する点滅に続く一時停止の後、多くの点滅によって示される点滅コードを数え、サービスマニュアルを参照します。

### 4. 運転方向インジケータ

ブームが後部駆動タイヤを超えていずれかの方向にスイングされた場合、走行機能を選択すると、運転方向インジケータが点灯します。これはオペレータが運転制御が正しい方向で動作していることを確認できるシグナルです（例、制御が逆転している状況など）。



## セクション3- 機械のコントロールとインジケータ

### 5. 有効化インジケータ / フットスイッチ



機能を作動させるには、フットスイッチを押し、7秒以内に機能を選択します。有効化インジケータは、制御装置が有効であることを示します。機能が7秒以内に選択されない場合、または1つの機能を終わって次の機能を開始する間に7秒経過すると、有効化のライトが消え、コントロールを有効にするには、フットスイッチを放し、もう一度踏まなければなりません。

フットスイッチを放すと、全ての制御装置の電源が切れ、駆動ブレーキがかかります。

#### 警告

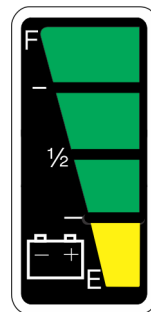
ケガを避けるために、フットスイッチを外したり、ブロックまたは他の手段で変更したり無効にしたりしてはなりません。

#### 警告

フットスイッチを上下に4分の1インチ以下動かしただけで機能が有効になる場合は、フットスイッチを調整する必要があります。

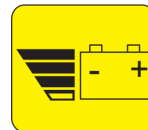
### 6. バッテリー充電インジケータ

このインジケータは点灯状態によってバッテリーパックの充電状態を示します。



### 7. 低バッテリーインジケータ

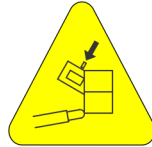
バッテリーの残量が少なく、充電が必要であることを示します。





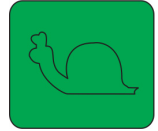
### 8. SkyGuard ( 装備されている場合 )

点灯している場合、SkyGuard センサーが有効になっていることを示します。全てのコントロールはオーバーライドボタンが押されるまで遮断されます。タイムコントロールは通常通り作動します。



### 9. クリープ速度インジケータ

機能速度制御がクリープ位置にある場合、全ての機能が最低の速度に設定されていることを知らせるリマインダーとして機能します。





## セクション4. 機械の操作

### 4.1 説明

この機械は、昇降および回転可能なブームの先端に作業用バスケットが装備されている自動推進式の油圧式作業リフトです。

主オペレータ制御盤はバスケット内にあります。このコントロール位置から、運転者は作業車を前後に走行および操舵することができます。ブームを上下に動かし、ブームを左右にスイングさせることができます。標準のブームスイングは350度、非連続的に動きます。本機には地上制御盤があり、バスケット制御盤に優先します。地上コントロールは、ブームリフトとスイングの操作を行い、プラットフォームのオペレータが出来ない場合に、緊急時にプラットフォームを地面に下げるために使用されます。

## 4.2 ブーム操作の特性と制限

### 容量

プラットフォームの荷重の有無に関わらず、ブームを水平より高く上昇させるには、以下の条件が必要です：

1. 機械が平坦で堅固な水平面にある。
2. 荷重が製造業者の定める荷重以内である。
3. 機械のシステムが全て正常に機能している。
4. 機械は JLG が装備した通りである。

### 安定性

機械の安定性は、前進安定性と後進安定性と呼ばれる二つの条件に基づきます。前進安定性が最低になる機械の位置は「図 4-1.」に図示されており、後進安定性が最低になる機械の位置は「図 4-2.」および「図 4-3.」に図示されています。

#### 警告

前方または後方への転倒を避けるために、本機の最大荷重を超過したり、水平でない表面で運転したりしないでください。

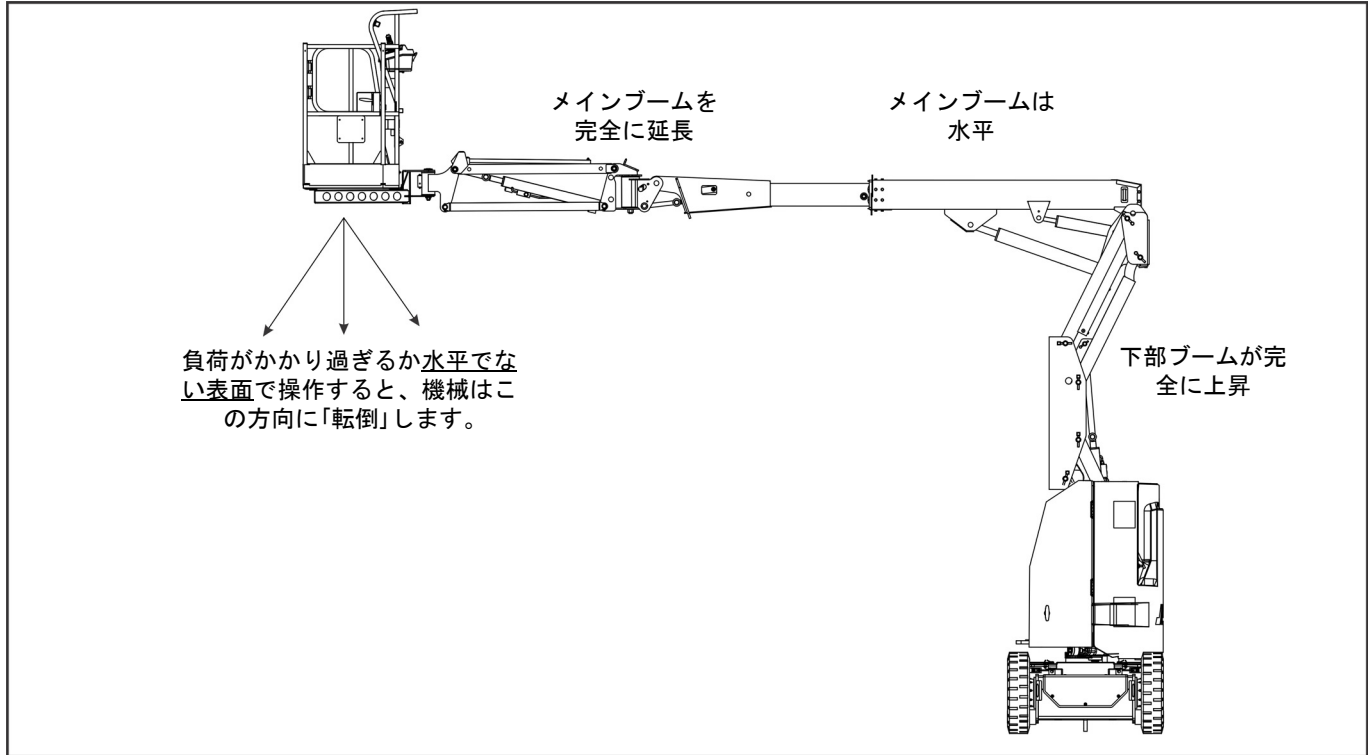


図 4-1. 前方安定度が最低となる位置

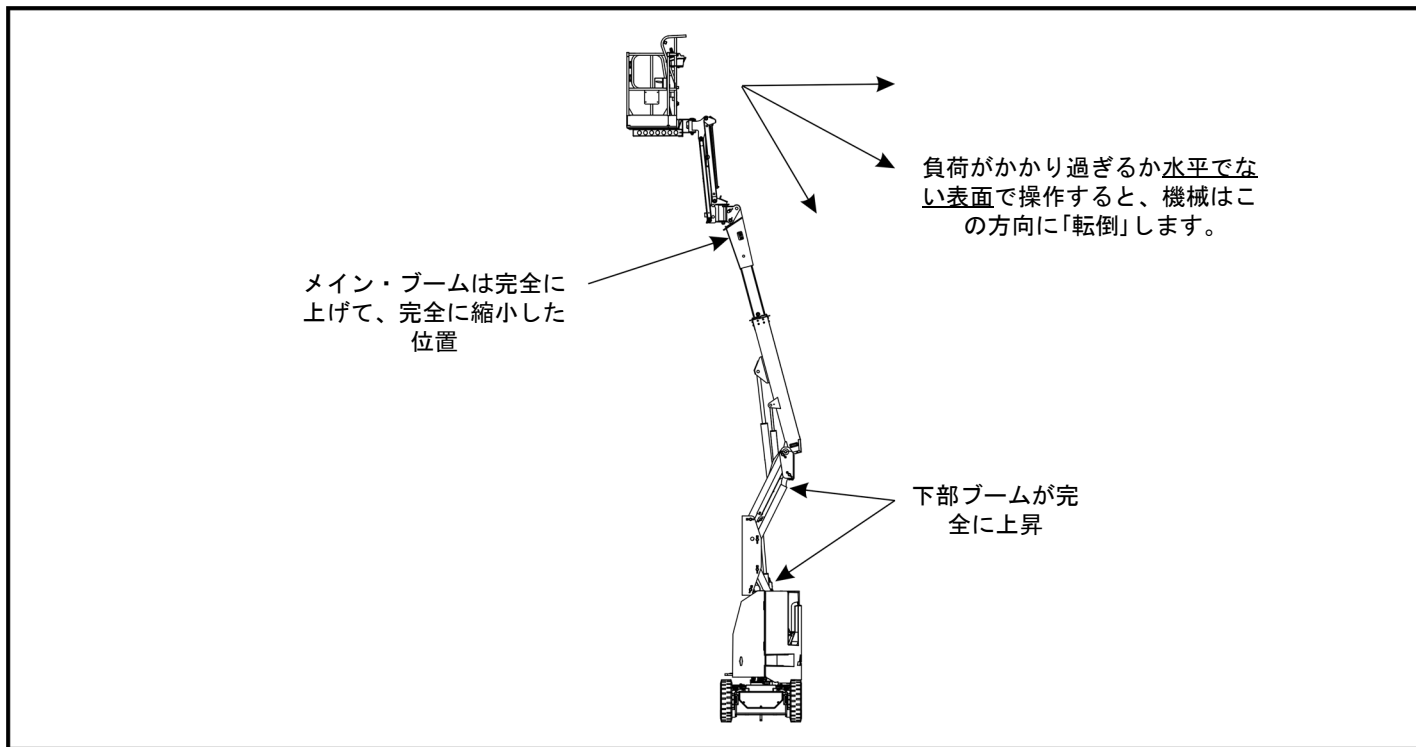


図 4-2. 後方安定度が最低となる位置 - E300AJ

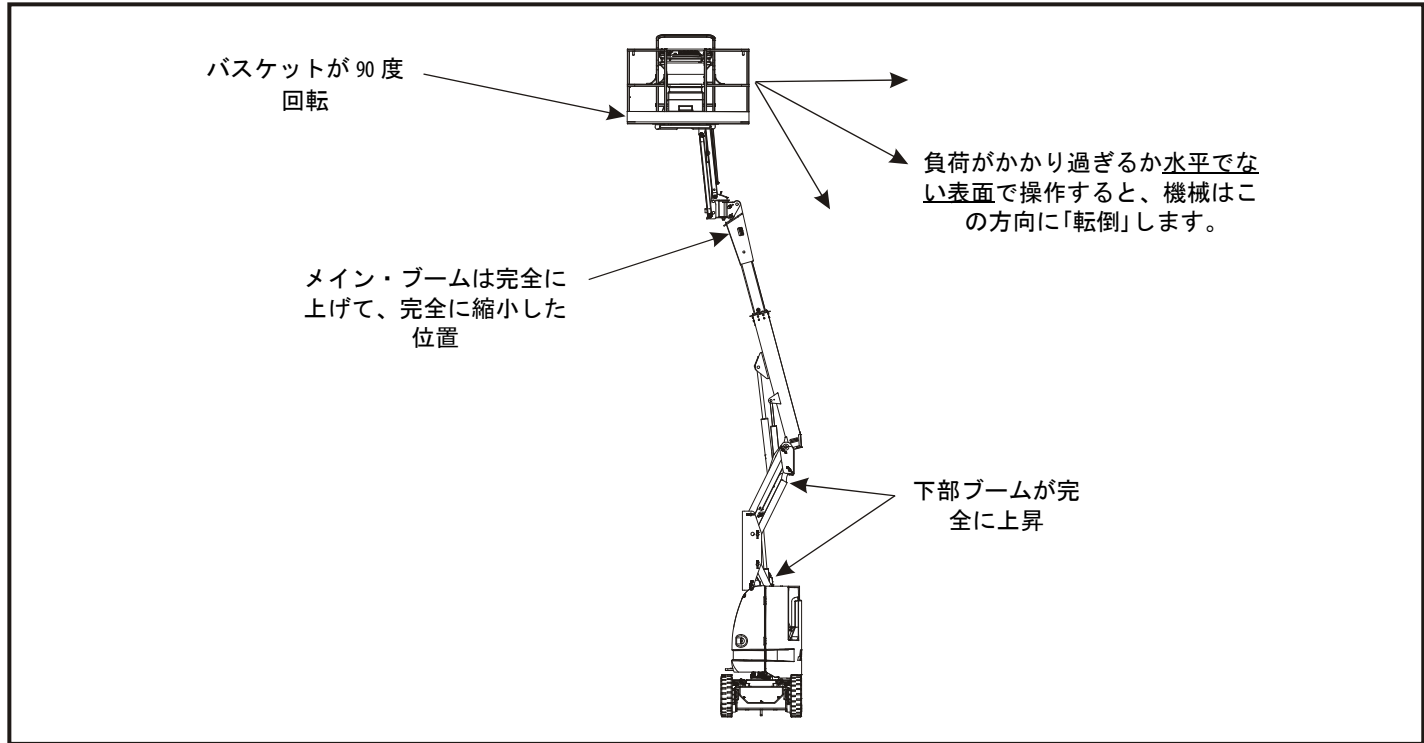
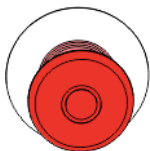


図 4-3. 後方安定度が最低となる位置 - E300AJP

### 4.3 モーター操作

#### 電源 / 緊急停止スイッチ

この赤いマッシュルーム型のスイッチを引いた場合（オン）、すべての機械機能について、バスケット / 地上選択スイッチにバッテリー電源が供給されます。バッテリーを充電する場合または機械を翌日まで駐車する場合は、スイッチを押す（オフにする）必要があります。



#### バスケット / 地上選択スイッチ

バスケット / 地上選択スイッチは、電源 / 緊急停止スイッチが引かれている（オンの）場合に、希望する制御盤にバッテリー電源を送る機能を果たします。スイッチを「地上」の位置にすると、バッテリー電源は地上制御盤に供給されます。スイッチが「バスケット」の位置にある場合、バッテリー電源はバスケット制御盤に供給されます。



CE 機械では、バスケット位置でキーを外すことができます。緊急の場合に地上の操作者がキーを使用できるようにしておく必要があります。

### モーター起動

#### 注記

フットスイッチは、あらゆる機能を起動する前に押す必要があります、押さない限り機能は動作しません。

緊急停止スイッチが引かれ（オンにする）、バスケット / 地上選択スイッチが適切な位置にあり、フットスイッチが押されると、モーターが起動して希望する機能を操作します。

#### 注意

モーター不具合により予定外のシャットダウンが必要となった場合は、すべての操作の再開前に原因を特定して解決します。

#### 注記

機械を使用していないときは、必ず緊急停止スイッチを「オフ」の位置（押した状態）にします。



## 4.4 走行（運転）

図4-4.、勾配および横方向傾斜を参照

**注意：** 登攀能力と横傾斜の定格については、動作仕様の表を参照してください。

登攀能力および横傾斜の全ての定格は、本機のブームが格納位置、完全に下降、延長のどの状態にあるかによって異なります。

### 警告

運転制御が不能になったり、「横転」したりしないよう、シリアル番号プレートに記載されている角度を超える斜面で機械を運転しないでください。

5度を超える横斜面で運転しないでください。  
機械の転倒を引き起こす可能性のある地形特徴は避けてください。

逆進中や、バスケットが上がった状態で運転する際、あるいは障害物から6フィート以内で機械の一部を運転する際は、常に細心の注意を払ってください。

走行前に、黒/白方向矢印を車体からとバスケット制御上で確認します。移動したい方向の矢印と同じ方向に運転制御を動かします。

移動は次の2つの要因によって制限されます：

1. 登攀能力、機械が登れる傾斜の程度のパーセントです。
2. 横傾斜、機械が横切れる傾斜の角度です。

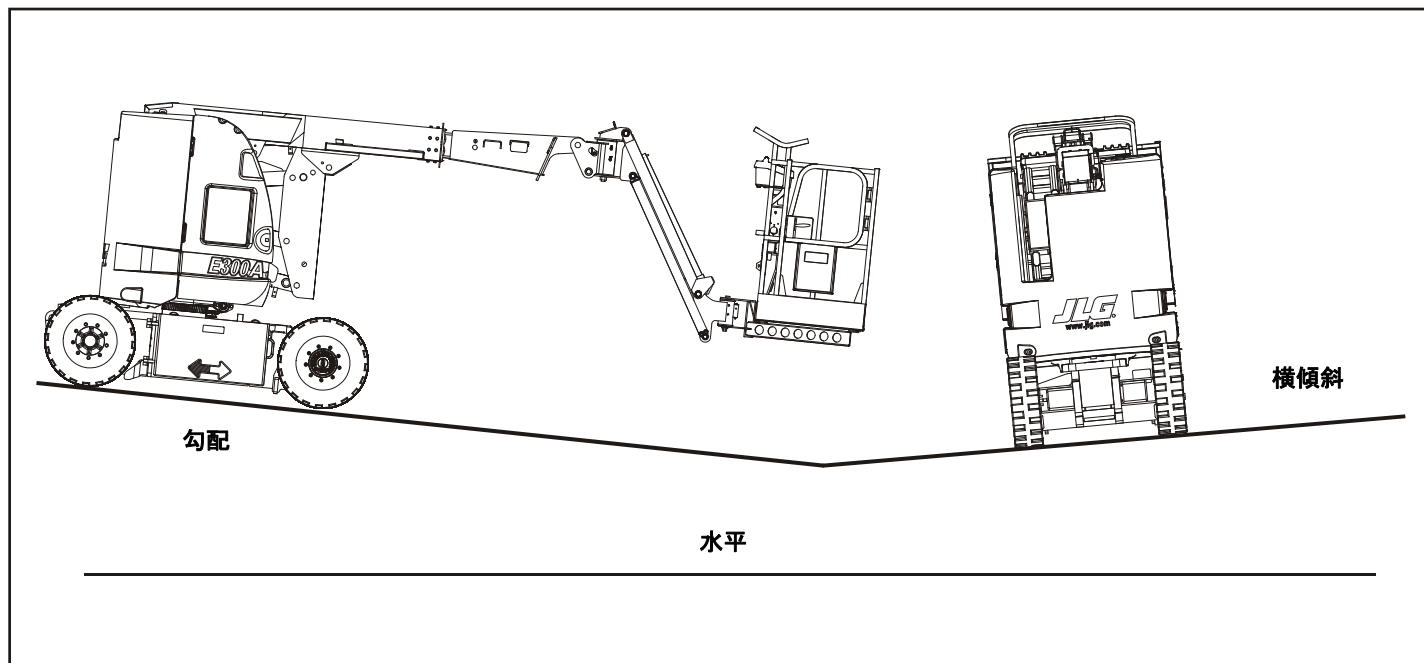


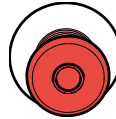
図 4-4. 勾配および横方向傾斜

## 前後への走行

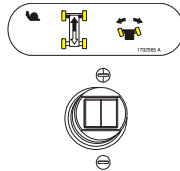
### 注記

フットスイッチは、あらゆる機能を起動する前に押す必要があります。押さない限り機能は動作しません。

1. バスケット制御で緊急停止スイッチを引き出し、フットスイッチを有効にします。

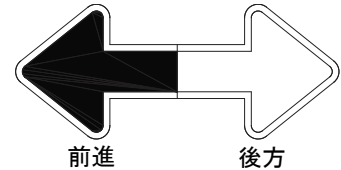


2. 運転コントローラを、必要に応じて、前進または後進の位置に入れます。コントローラの角度によって走行速度が決まります。



この機械は運転方向インジケータを備えています。バスケット制御盤上の黄色のライトは、ブームが後輪運転タイヤを越えてスイングしており、機械がコントロールの動きの逆方向にステアリング/運転する可能性を示しています。インジケータが点灯している場合、運転機能を次のように操作します。

1. 機械が移動する方向を定めるために、プラットフォームのコントロールパネルとシャーシ上の両方の白と黒の方向矢印を一致させます。



2. 運転方向オーバーライドスイッチを押して放します。3秒以内に、ドライブコントロールを徐々に意図する機械移動の方向と一致する矢印に向かって動かします。インジケータライトは運転機能が選択されるまで3秒間隔で点滅します。



### 斜面の走行

斜面走行時にブレーキとけん引の効果が最大となるのは、ブームが進行方向に沿って後部（駆動）車軸の上の位置に格納されている場合です。斜面を登るときは機械を前進させ、降りるときは逆進させてください。機械の最大定格登坂能力を超えないでください。

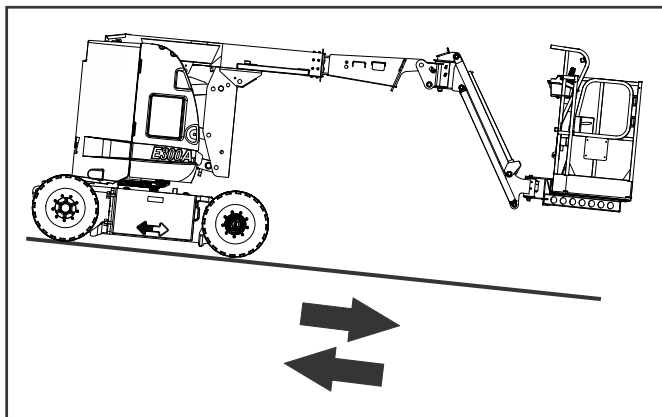


図 4-5. 斜面の走行

#### 注記

ブームが前部（操舵）車軸の上にある場合、操舵と走行の方向は、制御装置を動かす方向とは逆になります。

### 4.5 ステアリング

運転 / 操縦制御の親指スイッチを右へ移動させると右へ操縦でき、左へ移動させると左に操縦できます。

### 4.6 バスケット

#### 警告

バスケット平準化オーバーライド機能は、バスケットの微小な平準化のみに使用します。正しく使用しないと、積荷 / 乗員が動かされたり、落下したりする可能性があります。この注意を守らないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性があります。

#### バスケットの平準の調整

レベルを手動で上下させるには - プラットフォーム / レベル制御スイッチを上下に動かして、プラットフォームが希望する位置になるまでそのままにします。

#### バスケットの回転

左右にプラットフォームを回転するには、プラットフォーム回転コントロール・スイッチで方向を選択し、目的の位置に達するまで保持します。

**⚠ 警告**

人身事故を避けるため、バスケットの動きを制御する制御レバーまたはトグルスイッチを放してもオフまたはニュートラルの位置まで戻らない場合は、機械を操作しないでください。

**⚠ 注意**

衝突や人身事故を避けるため、制御レバーまたはトグルスイッチを放してもバスケットが停止しない場合、フットスイッチから足を外すか、緊急停止スイッチを使用して機械を停止させます。

## 4.7 ブーム

**⚠ 警告**

制御盤には赤いチルト警告ライトがあり、シャーシが傾き過ぎている場合に点灯します。ライトが点灯している場合は、ブームをスイングさせたり、水平より上に上昇させないでください。

シャーシの平準の指標として傾斜アラームに依存してはいけません。傾斜アラームは、シャーシが過度な斜面（5度以上）にあることを示します。ブームをスイングさせたり、水平以上に上昇させたり、ブームを上げたままで運転する場合、シャーシが水平でなければなりません。

転倒を避けるために、ブームを水平より高く上昇させていて赤いチルト警告ライトが点灯した場合は、プラットフォームを地上まで下げてください。その後、ブームを上昇させる前に、シャーシが水平になるように機械の位置を再調整します。

ブームを水平以下に下げた状態での移動は、フレーム上のシリアルネームプレートに記載されている角度と横斜面で許可されます。

### ブームのスイング

ブームをスイングさせるには、スイング制御を使用して右または左の方向を選択します。

### 上部ブームの上昇と下降

上部ブームを上昇または下降させるには、希望する位置に達するまで、上部ブームリフトスイッチを上または下の位置にします。

### 4.8 機能の速度コントロール

この制御装置は、ブーム機能およびバスケット回転リフト、テレスコープ、およびスイングの速度に影響します。反時計回りに止まるまで回すと、駆動力はクリープ速度に設定されます。

## 4.9 機械安全性システムオーバーライド (MSSO) (CE のみ)

機械安全性システムオーバーライド (MSSO) は、緊急時バスケット復帰の場合のみ機能コントロールをオーバーライドするために使用されます。操作手順については、セクション 5.7、機械安全性システムオーバーライド (MSSO) (CE のみ) を参照してください。



## 4.10 SKYGUARD の操作

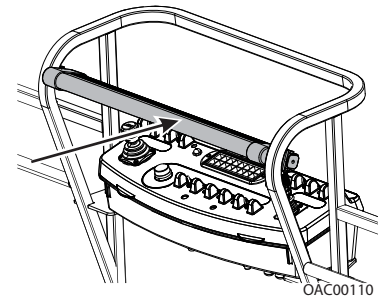
SkyGuard は、強化された制御パネル保護を提供します。SkyGuard センサーが稼働している場合、稼働時に使用される機能は逆動作となるか、遮断されます。SkyGuard 機能表には、これらの機能の詳細が示されています。

起動中には警告音が鳴り、SkyGuard ビーコンが装備されている場合、ビーコンはセンサーとフットスイッチが解除されるまで点灯します。

機能の逆動作または遮断後、SkyGuard が稼働したままの場合には、SkyGuard オーバーライドスイッチをセンサーが解除されるまで押し続け、通常使用状態に戻します。

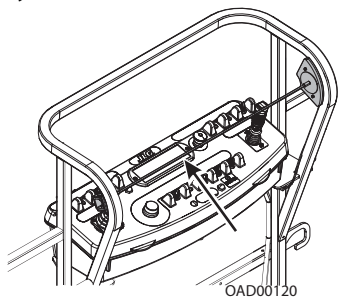
次の図を参照して、機械の保有する SkyGuard のタイプを確認してください。タイプに関係なく、SkyGuard 機能表による SkyGuard の機能は変わりません。

### SkyGuard

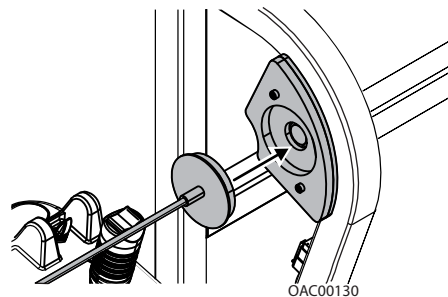


黄色のバーに約 222 Nm (50 ポンド) の圧力がかかる。

## SkyGuard - SkyLine

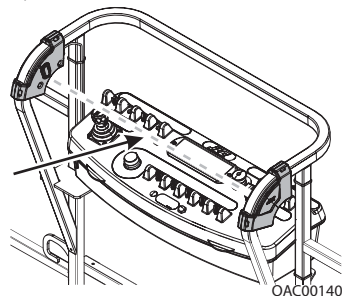


ケーブルが押され、ケーブルと右ブラケットの間の磁気接続が切断される。



切断された場合は、ケーブルの磁気端をブラケットに接続し直す。

## SkyGuard - SkyEye



オペレータがセンサービームのパスを通過する。



SkyGuard 機能表

前進	後進	操舵	スイ ング	タワ ーリ フト の上 昇	タワ ーリ フト の下 降	ブーム リフト の上 昇	ブーム リフト の下 降	ブーム テレス コープ の展開	ブーム テレス コープ の格納	ジブ リフト	ジブ スイ ング	バス ケット トレ ベル	バス ケット の回転
R*/C**	R	C	R	R	C	R	C	R	C	C	C	C	C
R=後進が稼働していることを示す													
C=遮断が稼働していることを示す													
*DOS（運転方向システム）が有効になっている													
**DOSが無効で、機械はステアリングなしで真っすぐに前進し、他の油圧機能が有効になっている													

### 4.11 停止と駐車

**注意：** バッテリー駆動装置を翌日まで駐車する場合、セクション6の説明に従ってバッテリーを充電し、次の作業日に備える必要があります。

**注意：** 電動作業車には、静電気が集積されるために静止ストラップが装備されています。ストラップは機械のシャーシ後部の下にあります。

機械を停止、駐車する手順は以下のとおりです：

1. 保護の適切な場所に作業車を移動させます。
2. ブームが、後部運転軸の上に下降していることを確認します。
3. バスケット制御で緊急停止で停止します。
4. 地上制御で緊急停止で停止します。バスケット/地上選択スイッチを中央のオフへ入れます。
5. 必要であれば、プラットフォーム制御盤を覆って、指示プラカード、警告ステッカー、および操作制御を厳しい環境から保護します。

### 4.12 リフトおよびタイダウン

(図4-6. を参照)

#### リフト

1. シリアル番号プレートを参照し、このマニュアルの仕様のセクションを参照するか、個々のユニットを計量して車両の総重量を図ります。
2. ブームを格納位置に配置します。
3. 固定されていない部品はすべて機械から取り外します。
4. 索具を適切に調節して、機械に損傷を与えないように、機械を水平にします。

#### タイダウン

#### 注記

本機を輸送する場合、ブームはブームレストの中まで完全に下げる必要があります。

1. ブームを格納位置に配置します。
2. 固定されていない部品はすべて機械から取り外します。
3. ストラップまたは適切な強度のチェーンで、シャーシやバスケットを固定します。

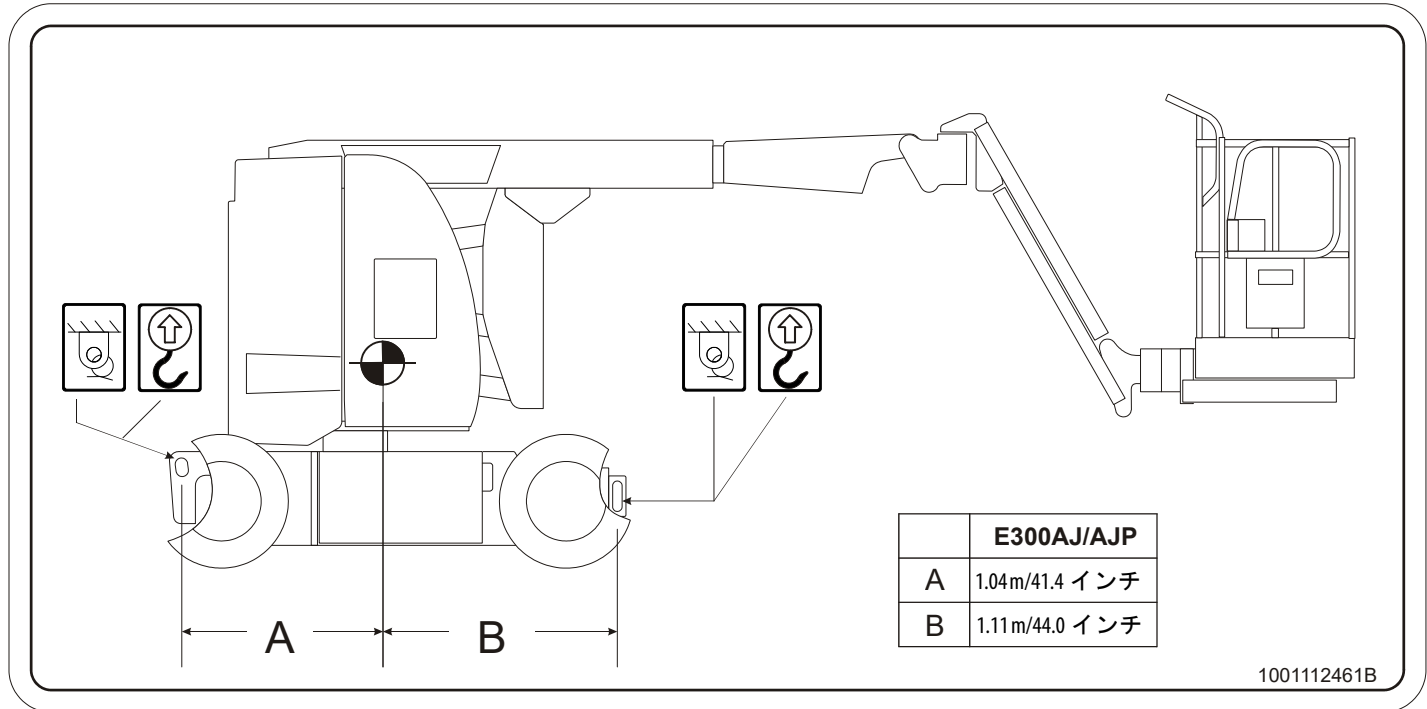


図 4-6. リフト・固定図

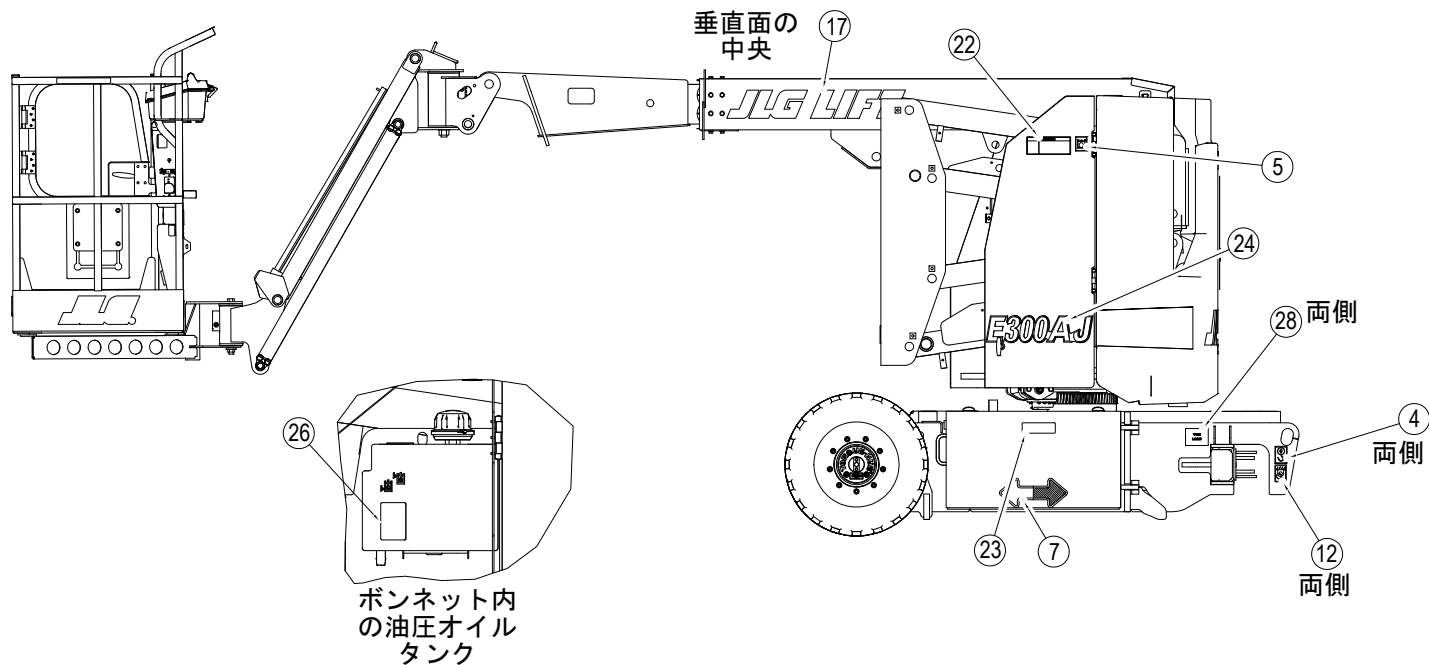


図 4-7. ANSI ステッカー位置シート 1/5

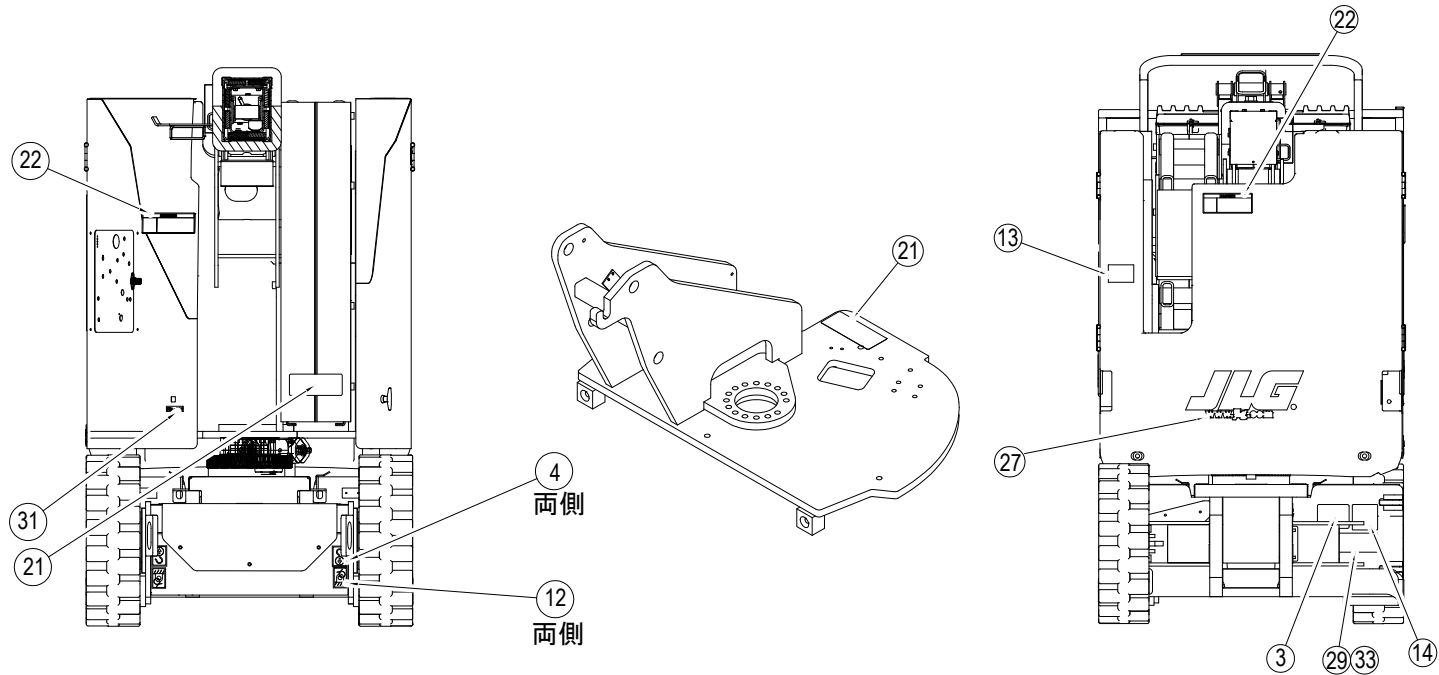


図 4-8. ANSI ステッカー位置シート 2/5

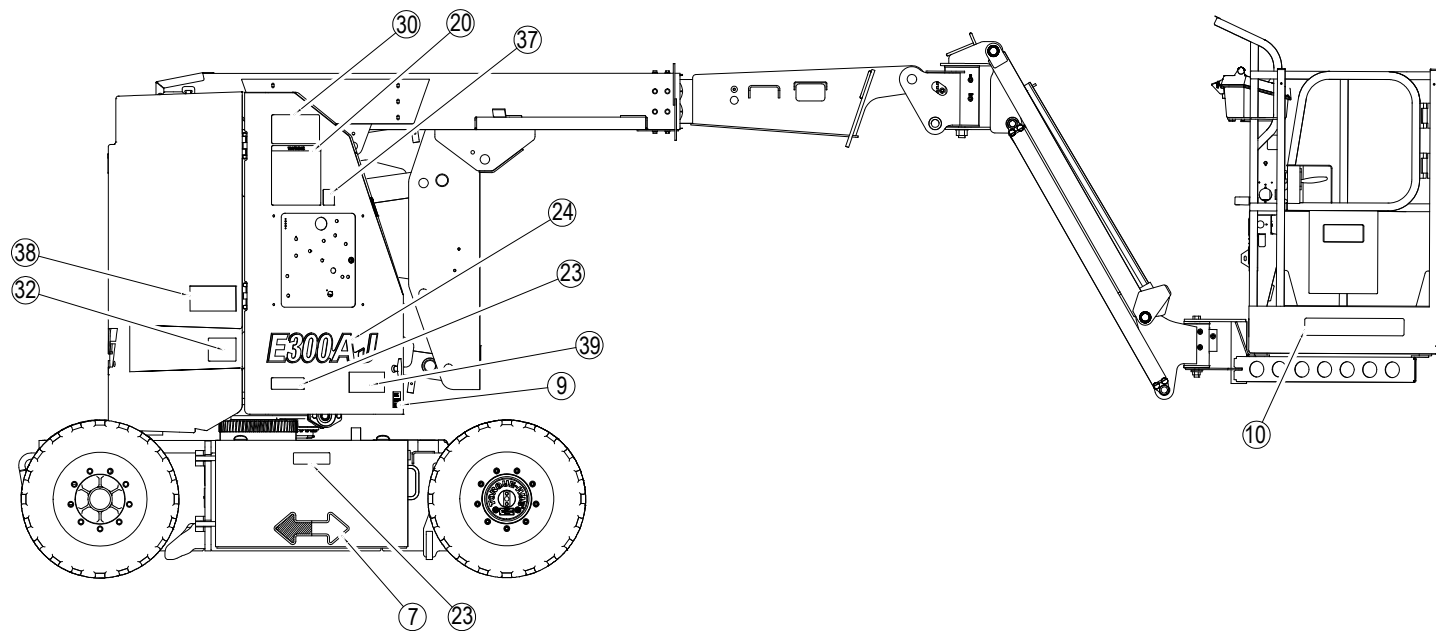


図 4-9. ANSI ステッカー位置シート 3/5



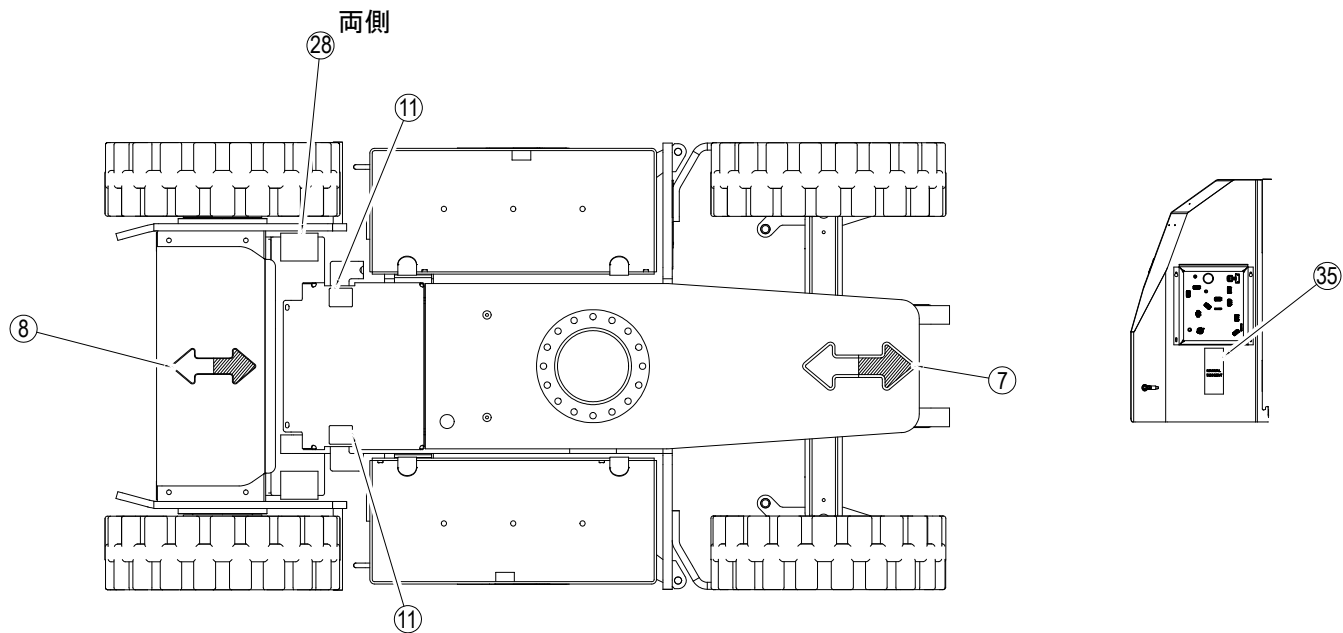


図 4-11. ANSI ステッカー位置シート 5/5



項目 #	ANSI 1001176388-D
1	--
2	--
3	--
4	1701500
5	1701504
6	1701509
7	1701529
8	1701642
9	1701644
10	1001121801
11	1702155
12	1702300
13	1702391
14	1702361
15	--
16	--
17	--
18	1702868
19	1703797

項目 #	ANSI 1001176388-D
20	1703798
21	1703804
22	1703805
23	1703813
24	--
25	1704277
26	1704412
27	--
28	1706126
29	--
30	1001121814
31	3251243
32	3251813
33	--
34	--
35	1001110196
36	1001196811
37	1001110389
38	1001112461

## セクション4- 機械の操作

---

項目 #	ANSI 1001176388-D
39	1001212200
40	1705351
41	--
42	--
43	--
44	--
45	--

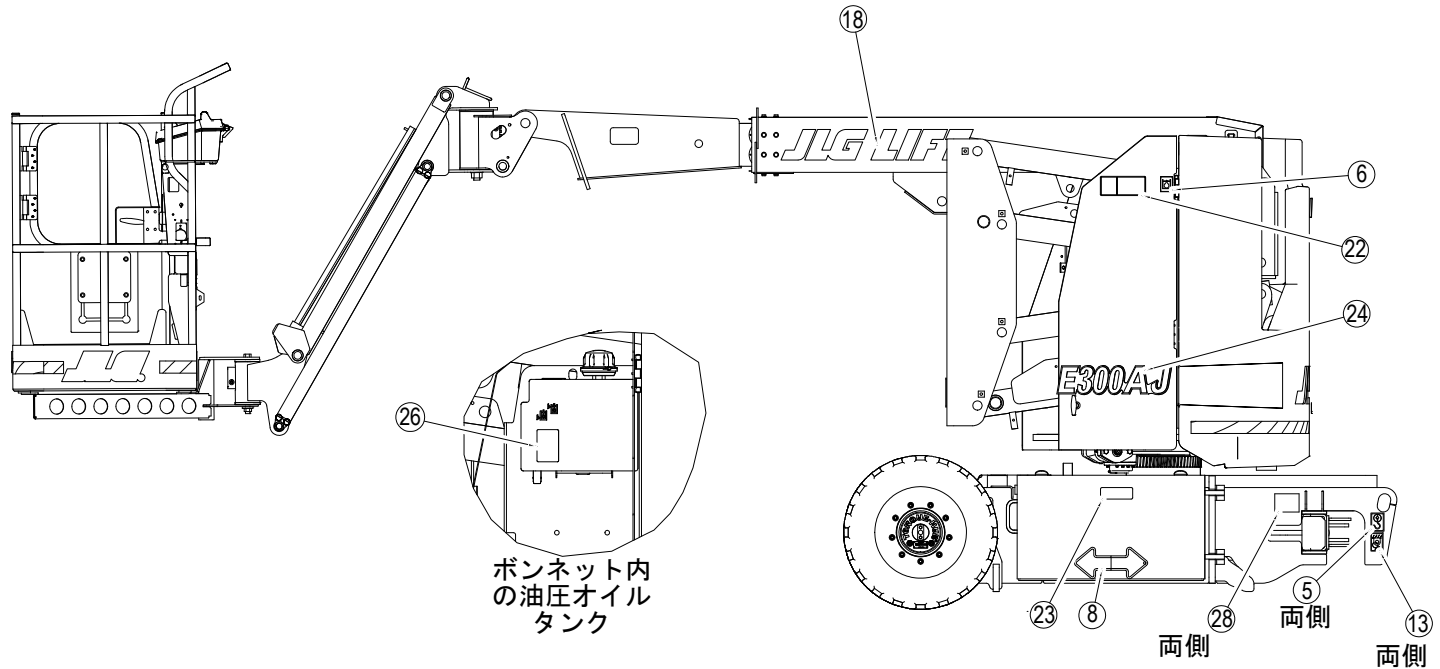


図 4-12. CE/ オーストラリアステッカー位置シート 1/5

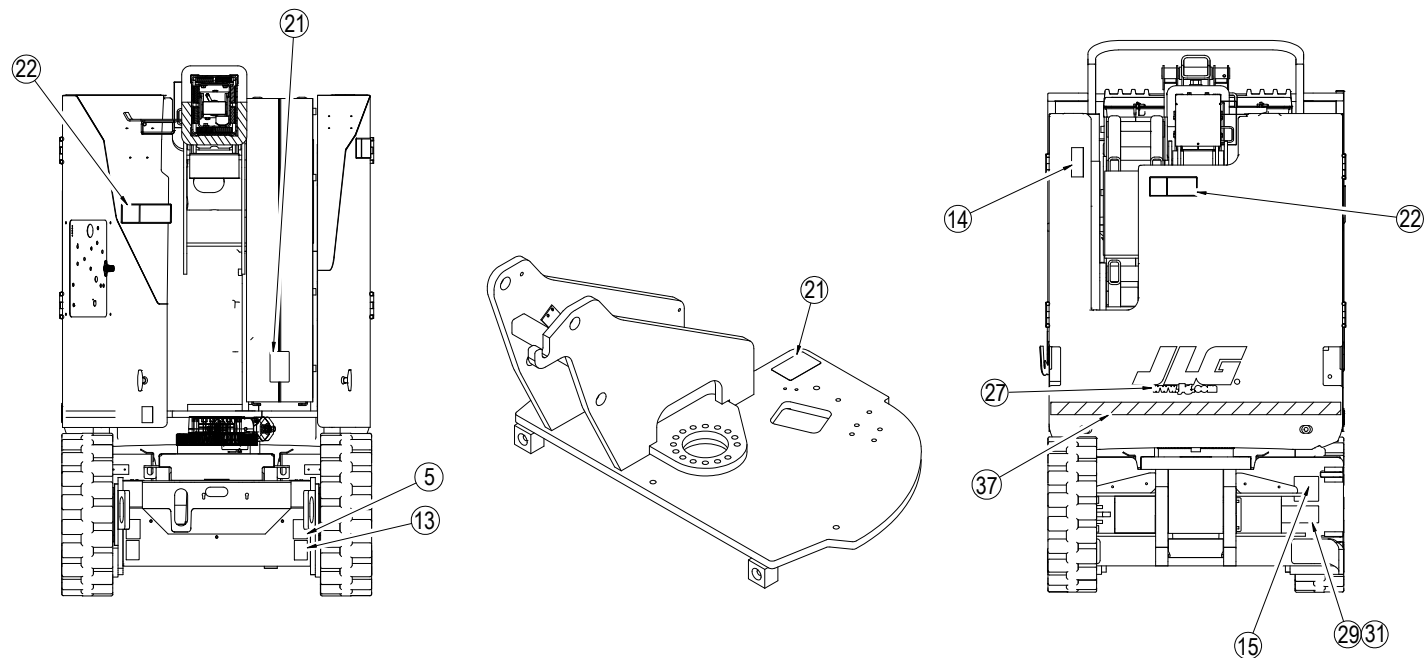


図 4-13. CE/ オーストラリアステッカー位置シート 2/5

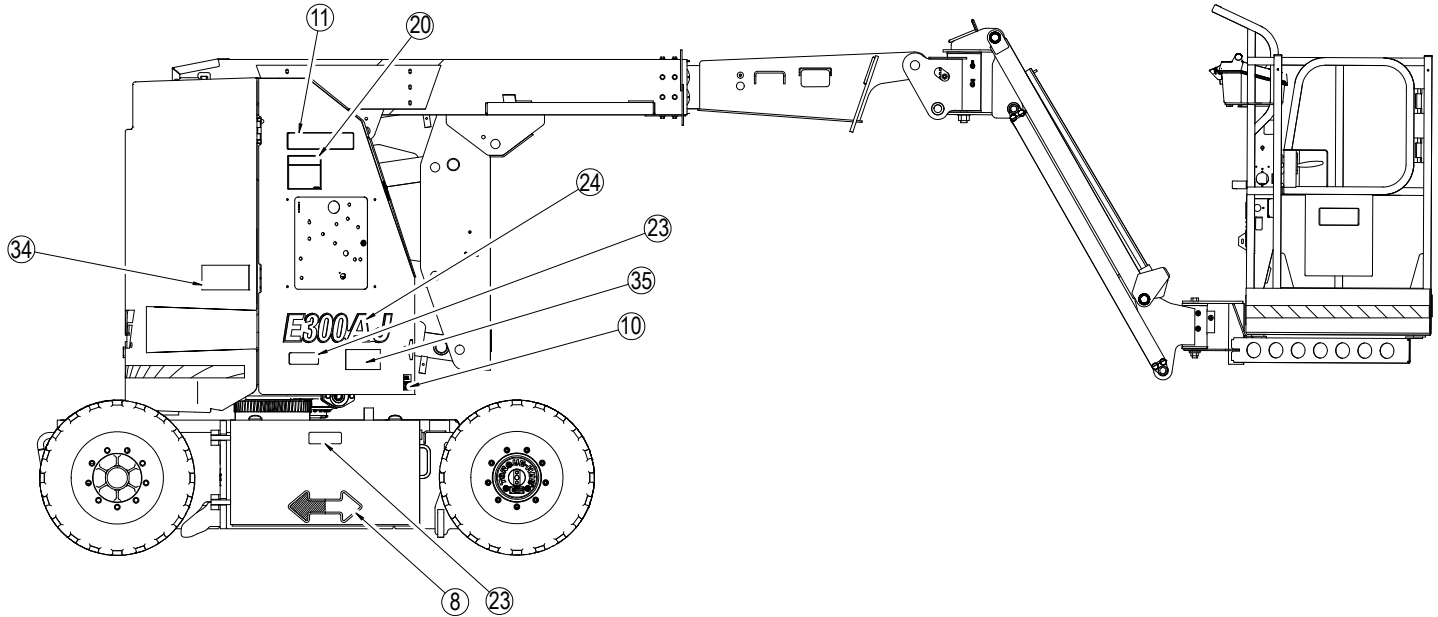


図 4-14. CE/ オーストラリア ステッカー位置シート 3/5

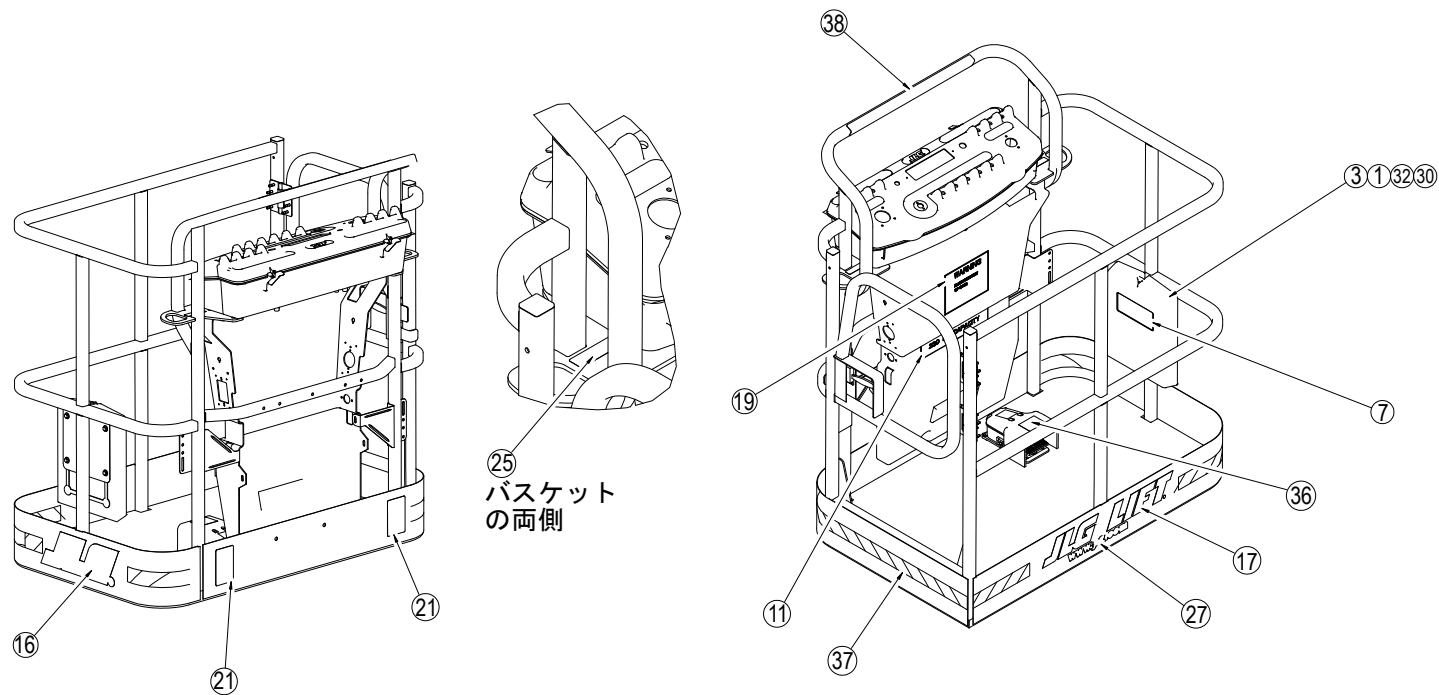


図 4-15. CE/ オーストラリアステッカー位置シート 4/5

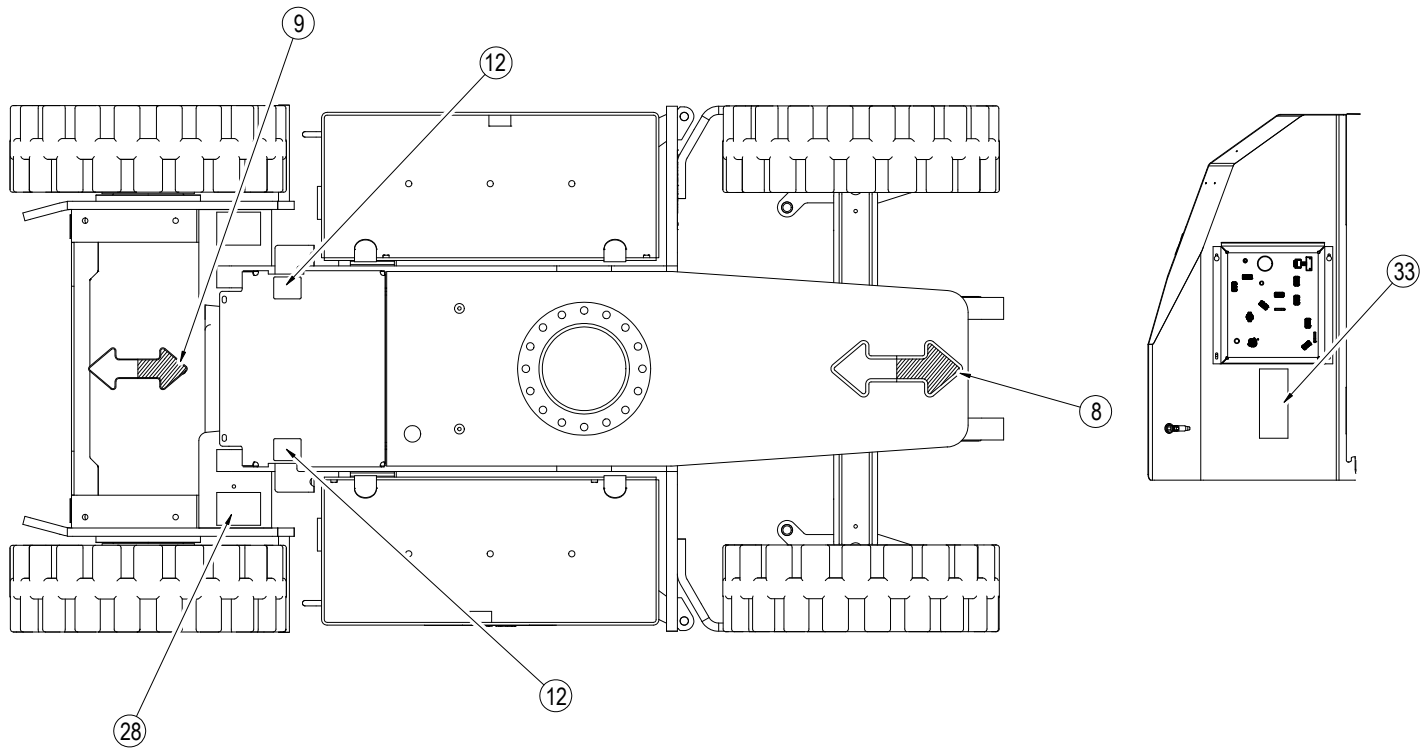


図 4-16. CE/ オーストラリア ステッカー位置シート 5/5

## セクション4- 機械の操作

項目 #	CE/ オーストラリア 1001176391-E
1	--
2	--
3	--
4	--
5	1701500
6	1701504
7	1701509
8	1701529
9	1701642
10	1701644
11	1705978
12	1702155
13	1702300
14	1701517
15	1702631
16	--
17	--
18	--

項目 #	CE/ オーストラリア 1001176391-E
19	1705921
20	1705822
21	1701518
22	1705961
23	1705670
24	--
25	1704277
26	1704412
27	--
28	1706126
29	--
30	--
31	--
32	--
33	1001110196
34	1001112461
35	1001212200
36	1705828
37	--



項目 #	CE/ オーストラリア 1001176391-E
38	1001196811
39	--
40	--
41	--
42	--
43	--
44	--
45	--

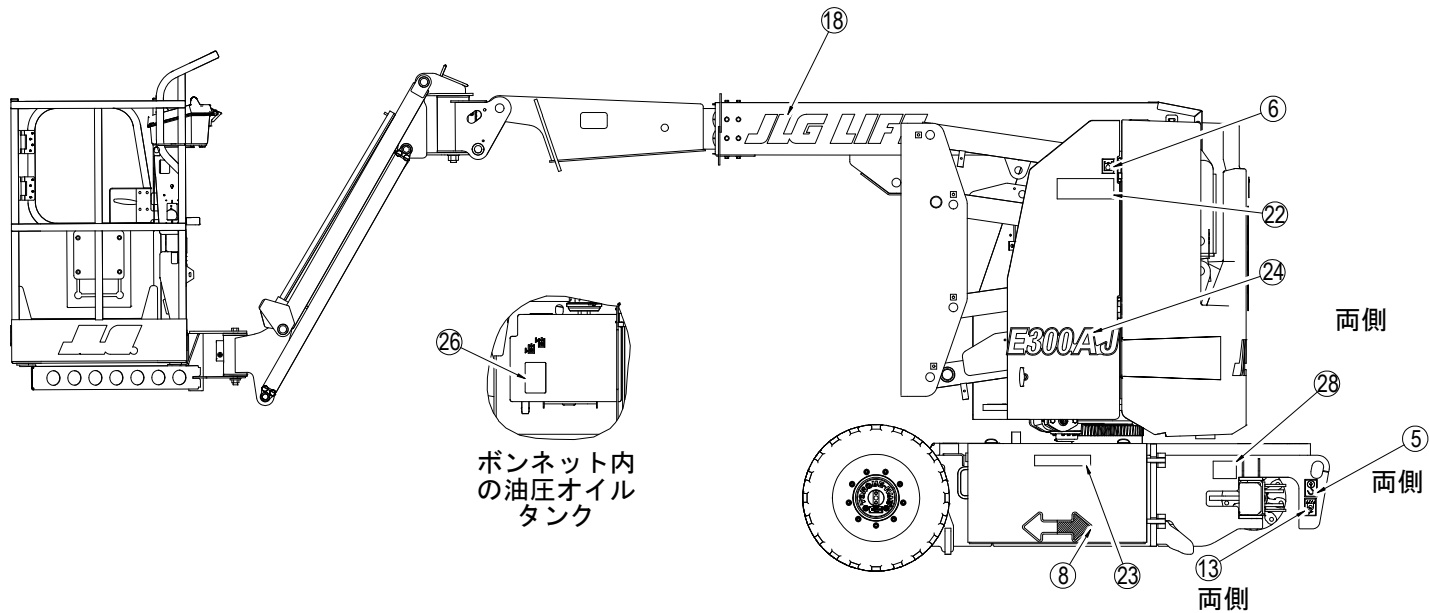


図 4-17. 日本語ステッカー位置シート 1/5

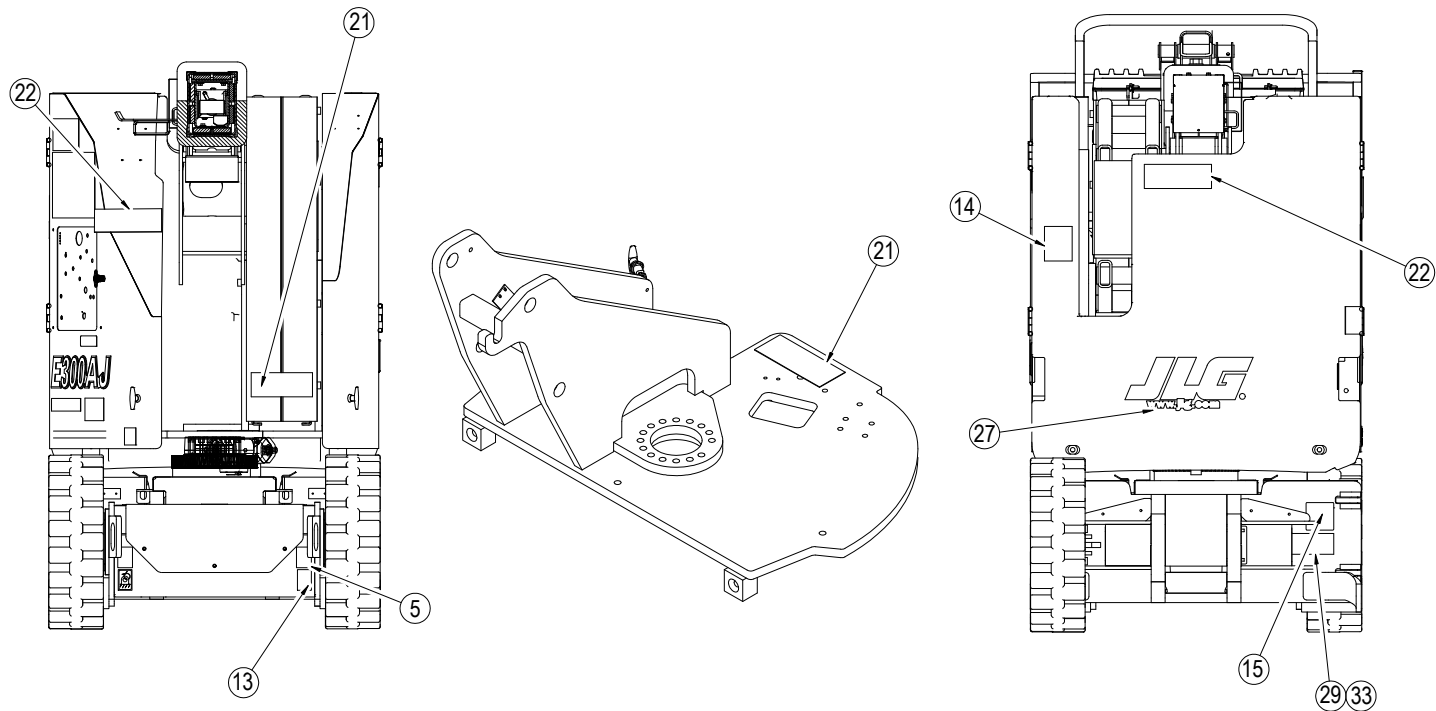


図 4-18. 日本語ステッカー位置シート 2/5

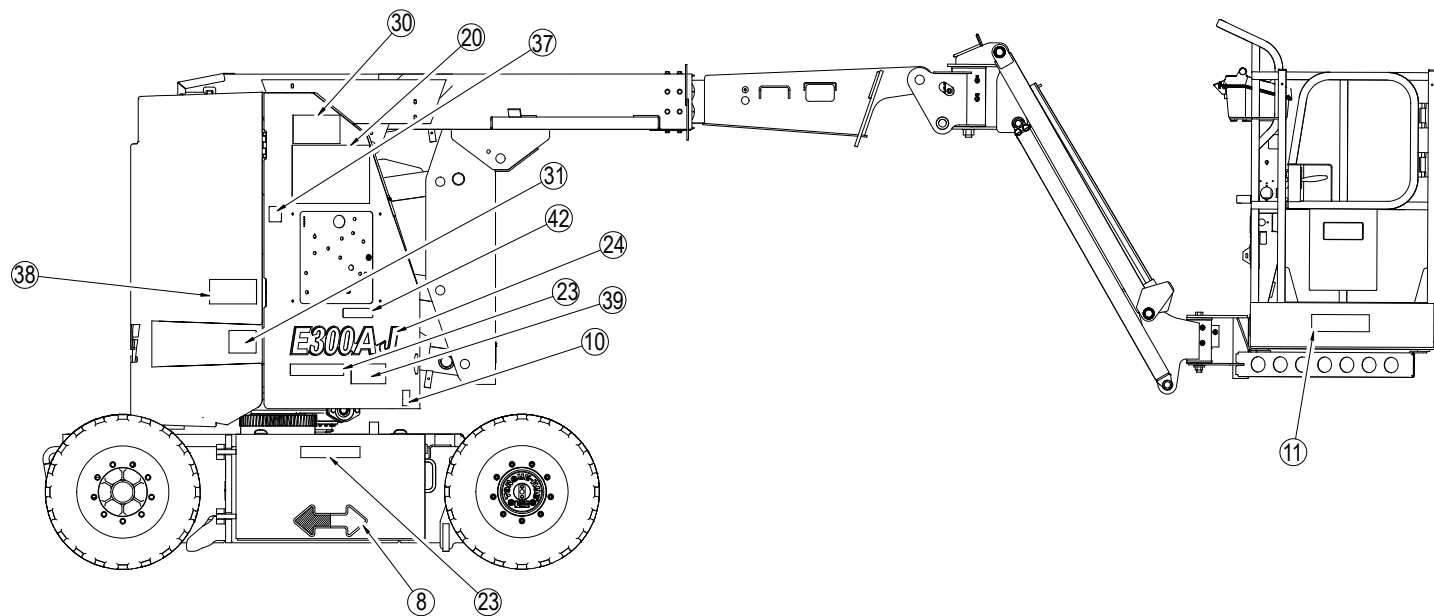


図 4-19. 日本語ステッカー位置シート 3/5

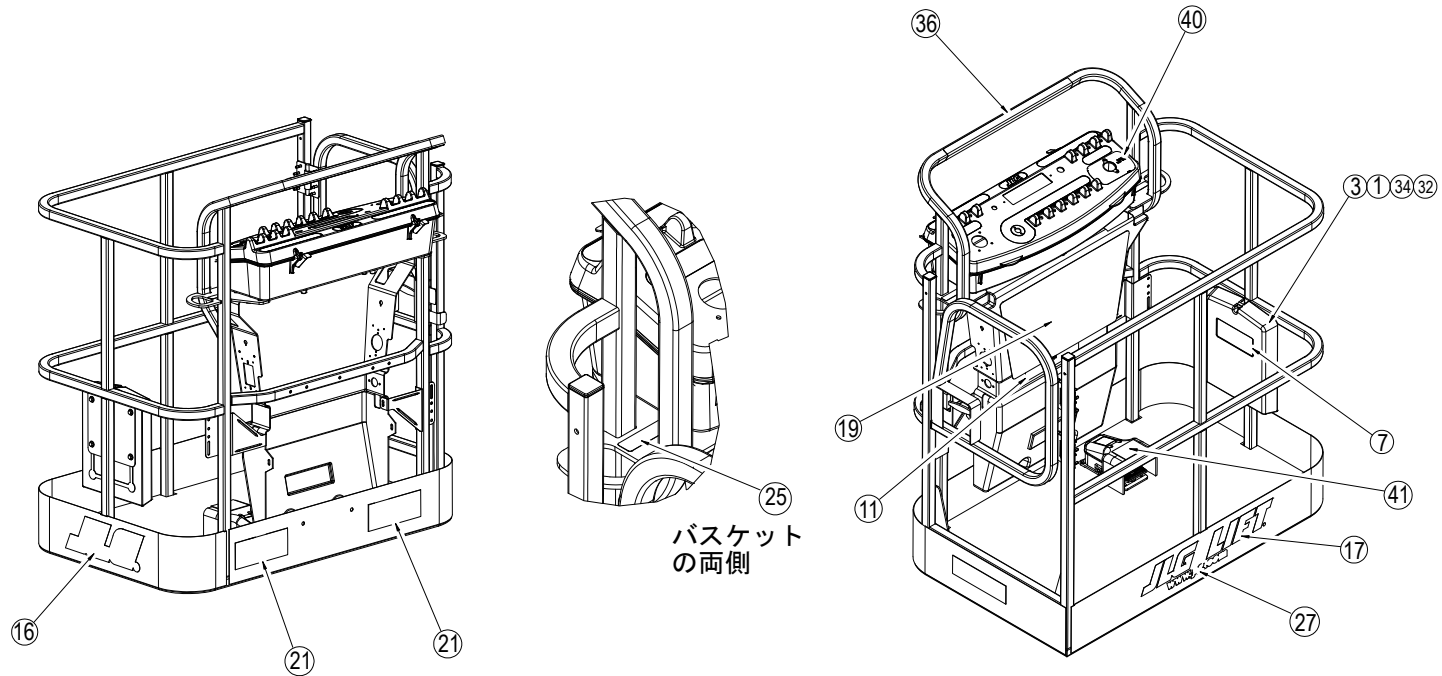


図 4-20. 日本語ステッカー位置シート 4/5

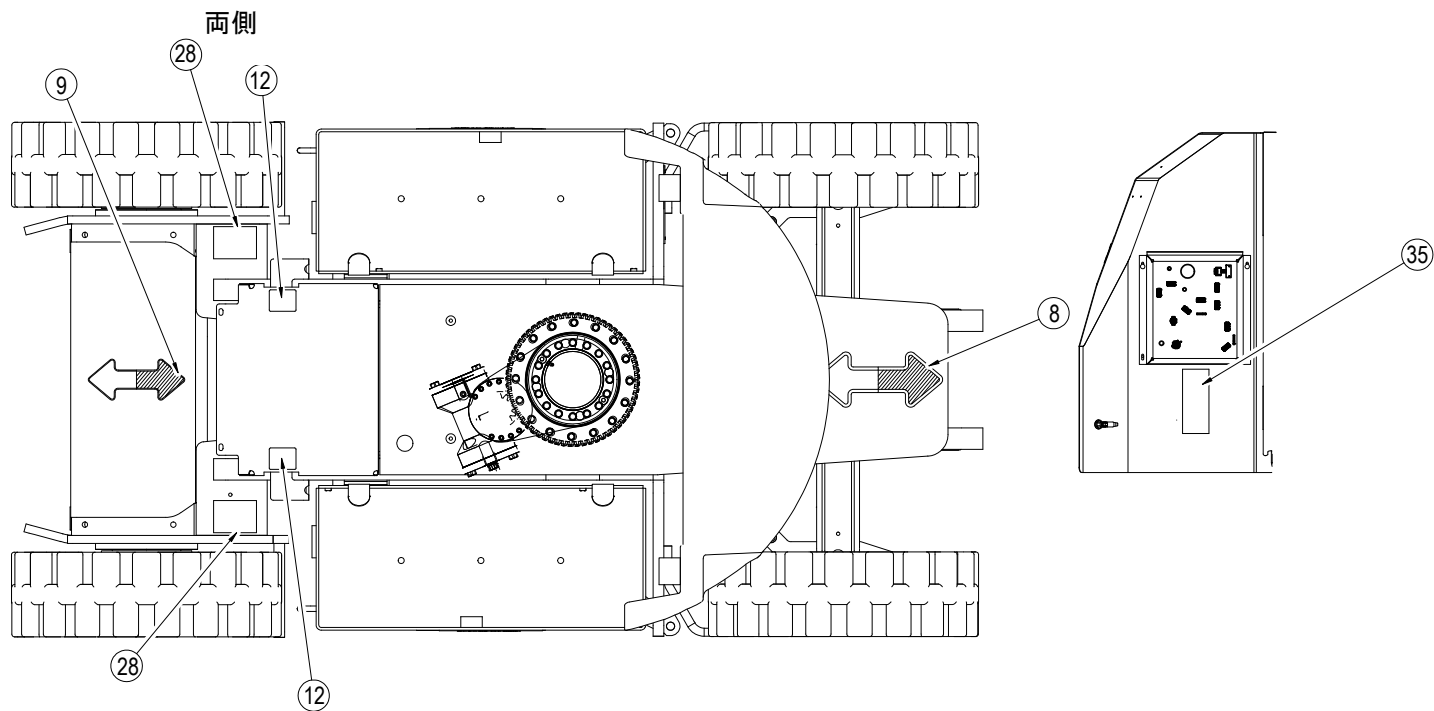


図 4-21. 日本語ステッカー位置シート 5/5

項目 #	日本 1001176390-F
1	--
2	--
3	--
4	--
5	1701500
6	1701504
7	1701509
8	1701529
9	1701642
10	1701644
11	1001121808
12	1702155
13	1702300
14	1001113166
15	1702631
16	--
17	--
18	--
19	1703926

項目 #	日本 1001176390-F
20	1703932
21	1703950
22	1703938
23	1704342
24	--
25	1704277
26	1704412
27	--
28	1706126
29	--
30	1001121821
31	--
32	--
33	--
34	--
35	1001110196
36	1001196811
37	1001110389
38	1001112461

## セクション4- 機械の操作

---

項目 #	日本 1001176390-F
39	1001212200
40	1705426
41	1703980
42	--
43	--
44	--
45	--



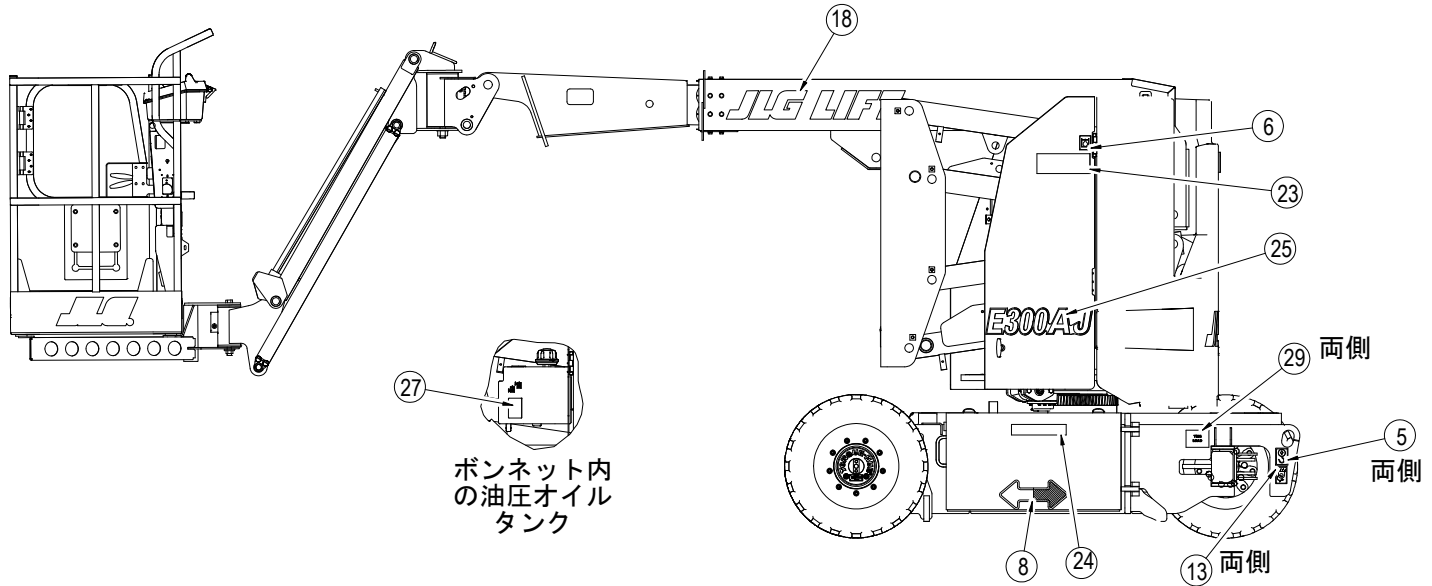


図 4-22. 韓国語ステッカー位置シート 1/5

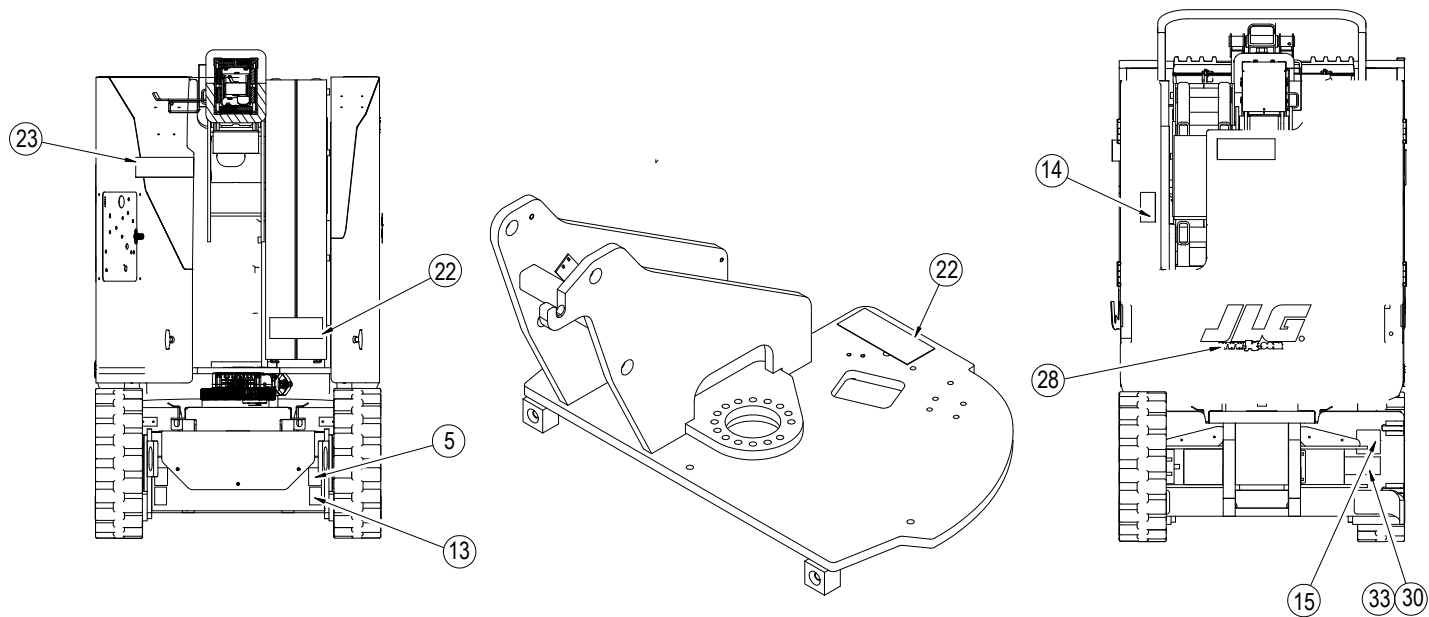


図 4-23. 韓国語ステッカー位置シート 2/5

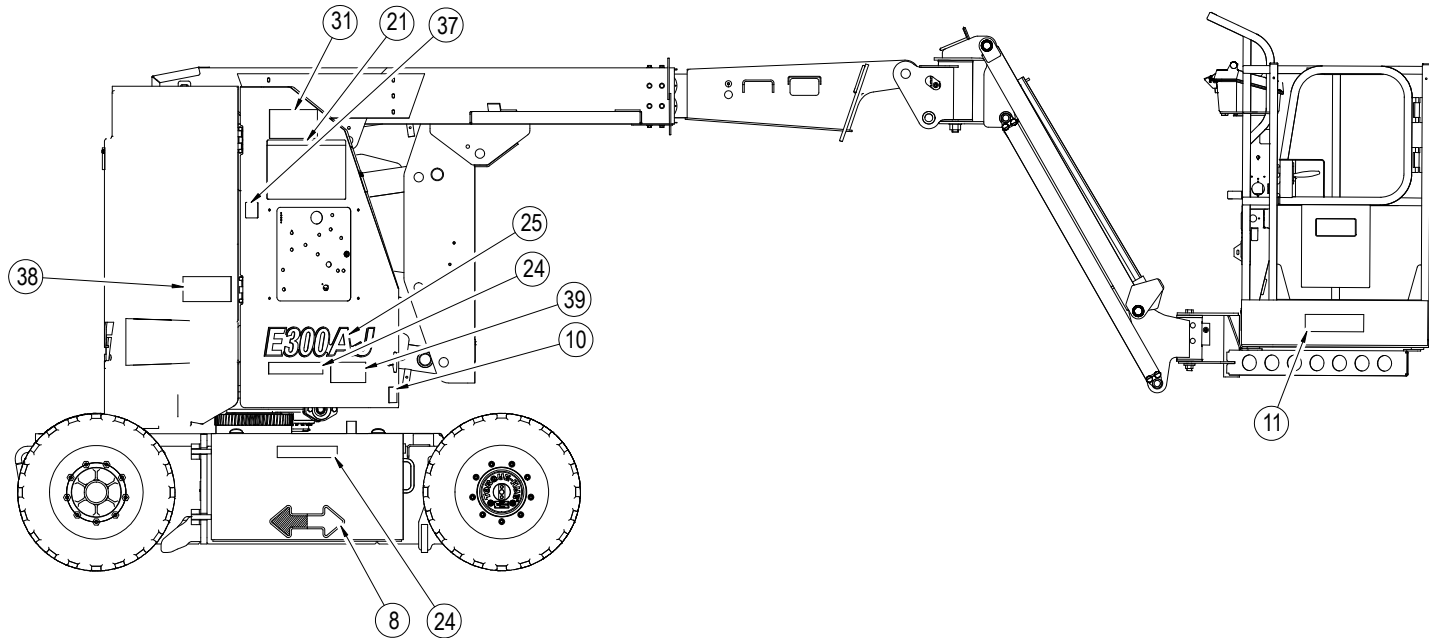


図 4-24. 韓国語ステッカー位置シート 3/5

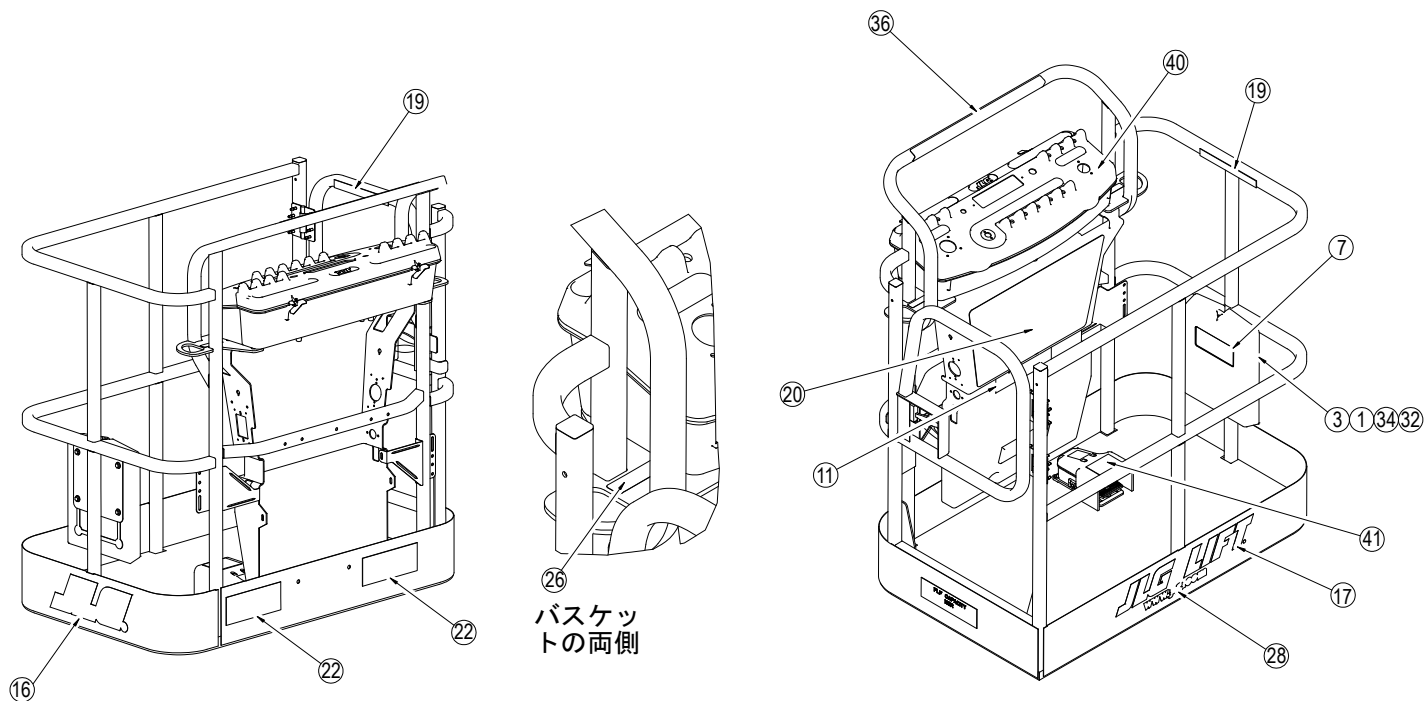


図 4-25. 韓国語ステッカー位置シート 4/5

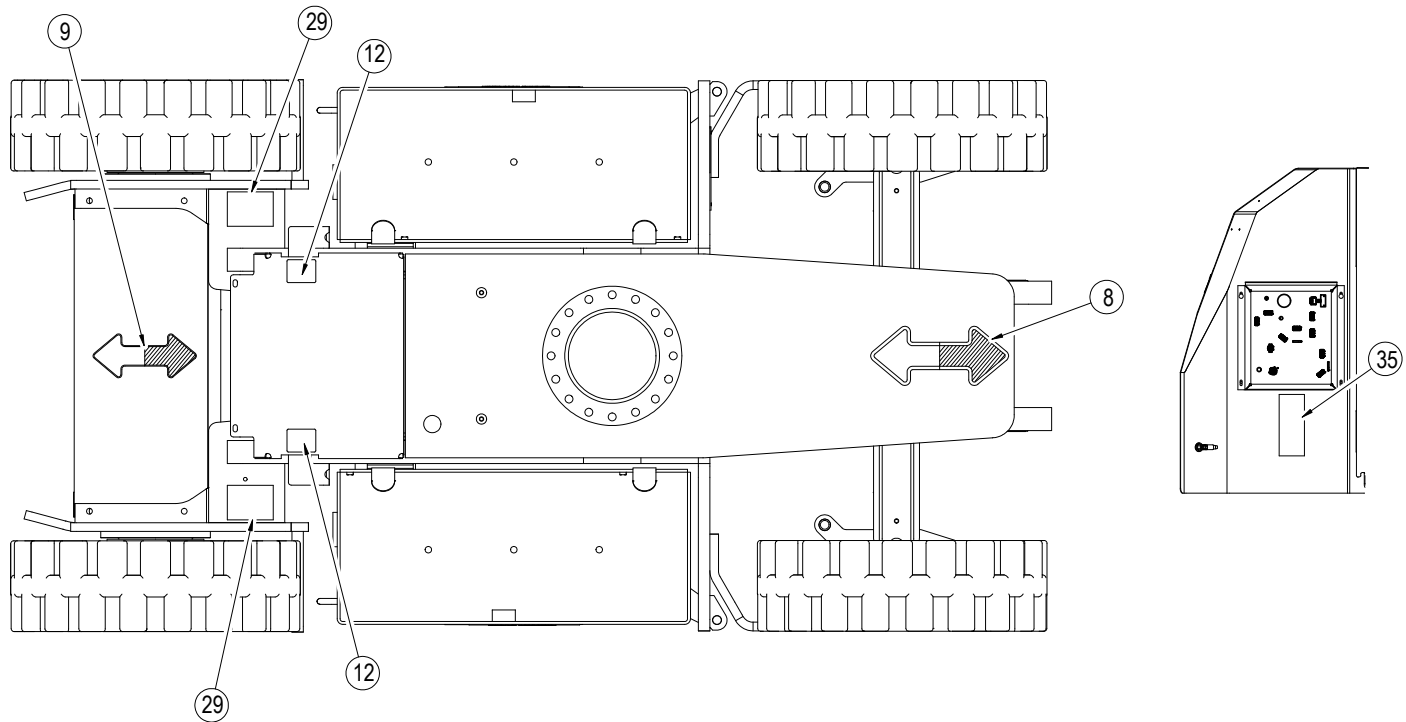


図 4-26. 韓国語ステッカー位置シート 5/5

## セクション4- 機械の操作

項目 #	韓国 1001176482-D
1	--
2	--
3	--
4	--
5	1701500
6	1701504
7	1701509
8	1701529
9	1701642
10	1701644
11	1001121918
12	1702155
13	1702300
14	1001113509
15	1702631
16	--
17	--
18	--
19	1705969

項目 #	韓国 1001176482-D
20	1703927
21	1703933
22	1703951
23	1703939
24	1704343
25	--
26	1704277
27	1704412
28	--
29	--
30	--
31	1001121921
32	--
33	--
34	--
35	1001110196
36	1001196811
37	1001110389
38	1001112461

項目 #	韓国 1001176482-D
39	1001212200
40	1705427
41	1703981
42	--
43	--
44	--
45	--

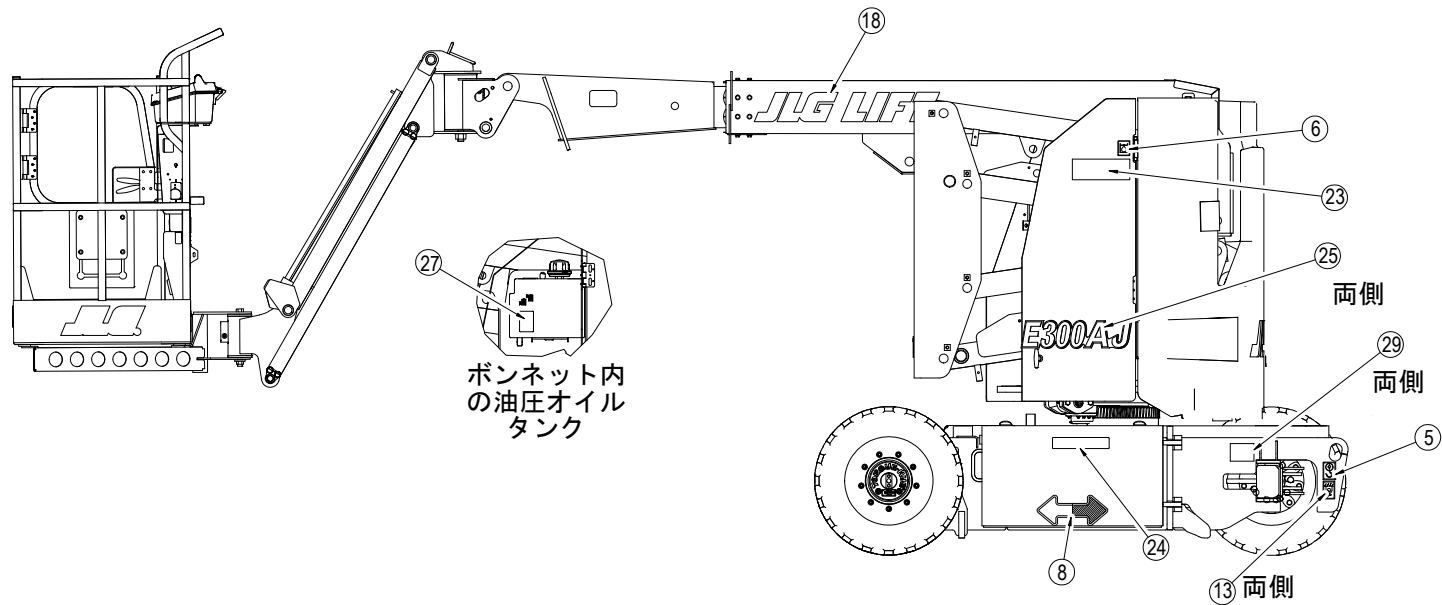


図 4-27. スペイン語ステッカー位置シート 1/5



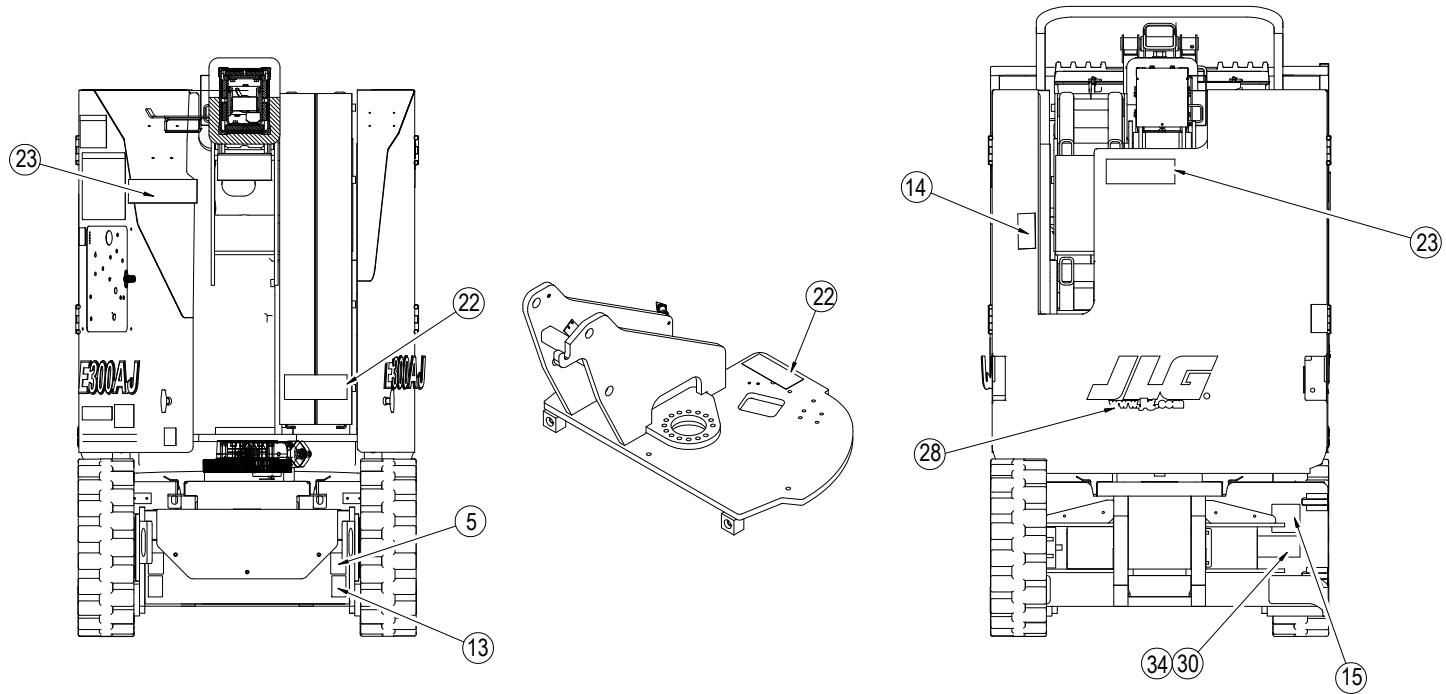


図 4-28. スペイン語ステッカー位置シート 2/5

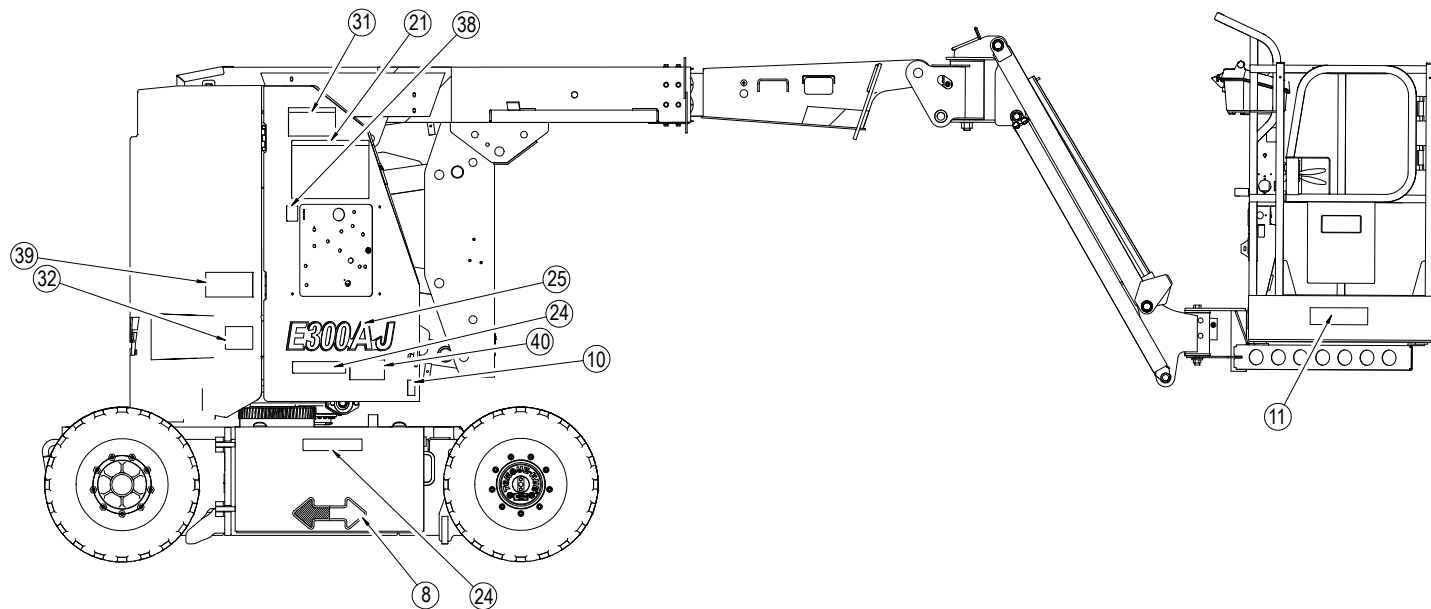


図 4-29. スペイン語ステッカー位置シート 3/5

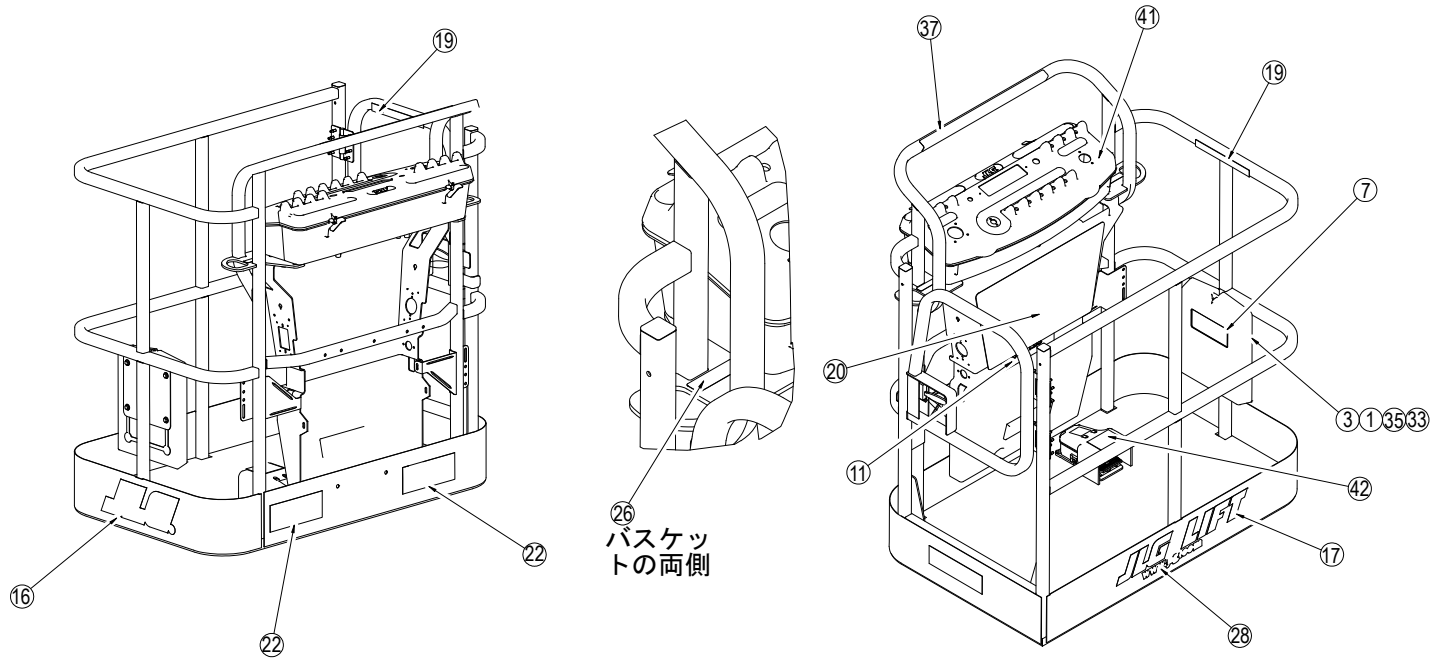


図 4-30. スペイン語ステッカー位置シート 4/5

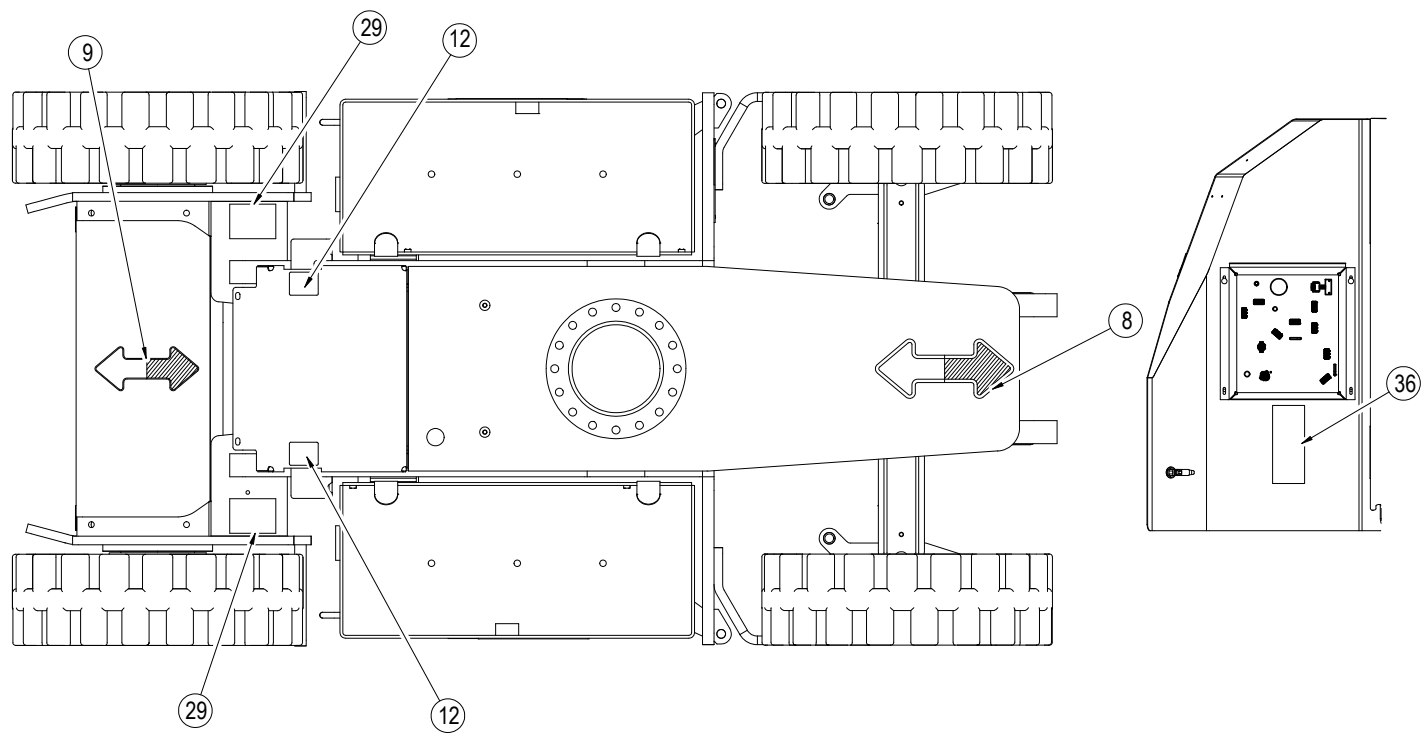


図 4-31. スペイン語ステッカー位置シート 5/5

項目 #	スペイン語 1001176483-D
1	--
2	--
3	--
4	--
5	1701500
6	1701504
7	1701509
8	1701529
9	1701642
10	1701644
11	1001121805
12	1702155
13	1702300
14	1001113171
15	1702631
16	--
17	--
18	--
19	1704001

項目 #	スペイン語 1001176483-D
20	1703923
21	1703929
22	1703947
23	1703935
24	1704339
25	--
26	1704277
27	1704412
28	--
29	1706126
30	--
31	1001121818
32	--
33	--
34	--
35	--
36	1001110196
37	1001196811
38	1001110389

## セクション4- 機械の操作

---

項目 #	スペイン語 1001176483-D
39	1001112461
40	1001212200
41	1705910
42	1703983
43	--
44	--
45	--

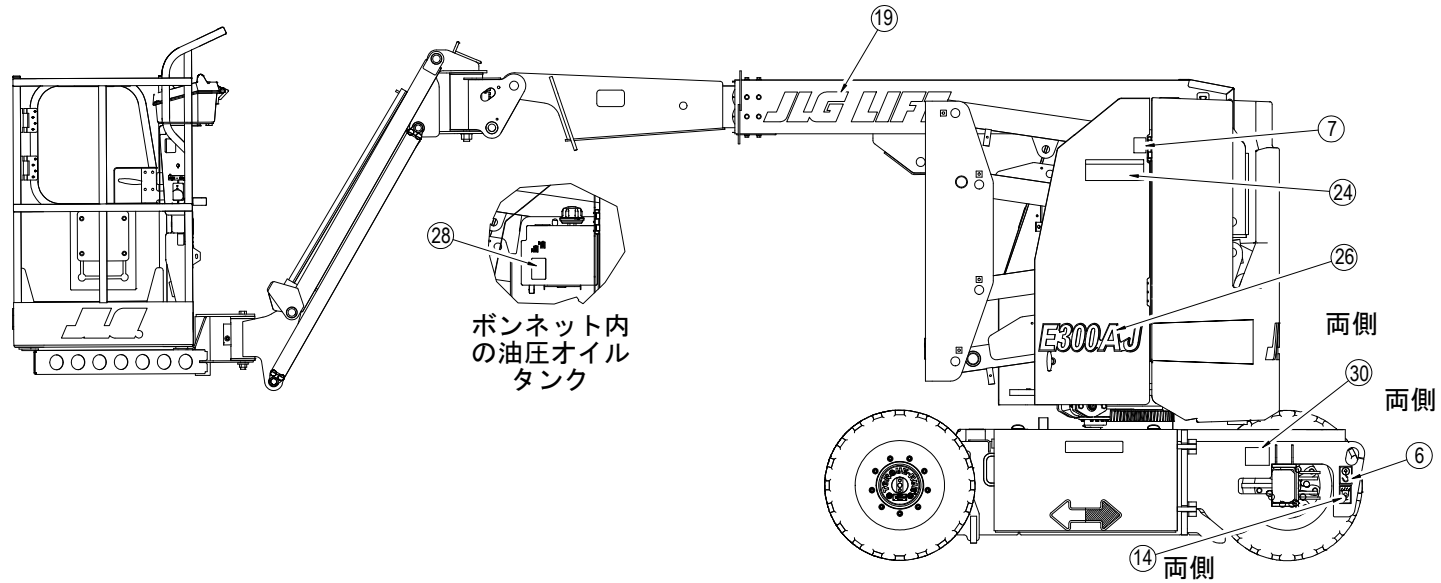


図 4-32. フランス語ステッカー位置シート 1/5

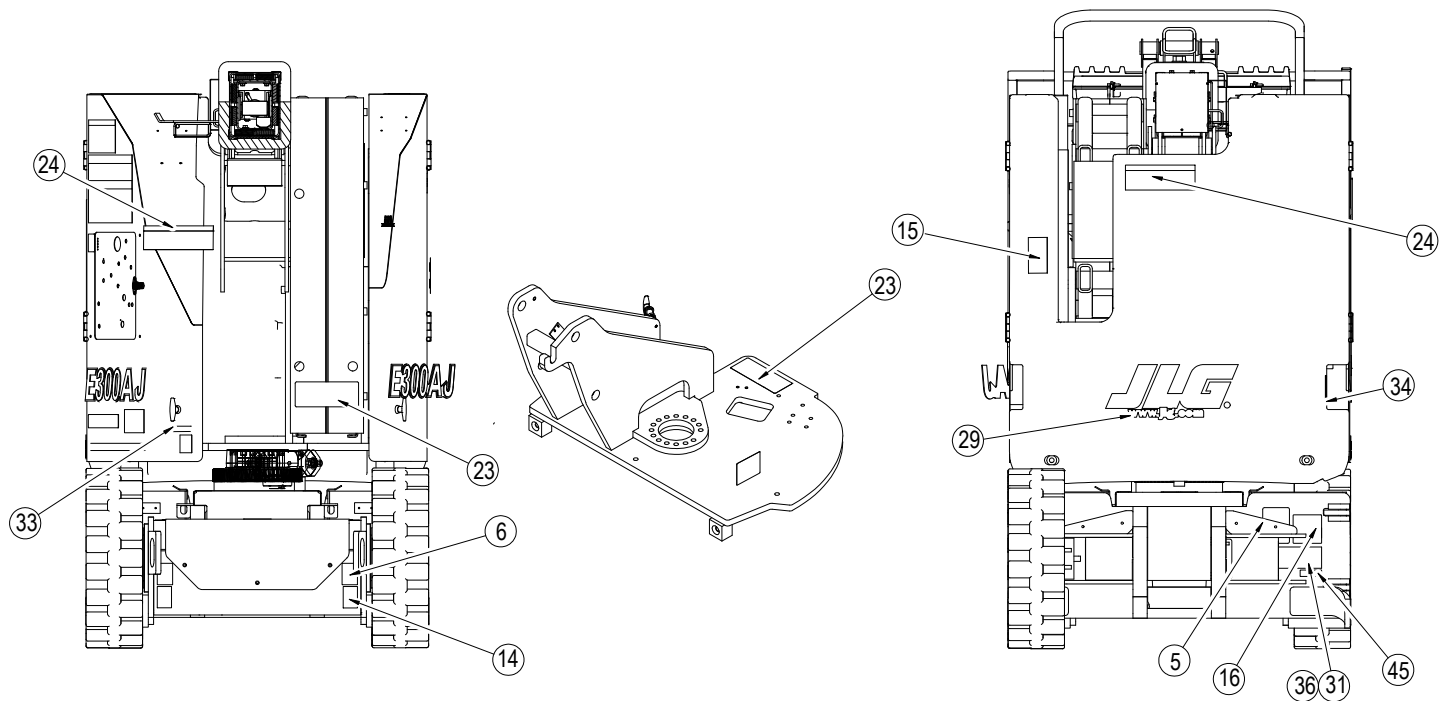


図 4-33. フランス語ステッカー位置シート 2/5



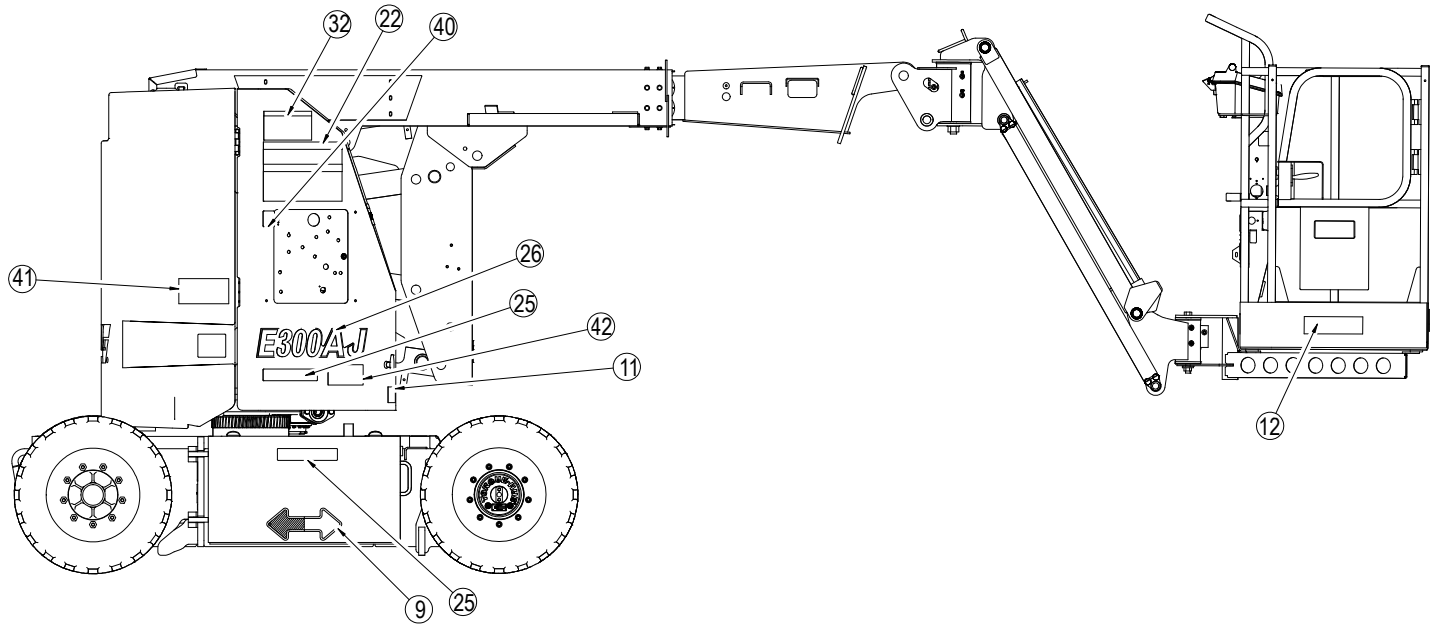


図 4-34. フランス語ステッカー位置シート 3/5

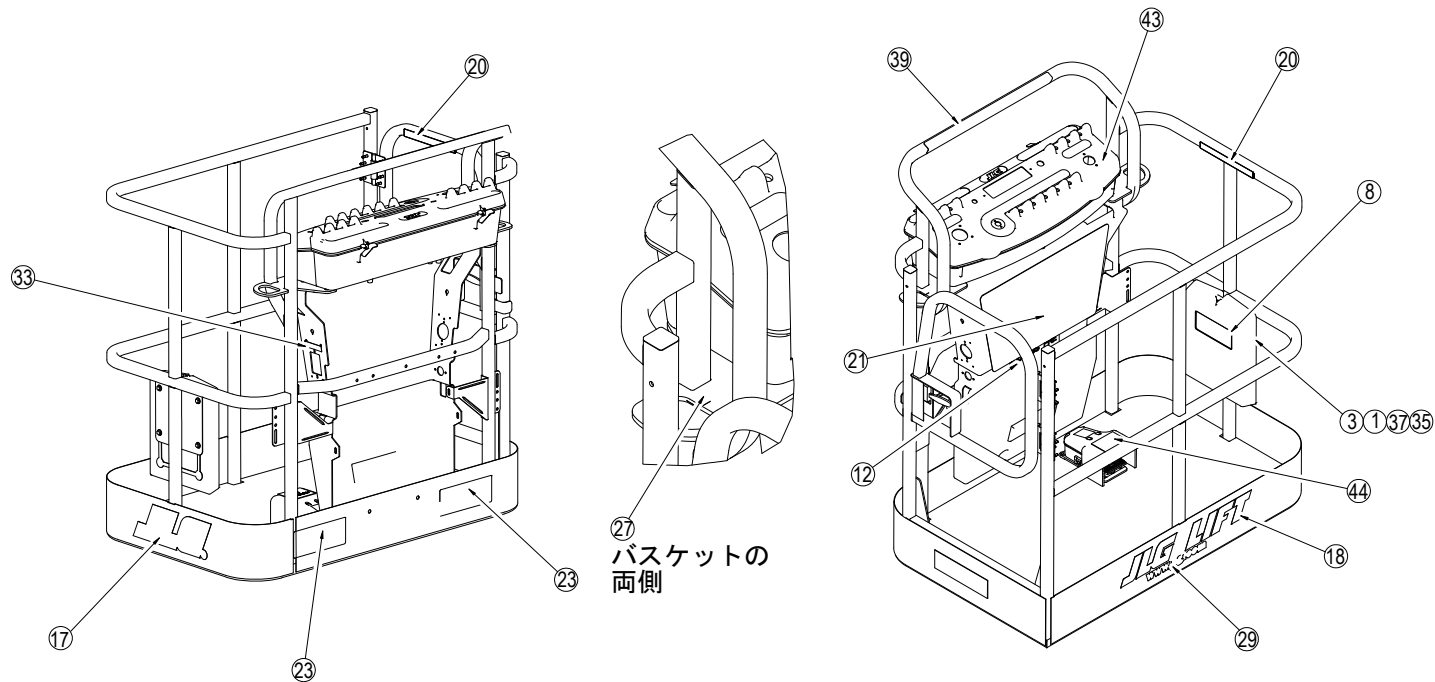


図 4-35. フランス語ステッカー位置シート 4/5

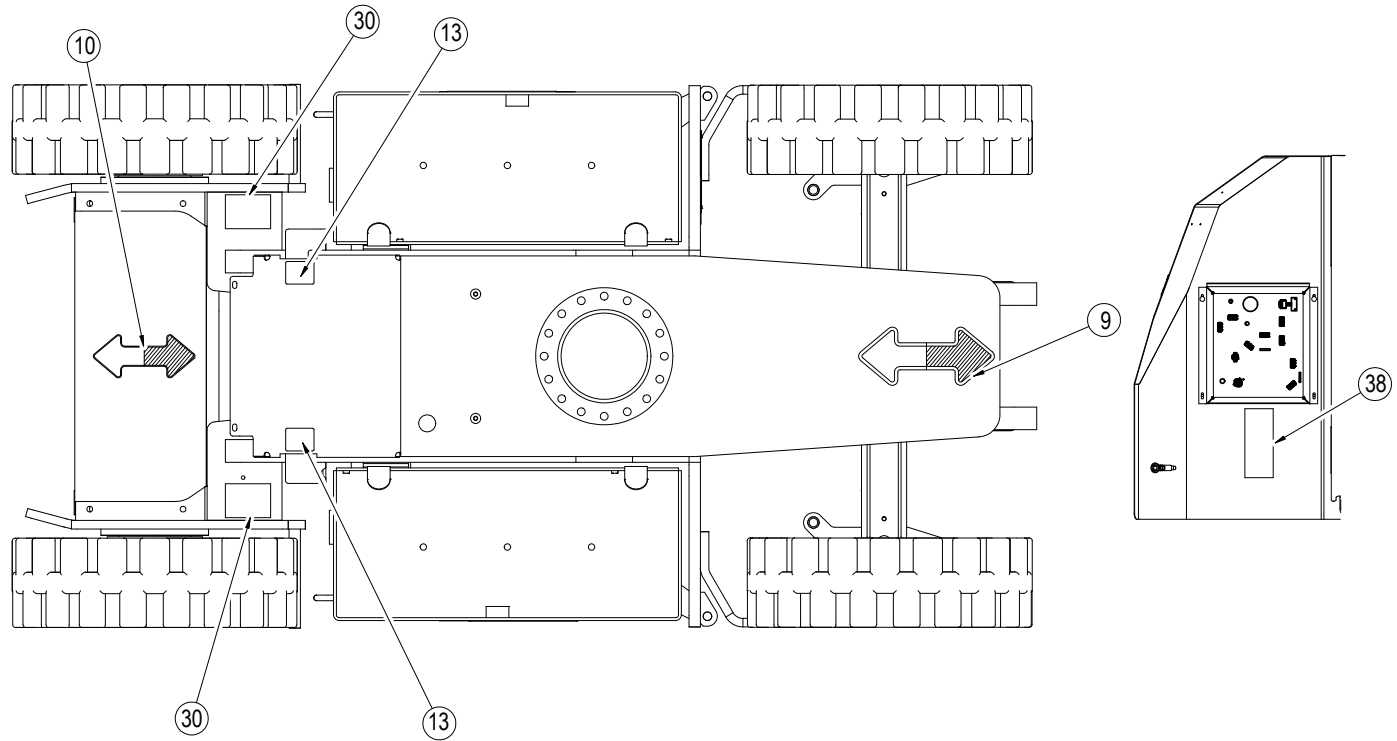


図 4-36. フランス語ステッカー位置シート 5/5

## セクション4- 機械の操作

項目 #	フランス語 1001176561-D
1	--
2	--
3	--
4	--
5	--
6	1701500
7	1701504
8	1701509
9	1701529
10	1701642
11	1701644
12	1001121803
13	1702155
14	1702300
15	1001113169
16	1702631
17	--
18	--
19	--

項目 #	フランス語 1001176561-D
20	1704000
21	1703924
22	1703930
23	1703948
24	1703936
25	1704340
26	--
27	1704277
28	1704412
29	--
30	1706126
31	--
32	1001121816
33	3251243
34	3251813
35	--
36	--
37	--
38	1001110196

項目 #	フランス語 1001176561-D
39	1001196811
40	1001110389
41	1001112461
42	1001212200
43	1705429
44	1703984
45	1705514

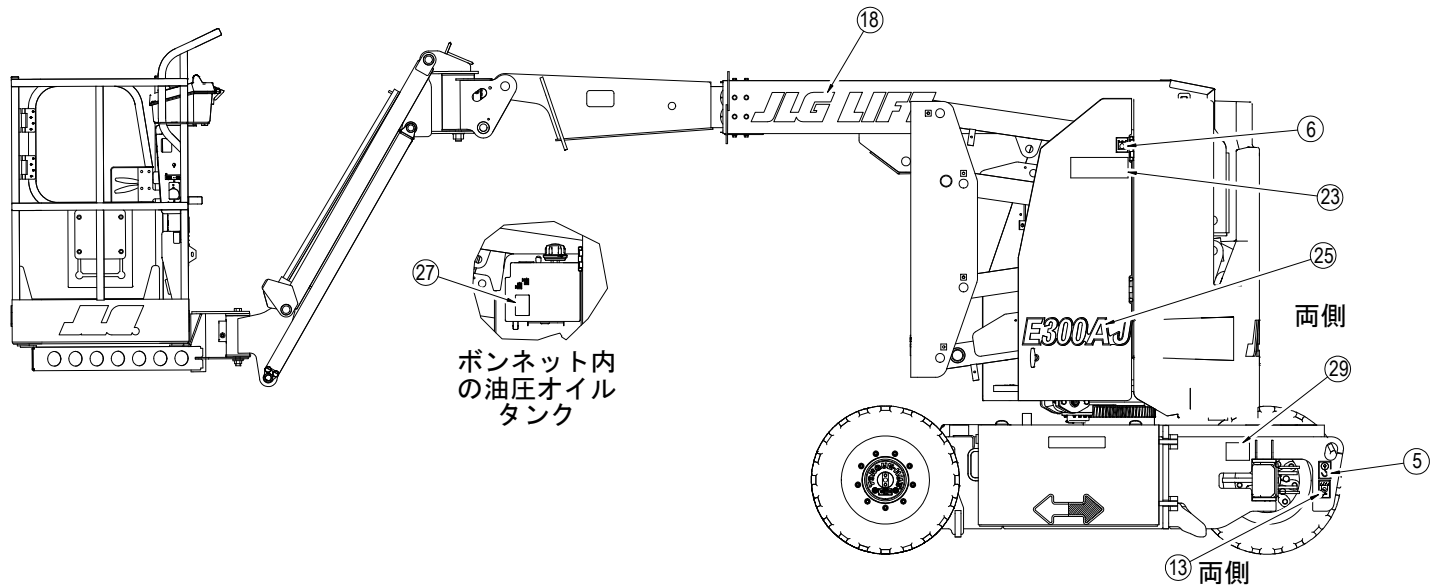


図 4-37. 中国語ステッカー位置シート 1/5

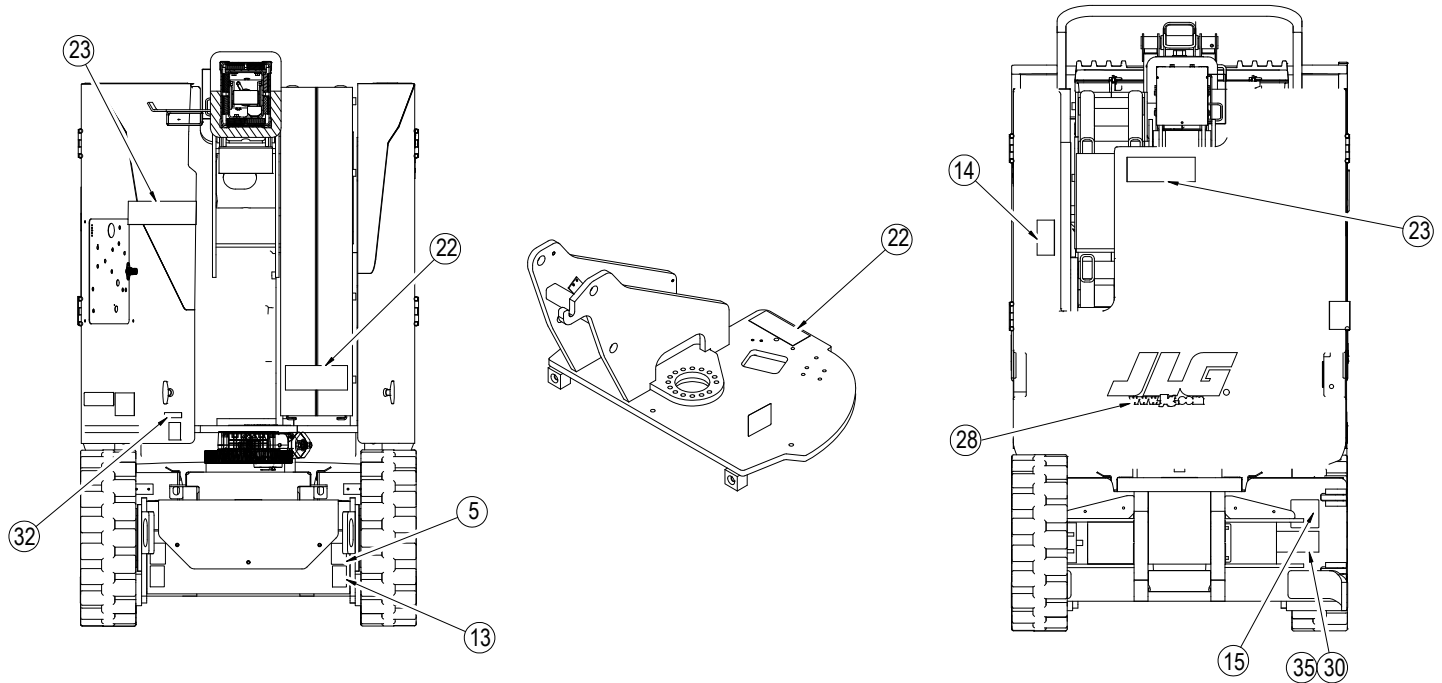


図 4-38. 中国語ステッカー位置シート 2/5

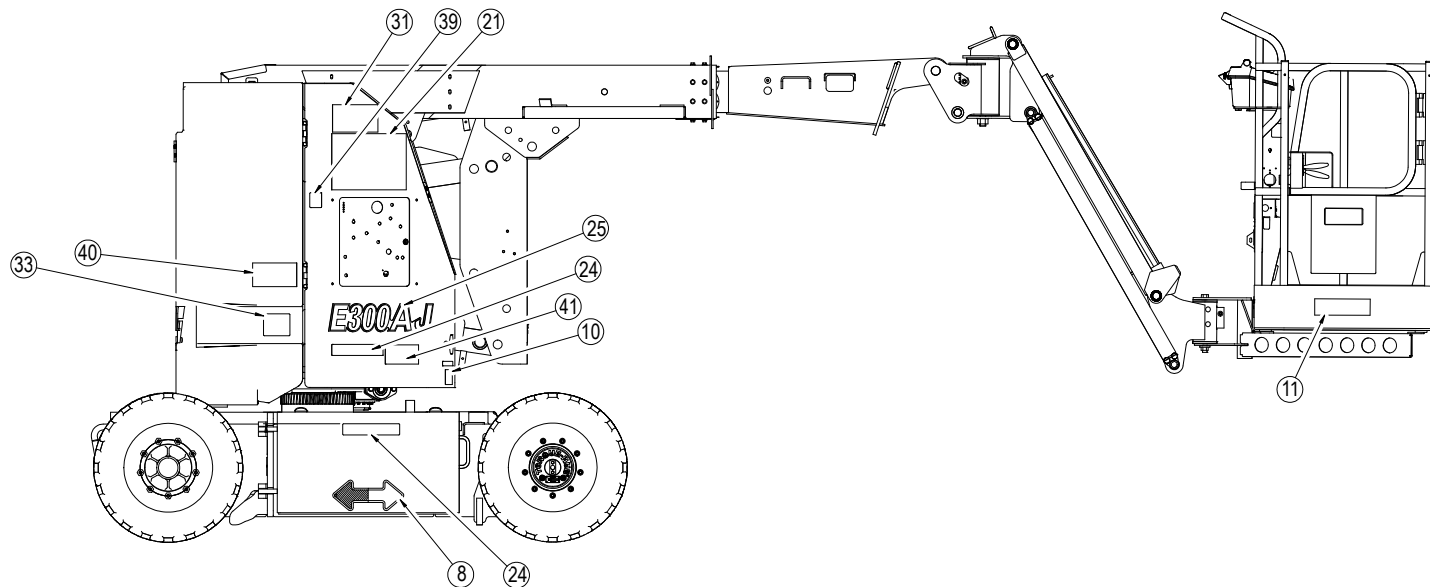


図 4-39. 中国語ステッカー位置シート 3/5



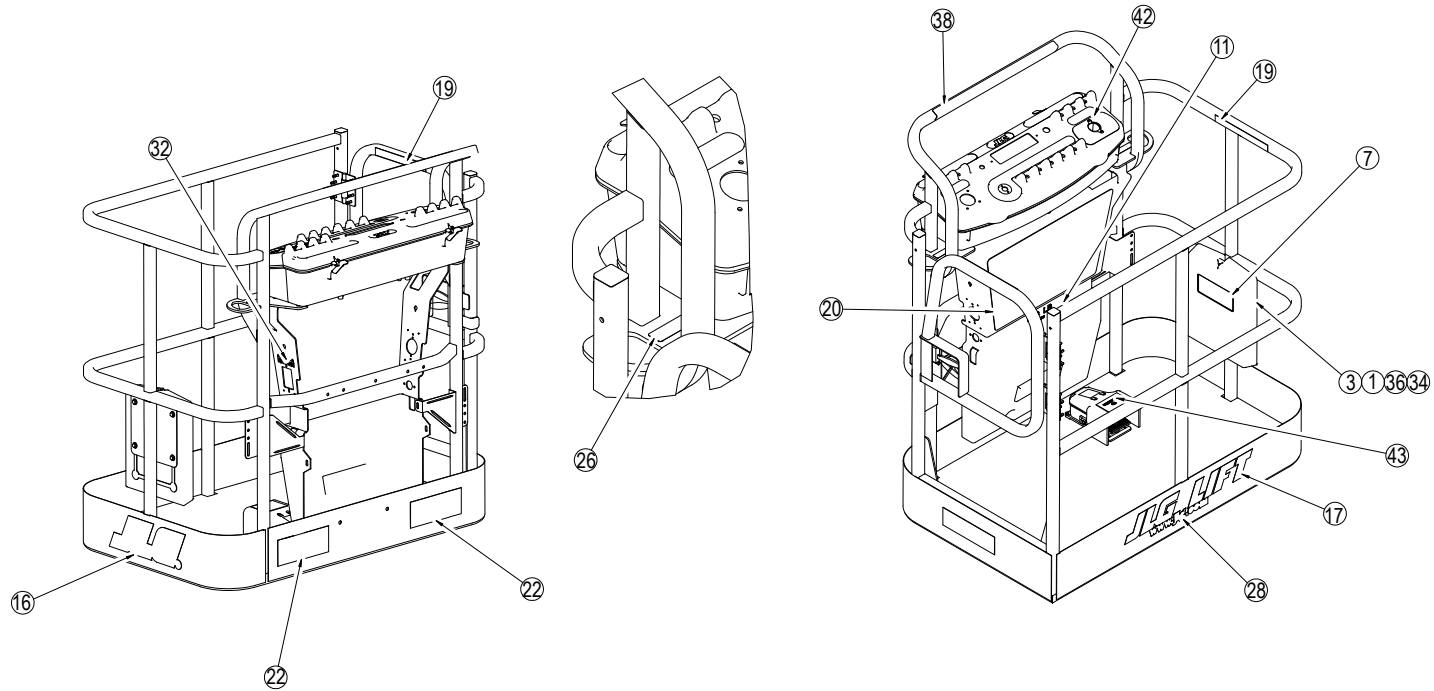


図 4-40. 中国語ステッカー位置シート 4/5

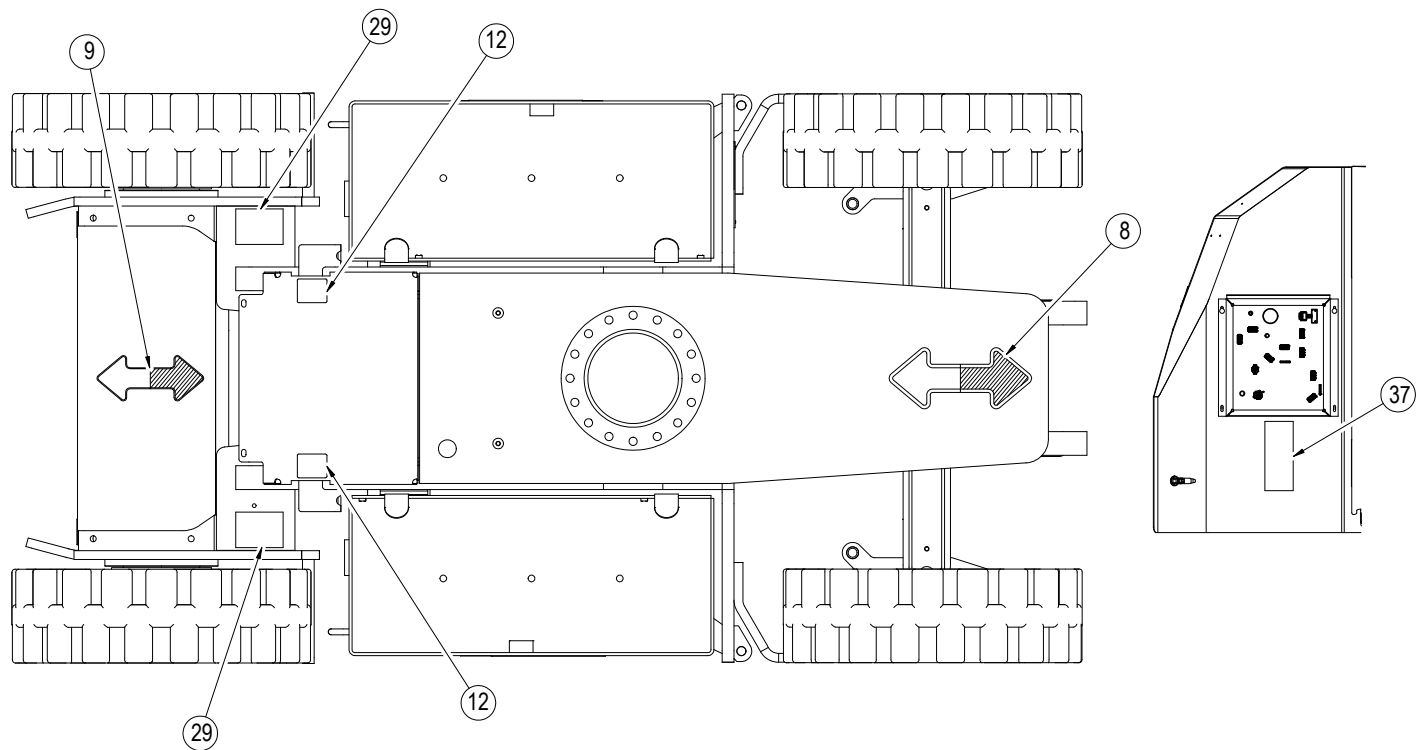


図 4-41. 中国語ステッカー位置シート 5/5

項目 #	中国語 1001176595-D
1	--
2	--
3	--
4	--
5	1701500
6	1701504
7	1701509
8	1701529
9	1701642
10	1701644
11	1001121810
12	1702155
13	1702300
14	1001113168
15	1702631
16	--
17	--
18	--
19	1705968

項目 #	中国語 1001176595-D
20	1703925
21	1703931
22	1703949
23	1703937
24	1704344
25	--
26	1704277
27	1704412
28	--
29	1706126
30	--
31	1001121823
32	3251243
33	3251813
34	--
35	--
36	--
37	1001110196
38	1001196811

## セクション4- 機械の操作

---

項目 #	中国語 1001176595-D
39	1001110389
40	1001112461
41	1001212200
42	1705430
43	1703982
44	--
45	--

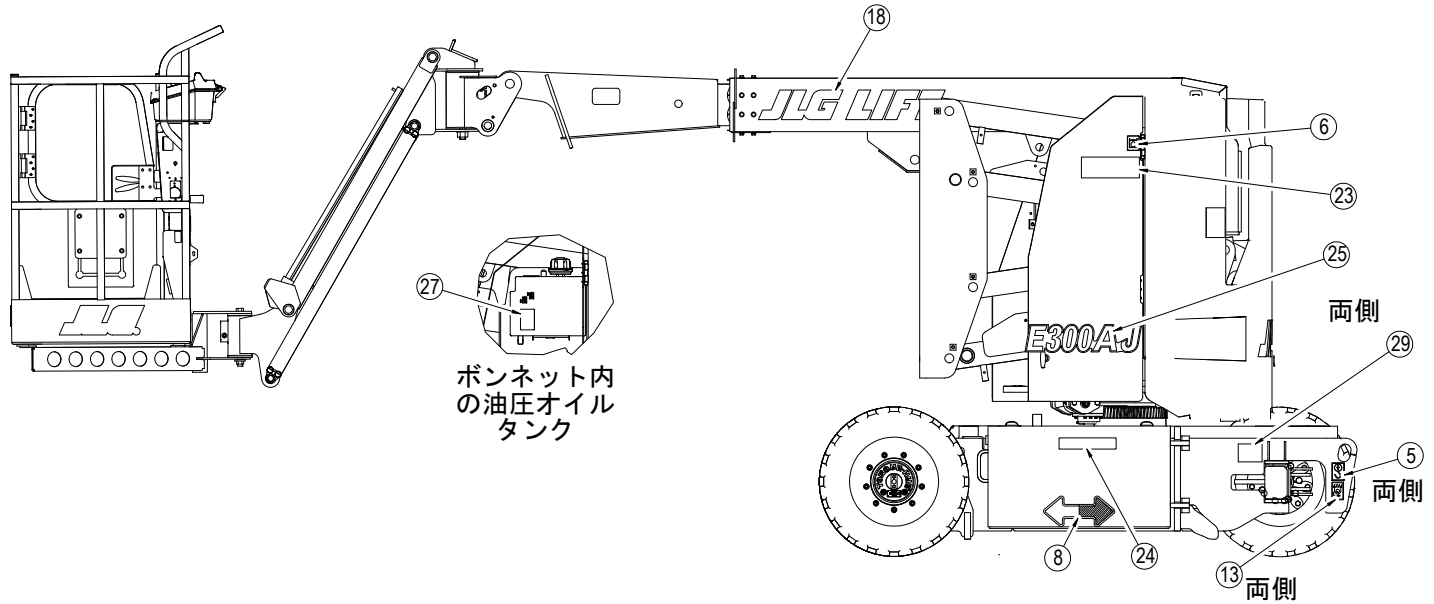


図 4-42. ポルトガル語ステッカー位置シート 1/5

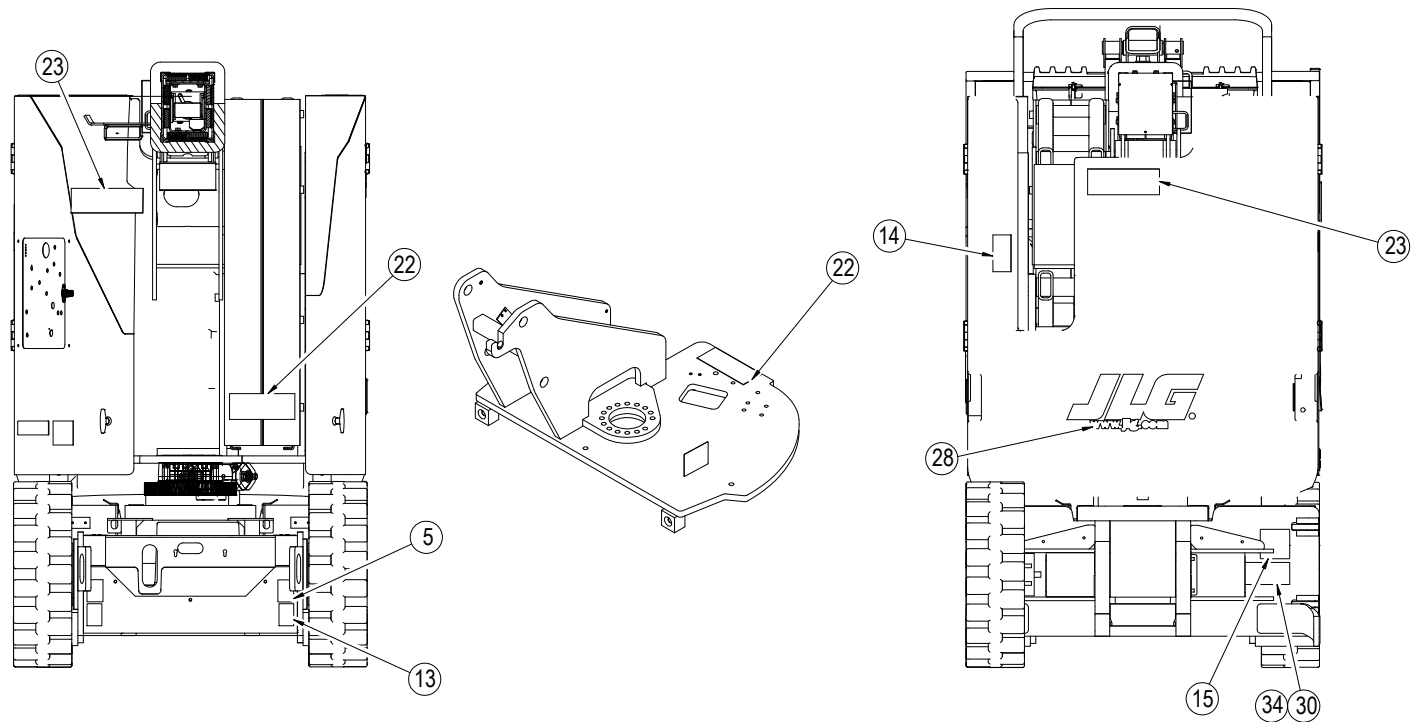


図 4-43. ポルトガル語ステッカー位置シート 2/5

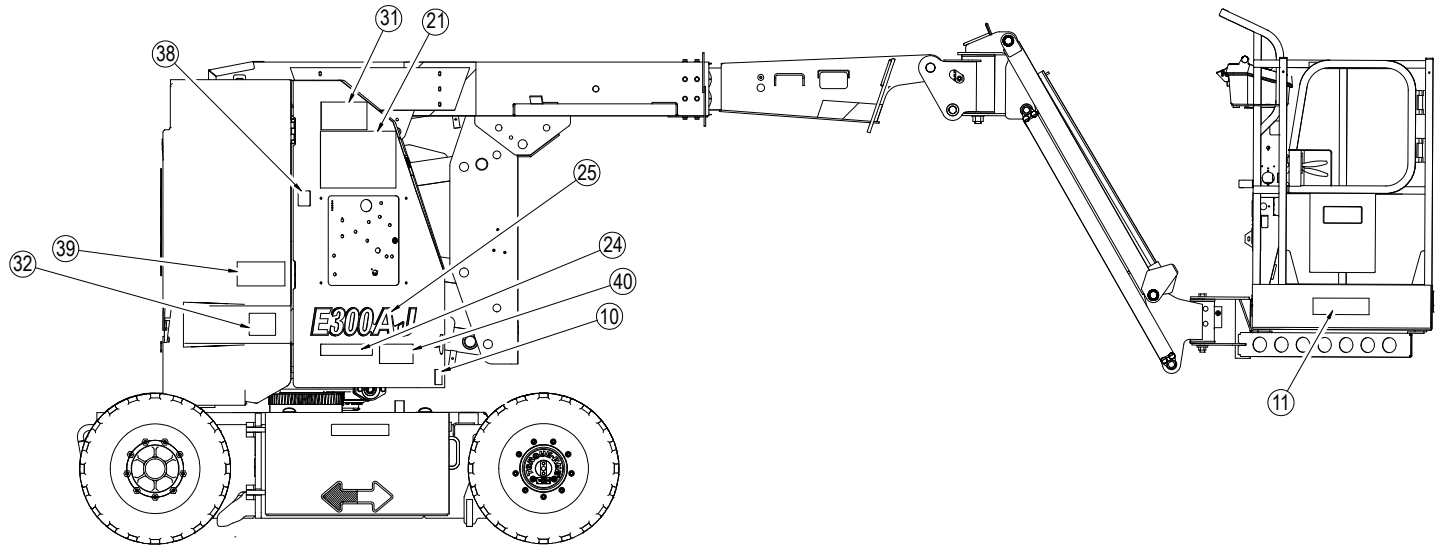


図 4-44. ポルトガル語ステッカー位置シート 3/5

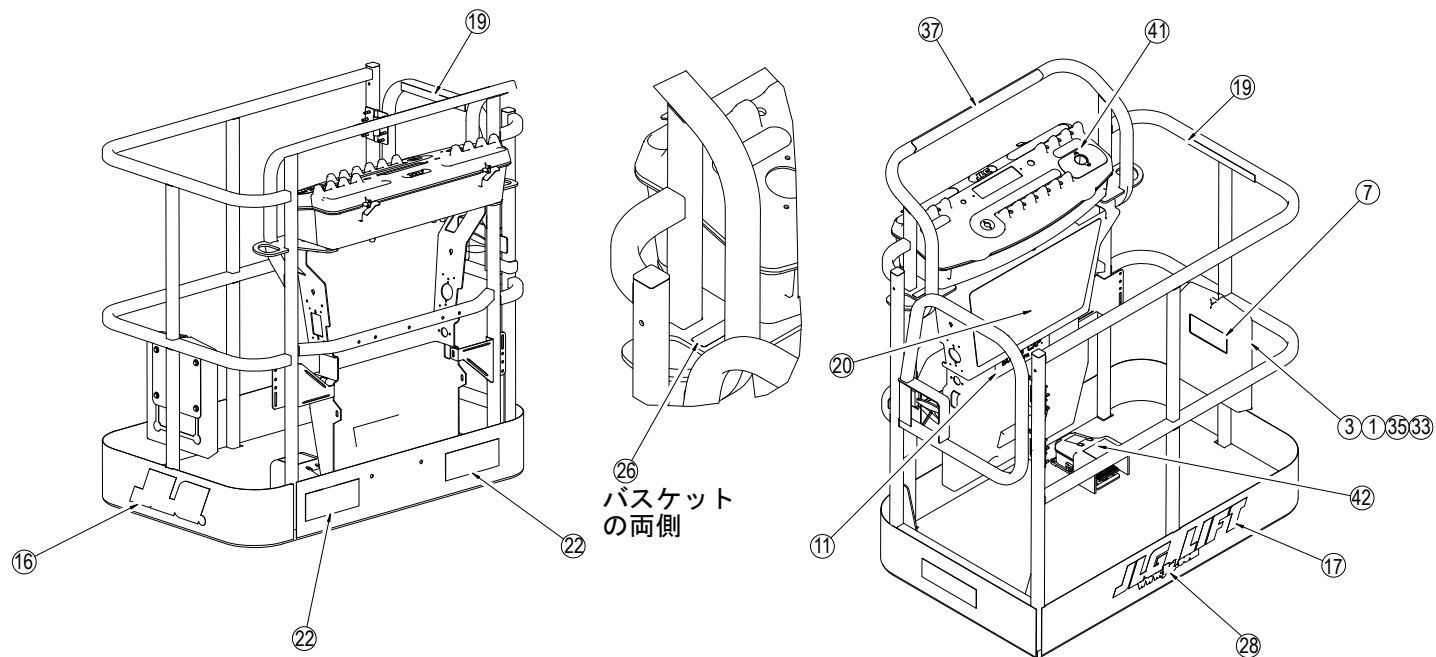


図 4-45. ポルトガル語ステッカー位置シート 4/5



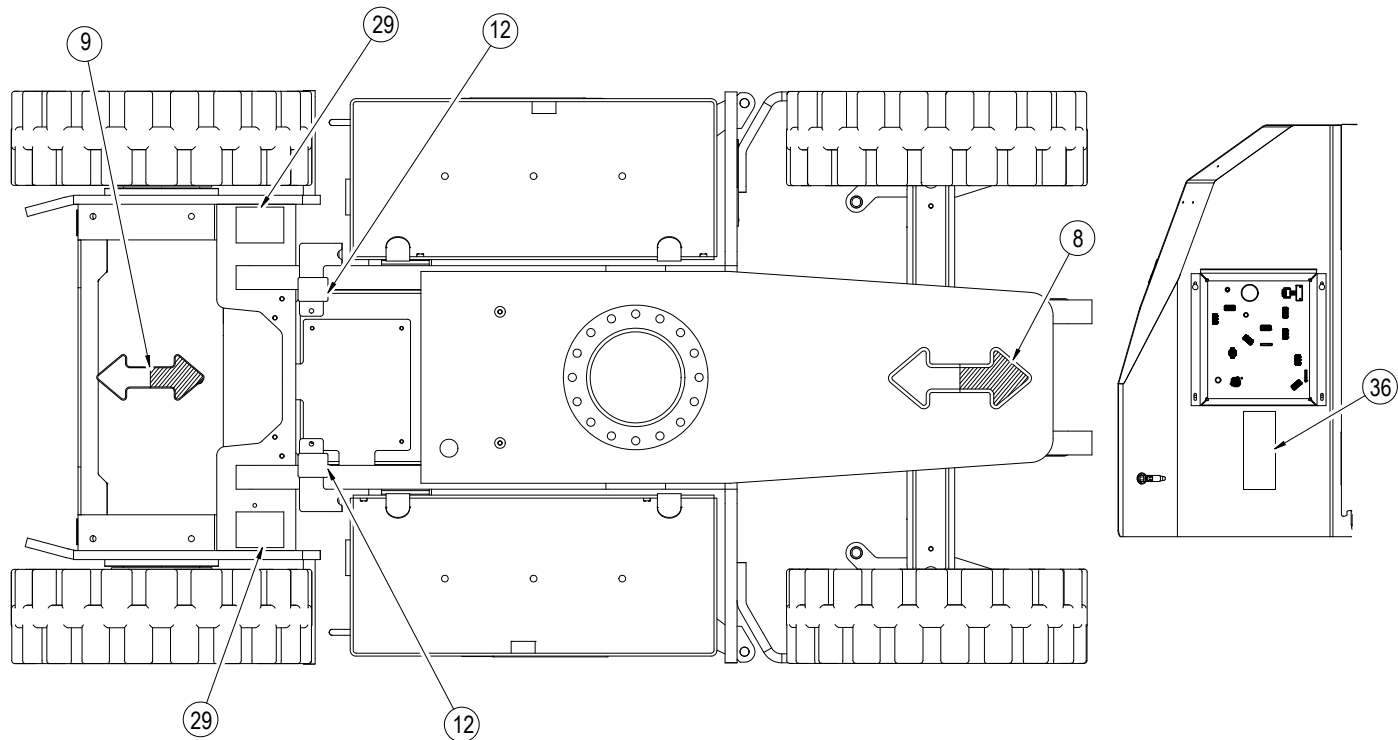


図 4-46. ポルトガル語ステッカー位置シート 5/5

## セクション4- 機械の操作

項目 #	ポルトガル語 1001176488-D
1	--
2	--
3	--
4	--
5	1701500
6	1701504
7	1701509
8	1701529
9	1701642
10	1701644
11	1001121920
12	1702155
13	1702300
14	1001113170
15	1702631
16	--
17	--
18	--
19	1704002

項目 #	ポルトガル語 1001176488-D
20	1703928
21	1703934
22	1703952
23	1703940
24	1704341
25	--
26	1704277
27	1704412
28	--
29	1706126
30	--
31	1001121923
32	3251813
33	--
34	--
35	--
36	1001110196
37	1001196811
38	1001110389

項目 #	ポルトガル語 1001176488-D
39	1001112461
40	1001212200
41	1001113680
42	1703985
43	--
44	--
45	--



## セクション5. 緊急時の対応

### 5.1 概要

本節では、運転中に発生した緊急事態にとるべき行動について説明します。

### 5.2 事故の通知

JLG 製品に関連した事故は JLG Industries, Inc. にただちに通知しなければなりません。負傷や施設への損害が考えられなくても、工場に電話で必要な詳細を報告しなければなりません。

- 米国 : 877-JLG-SAFE (554-7233)
- 欧州 : (32) 0 89 84 82 20
- オーストラリア : (61) 2 65 811111
- 電子メール : ProductSafety@JLG.com

JLG Industries 社製品の関わる事件を 48 時間以内にメーカーに通知しなければ、当該作業車に対するいかなる保証も無効になる可能性があります。

### 注記

どのような事故かにかかわらず、その発生後は、機械を全面的に検査し、最初は地上コントロールから、次にプラットフォームコントロールの順序ですべての機能をテストします。必要な全ての

損傷が修復され、全てのコントロールが正常に機能している事が確認されるまで、3 M (10 FT) 以上持ち上げてはなりません。

### 5.3 緊急時の操作

#### オペレータが機械を制御できない

作業台のオペレータが、挟まれたり、身動きができなくなったり、機械の操作や制御ができなくなったりした場合：

1. 必要な場合のみ、別の作業者が、地上コントロール（制御盤）から作業車を運転します。
2. バスケットにいる他の資格のあるスタッフは、バスケットの制御装置を使用できます。制御装置が正しく機能しない場合、操作を続けてはなりません。
3. クレーン、フォークリフトまたは他の機器を使用して、機械の動きを安定化できます。

## バスケットまたはブームが頭上で引っかかっている

頭上構造物または設備に、プラットフォームまたはブームがつかえた場合、以下を実行してください。

1. 機械を停止します。
2. 機械を解放する前に、すべての人々を救出します。機械のコントロールを行う前に、人員はプラットフォームの外に出る必要があります。
3. クレーン、フォークリフト、またはその他の装置を使用して、必要に応じて機械の動きを安定させ、転倒を防ぎます。
4. 地上制御盤から、(装備している場合)補助動力システムを使用して、対象物からプラットフォームまたはブームを慎重に解放します。
5. 解放されたら、機械を再起動し、プラットフォームを安全な位置に戻します。
6. 機械が損傷していないか検査します。機械が損傷しているか、正常に動作しない場合は、ただちに機械の電源を切ります。すべての問題を保守担当者に報告してください。作業車は、運転しても安全という宣言があるまでは、運転してはいけません。

## 5.4 緊急牽引手順

本作業車の牽引は禁止されています。しかし、作業車を移動するための機能が装備されています。次の手順は、適切なメンテナンスエリアへの緊急移動用のみに使用します。

### 注記

許容される牽引速度は時速 3 km (1.9 マイル) です。最大許容牽引距離は 1 km (0.6 マイル) です。

1. 車輪を、しっかり車輪止めで固定します。
2. 両側の駆動ハブのメカニカルリリースを緩めて、完全に逆にして、さらにそれぞれのハブで 2 本のボルトを締め、噛み合わせます。
3. 適切な機器をつなげて、止め木を外し、機械を移動します。

本機を移動した後、次の手順を行います。

1. 作業車をしっかりした水平面に移動します。
2. 車輪を、しっかり車輪止めで固定します。
3. 両側の駆動ハブのメカニカルリリースを緩めて、完全に逆にして、さらにそれぞれのハブで 2 本のボルトを締め、解放します。
4. 必要に応じて、車輪からくさびを取り外します。

## 5.5 手動下降システム

(図 5-1.、手動下降の位置を参照)

電源を完全に喪失した場合、または地上作業員がキーを使用できない場合は、手動下降システムを使用し、上部ブームと下部ブームを重力を利用して下降させます。ジブリフトシリンダーは押し下げる必要があります。手動下降システムを操作するには、以下の手順に従ってください。

1. ブーム機能弁にある手動下降ノブの位置を確認します。タワーを下降させるにはノブを押し込み、メインブームを下降させるにはノブを引きます。下降機能を実行するには、ノブを所定の位置に保持する必要があります。ノブにはスプリングが取り付けられているため、手を離すと中央の位置に戻ります。手動下降ポンプにハンドルを取り付け、ブームが完全に下がるまでハンドルを上下させて、選択したシリンダーを下降させます。
2. ジブを備えている場合は、ブーム機能バルブにあるスプリットリングの位置を確認します。ジブを下降させるにはスプリットリングを押し込み、ジブを上昇させるにはスプリットリングを引き出して、上昇または下降が完了するまでハンドルを上下させます。所定のブラケットにハンドルを格納します。

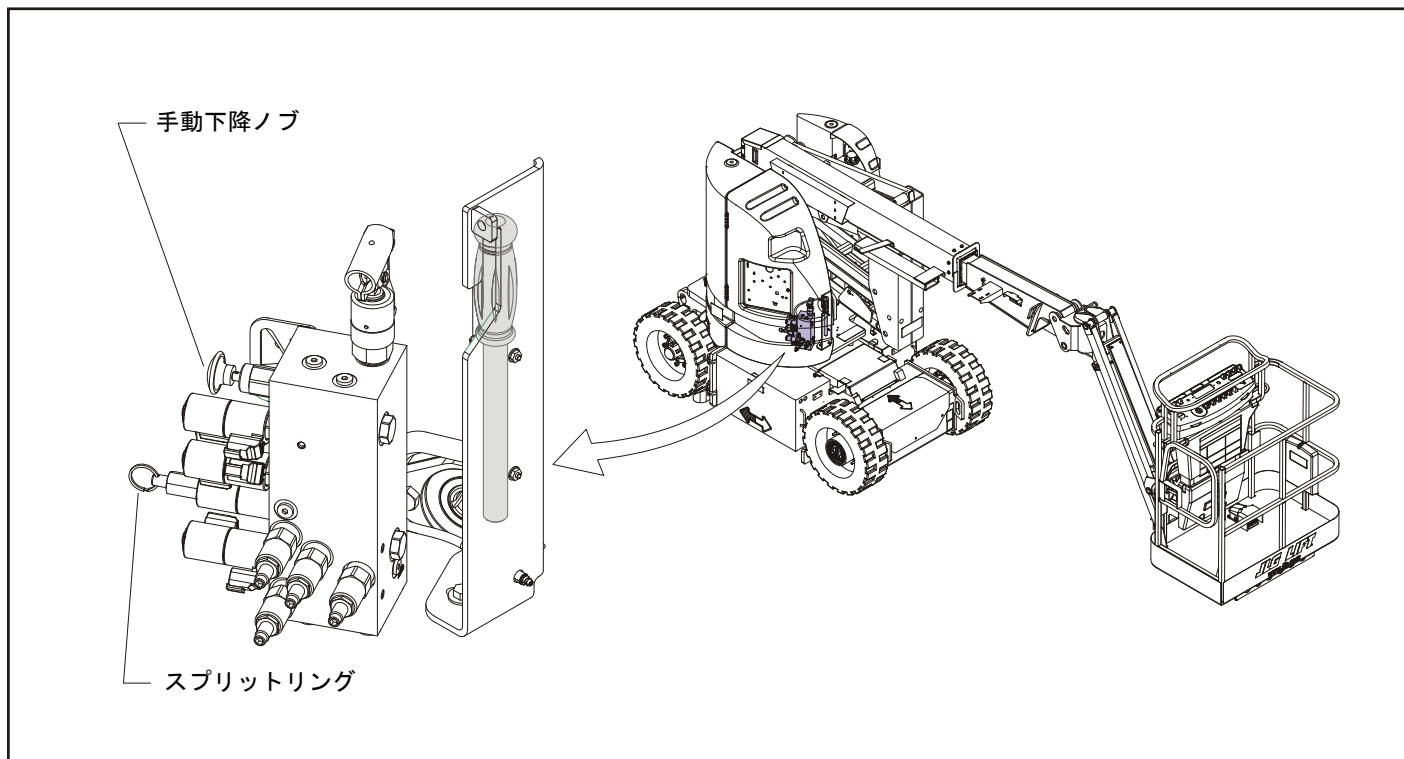


図 5-1. 手動下降の位置



## 5.6 手動スイング優先

手動スイング優先は、プラットフォームが建造物や障害物の上にあり、全体的な電源不良の場合に、ブームやターンテーブルアセンブリを手動でスイングさせるために使用します。手動スイング優先を操作するには、以下のように進めます：

1. 7/8 インチのソケットとラチェットレンチを使用して、機械の左側のスイングウォームギアのナットを探します。
2. 希望する方向のナットおよびラチェットにレンチを取り付けます。

## 5.7 機械安全性システムオーバーライド (MSSO) (CE のみ)

機械安全性システムオーバーライド (MSSO) は、オペレータが挟まれたり、身動きができなくなったり、または機械を操作できなくなったりし、バスケットが過負荷であるために機能制御がバスケットからロックアウトされた場合に、オペレータを救出する目的でのみ使用されます。



**注意：** MSSO の機能が使用される場合、障害インジケータが点滅し、障害コードは JLG 制御システムに設定され、資格のある JLG 整備技術者のみがリセットできます。


**注意：** MSSO システムの機能チェックは必要ありません。制御システムに障害がある場合、JLG 制御システムは、診断トラブルコードにセットされます。

MSSO の操作方法：

1. 地上制御盤で、作業台 / 地上選択スイッチを地上の位置に入れます。
2. 電源 / 緊急停止制御を引き出します。
3. エンジンを始動します。
4. MSSO スイッチと希望する機能制御スイッチを押し続けます。

## セクション5- 緊急時の対応

---

 メモ:

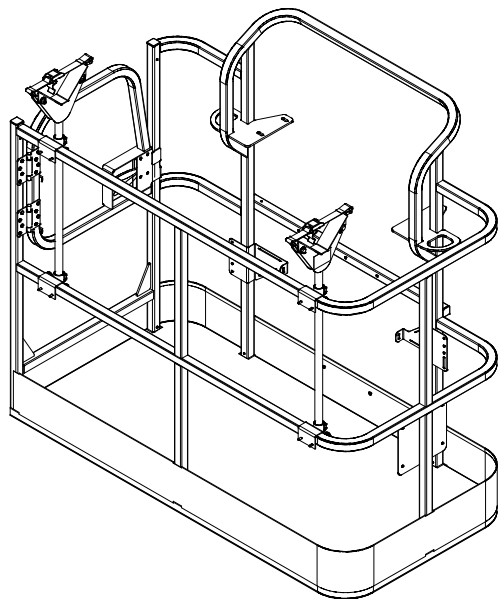
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---	---

## セクション 6. アクセサリー

表 6-1. 市販アクセサリ

アクセサリ	市場						
	ANSI (米国のみ)	ANSI	CSA	CE	オーストラリア	日本	中国
パイプラック	0						

## 6.1 パイブラック



パイブラックにより、レールの損傷を防ぎプラットフォームユーティリティを最適化するために、パイプを格納したり、プラットフォーム内部に導通させることが可能になります。このアクセサリは、所定の位置に負荷を固定するための調

節可能なストラップを有する 2 つのラックから構成されま  
す。

### 安全上の注意

#### ⚠ 警告

設置の際は、プラットフォームの積載荷重を 45.5 KG (100 LB) 低く  
設定してください。

#### ⚠ 警告

ラック重量 + プラットフォーム重量が定格積載荷重を超えては  
いけません。

#### 注記

ラックの最大負荷は、2 つのラックに均等に分配したときに、  
80 KG (180 LB) です。

#### 注記

ラック部材の最大長は 6.1 M (20 FT) です。

- プラットフォームの下に人がいないことを確認してく  
ださい。

- ・ レールを乗り越えプラットフォームから出たり、レールの上に立ったりしないでください。
- ・ 部材を適切に固定せずに機械を駆動しないでください。
- ・ ラックを使用しないときは、格納位置に戻してください。
- ・ このオプションは承認されたモデルにのみ使用してください。

## 準備および検査

- ・ ラックがプラットフォームレールに適切に固定されていることを確認してください。
- ・ 損傷または擦り切れたタイダウンストラップは交換してください。

## 操作

1. ラックに積載の準備を行うには、ロッキングピンを取り外し、それぞれのラックを格納位置から 90° 回転させて作動位置に移動し、ロッキングピンで適切に固定します。
2. タイダウンストラップを緩めて取り外します。重量が両方のラックに均等にかかるように、部材をラックに設置します。
3. タイダウンストラップを積載部材の両端にかけて、締め付けます。
4. 部材を取り外すには、タイダウンストラップを緩めて取り外し、部材をラックから慎重に取り外します。

**注意：** 機械の動作を続ける前に、タイダウンストラップを残りの部材に再度取り付けます。

## セクション6- アクセサリー

---



メモ:

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## セクション7. 一般仕様およびオペレータ保守

## 7.1 はじめに

ここでは、オペレータが本機の正しい操作とメンテナンスを行うために必要な他の情報を提供します。

このセクションのメンテナンスの部分は、「サービス・メンテナンス マニュアル」に含まれるより広範囲な「予防保守」や「検査スケジュール」に代わるものではなく、毎日のメンテナンス作業だけを行う機械のオペレータを対象に情報を提供するものです。

## 他の利用可能な出版物：

サービス・メンテナンス マニュアル .....	3121720
イラスト入り部品マニュアル .....	3121721

## 7.2 動作仕様および性能データ

## 動作仕様

表 7-1. 動作仕様 - E300AJ

容量：制限なし：ANSI	227 kg (500 lb)
容量：制限なし：CE およびオーストラリア	230 kg (500 lb)
最大移動勾配、収納位置（登攀能力）図 4-4. を参照	25%
最大移動勾配、収納位置（横傾斜）図 4-4. を参照	5°
走行速度 最大 減速時 上昇時	時速 7.2 km (4.5 マイル) 時速 4.8 km (3 マイル) 時速 0.48 km (0.3 マイル)
機械総重量 - 概算	6831 kg (15060 lb)
地上ベアリング圧力 - 最大	11.95 kg/cm <sup>2</sup> (170 psi)

## セクション7- 一般仕様およびオペレータ保守

表 7-1. 動作仕様 – E300AJ

最大システム電圧	48VDC
最大メインレリーフ油圧力	207バール (3000psi)
充電1回のバッテリー寿命 高速 低速	8.7 時間 11.1 時間
バッテリー充電時間	完全放電から 14 時間

表 7-2. 動作仕様 – E300AJP

容量：制限なし：ANSI	227 kg (500 lb)
容量：制限なし：CE およびオーストラリア	230 kg (500 lb)
最大移動勾配、収納位置（登攀能力）図4-4.を参照	25%
最大移動勾配、収納位置（横傾斜）図4-4.を参照	5°

表 7-2. 動作仕様 – E300AJP

走行速度 最大 減速時 上昇時	時速 7.2km (4.5 マイル) 時速 4.8km (3 マイル) 時速 0.48km (0.3 マイル)
走行速度 最大 減速時 上昇時	時速 7.2km (4.5 マイル) 時速 4.8km (3 マイル) 時速 0.48km (0.3 マイル)
機械総重量-概算	6985 kg (15400 lb)
地上ベアリング圧力-最大	11.95 kg/cm <sup>2</sup> (170 psi)
最大システム電圧	48VDC
最大メインレリーフ油圧力	207バール (3000psi)
充電1回のバッテリー寿命 高速 低速	8.7 時間 11.1 時間
バッテリー充電時間	完全放電から 14 時間



寸法データ

表 7-3. 寸法データ - E300AJ

回転半径（内側）	1.52m（5 フィート）
回転半径（外側）	3.1m（10 フィート 2 インチ）
機械高（収納）	2.01m（6 フィート 7 インチ）
機械長（収納）	5.54m（18 フィート 2 インチ）
上昇時のバスケットの高さ	4.01m（13 フィート 2 インチ）
水平到達距離	6.17m（20 フィート 3 インチ）
作業車幅	1.22m(4ft)
車輪ベース	1.65m（5 フィート 5 インチ）
バスケットの高さ	9.19m（30 フィート 2 インチ）
地上クリアランス	10cm（4 インチ）

表 7-4. 寸法データ - E300AJP

回転半径（内側）	1.52m(5ft)
回転半径（外側）	3.1m（10 フィート 2 インチ）
機械高（収納）	2.01m（6 フィート 7 インチ）
機械長（収納）	5.74m（18 フィート 10 インチ）
上昇時のバスケットの高さ	4.01m（13 フィート 2 インチ）
水平到達距離	6.12m（20 フィート 1 インチ）
作業車幅	1.22m(4ft)
車輪ベース	1.65m（5 フィート 5 インチ）
バスケットの高さ	8.97m（29 フィート 5 インチ）
地上クリアランス	10cm（4 インチ）

## 容量

表 7-5. 容量

油圧オイルタンク	11L (2.9 ガロン) 満杯のマークで 8L (2.1 ガロン)
駆動ハブ *	0.75 リットル (25.5 オンス) (満杯の 1/2)
* 駆動ハブは半分まで潤滑油を注油。	

## タイヤ

表 7-6. タイヤ

サイズ	25x7x12
最大タイヤ負荷	3719 kg (8200 lb)
タイプ	中実、マーキングなし

## 油圧オイル

表 7-7. 油圧オイル

油圧システム 動作温度範囲	S.A.E. 粘度 等級
-18° ~ +83°C (+0° ~ +180°F)	10W
-18° ~ +99°C (+0° ~ +210°F)	10W-20, 10W30
+10° ~ +99°C (+50° ~ +210°F)	20W-20

**注意：** 油圧オイルは、API サービス分類 GL-3 クラスまでの耐摩耗特性が必要で、油圧装置サービス用に十分な安定性がなければなりません。

**注意：** 機械には、Mobil EAL224H 生物分解可能非毒性油圧オイルが使用されていることがあります。このオイルはベジタブルオイルをベースとしており、鉱油と同じ耐摩耗特性と錆保護特性を備えていますが、少量をこぼしたり、漏れさせても、地下水や環境には悪影響を与えません。Mobil EAL224H の粘度は 40°C で 34 cSt で、粘度指数は 213 です。このオイルの動作温度範囲は -18°C ~ +83°C です。

**注意:** JLG が推奨するもの以外のブランドやタイプの異なるオイルを混合することはお勧めできません。同等な粘度を得るために必要な添加剤が含まれない可能性があるためです。Mobil DTE 11M 以外の油圧オイルをご利用になる場合は、適切な推奨製品について JLG Industries までお問い合わせください。

**表 7-8. Mobil DTE 11M 仕様**

ISO 粘度等級	#15
重力 API	31.9
流動点、最大	-40°C (-40°F)
引火点、最小	166°C (330°F)
<b>粘度</b>	
40°C のとき	15 cSt
100°C のとき	4.1 cSt
100°F のとき	80 SUS
210°F のとき	43 SUS
-30°F での $\eta_p$	3.200
粘度指数	140

**表 7-9. DTE 10 Excel 15 の仕様**

ISO 粘度等級	#15
流動点、最大	-54°C (-65°F)
引火点、最小	182°C (360°F)
<b>粘度</b>	
40°C で	15.8 cSt
100°C で	4.1 cSt
100°F で	15.8 cSt
210°F で	4.1 cSt
粘度指数	168

表 7-10. Mobilfluid 424 仕様

SAE グレード	10W30
重力、API	29.0
密度、ポンド / ガロン 60°F	7.35
流動点、最大	-43°C (-46°F)
引火点、最小	228°C (442°F)
<b>粘度</b>	
ブルックフィールド、 - 18°C で cP	2700
40°C で	55 cSt
100°C で	9.3 cSt
粘度指数	152

表 7-11. Mobil EAL 224H の仕様

タイプ	生分解性ベジタブルオイル
ISO 粘度等級	32/46
比重	0.922
流動点、最大	-32°C (-25°F)
引火点、最小	220°C (428°F)
稼働温度	0 ~ 180°F (-17 ~ 162°C)
重さ	0.9 kg/L (7.64 ポンド / ガロン)
<b>粘度</b>	
40°C で	37 cSt
100°C で	8.4 cSt
粘度指数	213
<b>注意:</b> 0°C (32°F) 以上で保管する必要あり	

表 7-12. Mobil EAL Envirosyn H の仕様

タイプ	合成生分解性
ISO粘度等級	32
比重	0.950
流動点、最大	-51°C (-59°F)
引火点、最小	268°C (514°F)
<b>粘度</b>	
40°C で	33.1 cSt
100°C で	6.36 cSt
粘度指数	147

表 7-13. Quintolubric 888-46

密度	0.92 g/cm <sup>3</sup>
流動点	<-30°C (<-22°F)
引火点	300°C (572°F)
燃焼点	360°C (680°F)
自然発火温度	>450°C (842°F)
<b>粘度</b>	
0°C (32°F) で	320 cSt
20°C (68°F) で	109 cSt
40°C (104°F) で	47.5 cSt
100°C (212°F) で	9.5 cSt
粘度指数	190

## 主要構成要素の重量

**警告**

安定性の維持に不可欠なアイテムを、異なる重量または仕様のアイテム（例：バッテリー、充填タイヤ、バスケット）と交換しないでください。安定性に影響を与えるユニットは変更しないでください。

表 7-14. 臨界安定性重量

構成要素	KG	LB
釣り合いおもり (AJ)	2807	6188
釣り合いおもり (AJP)	2880	6348
タイヤおよびホイール	54.4	120
バスケット (コンソールを含む)	78	169
バッテリー (個別最小) -305AH	39.5	87
バッテリー (個別最小) -305AH (AGM)	49	108
バッテリー (個別最小) -375AH ANDUL	50	110

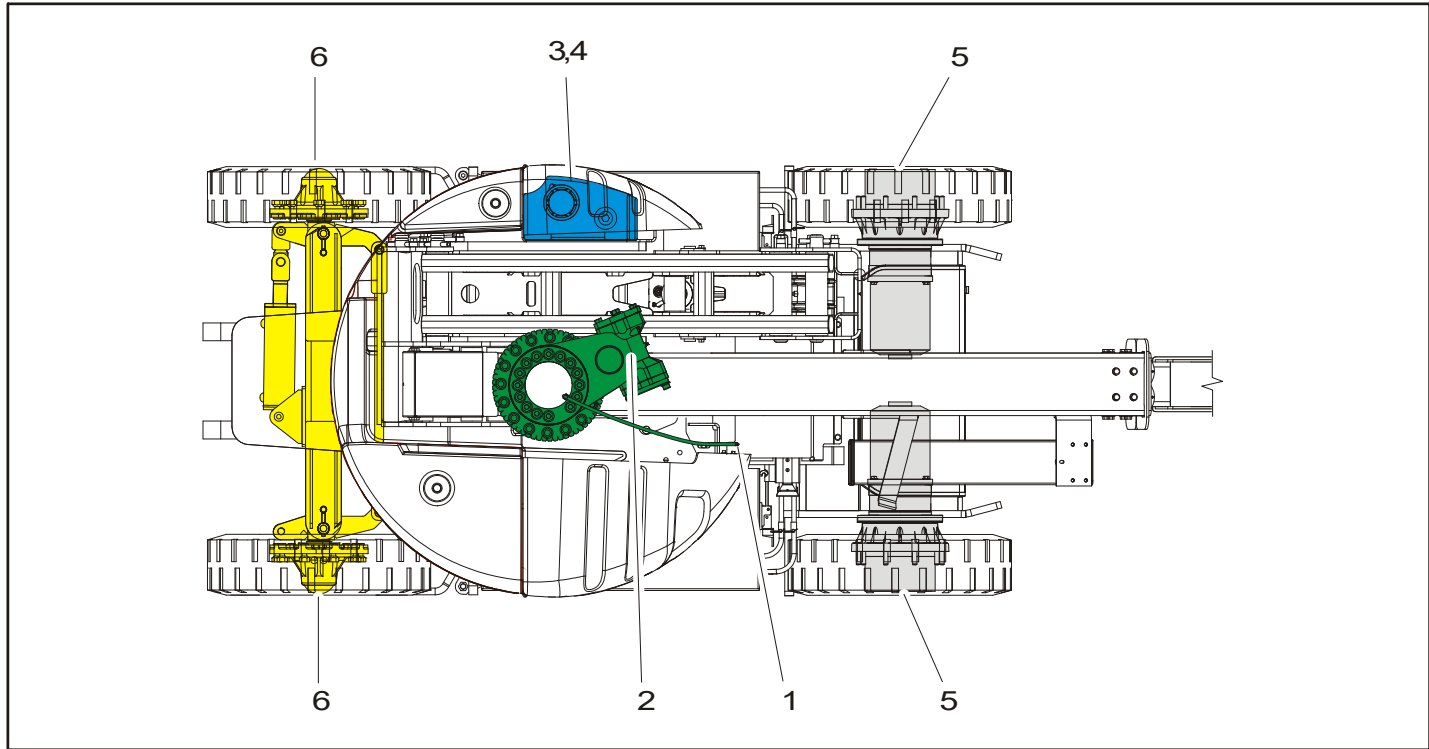


図 7-1. オペレータによるメンテナンスおよび注油の図

### 7.1 オペレータによるメンテナンス

**注意：** 以下の数字は、図7-1.、オペレータによるメンテナンスおよび注油の図にある数字に対応します。

表 7-15. 潤滑油仕様

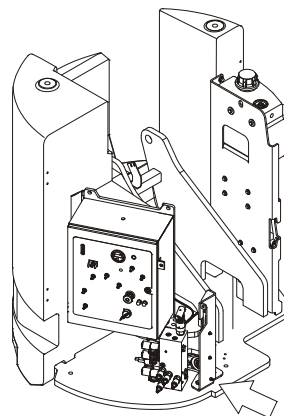
略称	仕様
MPG	最低滴点 350°F の汎用グリース。耐水性や粘着特性に優れる高圧タイプ (Timken OK40 ポンド以上)。
EPGL	API サービス分類 GL-5 クラス、または MIL 規格の MIL-L-2105 を満たす超高压用ギヤ潤滑油 (オイル)。
HO	油圧オイル。Mobil DTE-11M
BG*	ベアリング用グリース (JLG 部品番号 3020029) Mobilith SHA 460。

\*MPG は、必要であれば、これらの潤滑油と取り替えられますが、サービス間隔が短くなります。

#### 注記

潤滑間隔は、通常の機械操作条件下に基づいています。マルチシフトで使用するか過酷な条件 / 環境で使用する場合は、注油頻度を高める必要があります。

#### 1. スイングベアリング



注油箇所 - リモートフィッティング

容量 - A/R

潤滑油 - BG

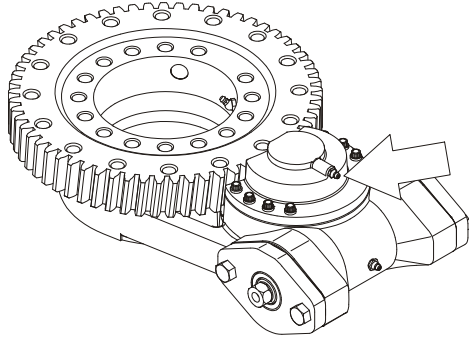
間隔 - 3 か月または稼働 150 時間ごと

メモ - グリースを塗布して 90 度回転させます。

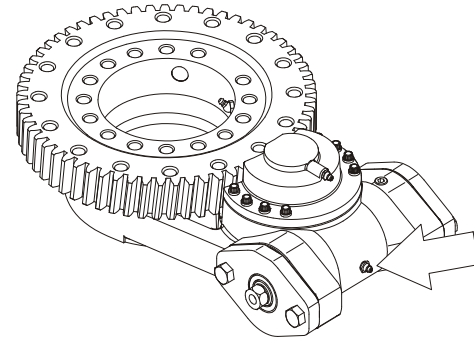
ベアリングが完全に注油されるまで、これを繰り返します



2. スイング ベアリング / ワーム ギア歯



注油箇所 - グリースフィッティング  
容量 - A/R  
潤滑油 - BG  
間隔 - A/R

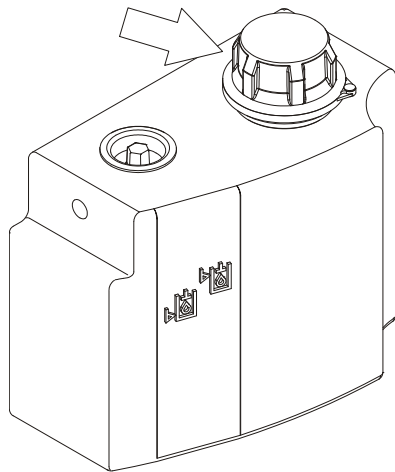


注油箇所 - グリースフィッティング  
容量 - A/R  
潤滑油 - Mobile SHC 007  
間隔 - A/R

**⚠ 注意**

ベアリングにグリースを塗りすぎないでください。塗りすぎると、ハウジングの外側シールに損傷が生じます。

### 3. 油圧タンク



注油箇所 - 給油キャップ

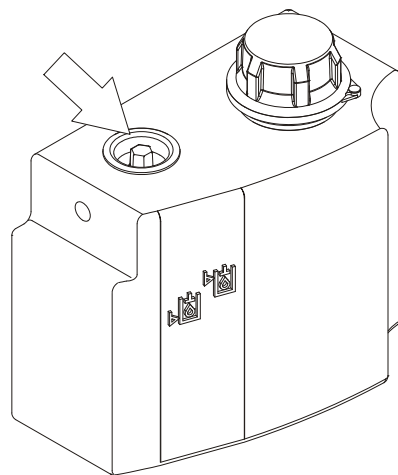
容量 - 11 L (2.9 ガロン)、満杯マークまで 8 L (2.1 ガロン)

潤滑油 - HO

間隔 - 毎日残量を確認。2 年または稼働 1200 時間ごとに交換。

メモ - 新しい機械で、最近オーバーホールしたか、油圧オイルを交換した場合、すべてのシステムを最低 2 サイクル動作させてタンクのオイルを再チェックします。

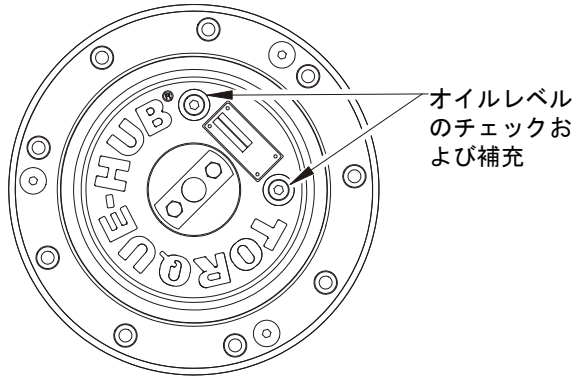
### 4. 油圧循環フィルタ



間隔 - 使用を開始して稼働 50 時間経過後、および以後 6 か月または稼働 300 時間毎に交換します。

メモ - 特定の条件下では、油圧フィルタをより頻繁に交換する必要が生じる場合があります。

5. 車輪駆動ハブ



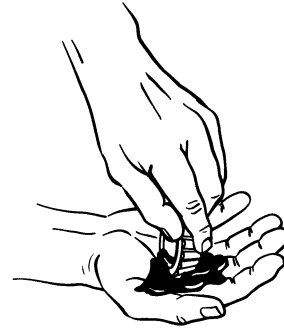
注油箇所 - レベル / 給油栓

容量 - 0.75 L (25.5 オンス) (満杯の 1/2)

潤滑油 - EPGL

間隔 - 3 か月または稼働 150 時間ごとに残量を確認、2 年または稼働 1200 時間ごとに交換

6. 車輪ベアリング



潤滑油ポイント - 詰めなおし

容量 - A/R

潤滑油 - MPG

間隔 - 2 年または稼働 1200 時間ごと

### 7.1 バッテリーのメンテナンスおよび充電

#### ⚠ 警告

爆発による負傷事故を防止するために、保守作業中にはバッテリー近くでの喫煙、火花または火気は避けてください。バッテリーを扱うときは常に目および手を保護するものを着用してください。

### バッテリーのメンテナンス、四半期ごと

1. バッテリーボックスのカバーを開いてバッテリー端子および通気キャップにアクセスできるようにします。

#### ⚠ 注意

バッテリーに水を追加する際は、電解液がプレートを覆うまで水を追加します。電解液がプレートを覆わない限りバッテリーを充電しないでください。

**注意：** バッテリーに蒸留水を追加する際は、非金属製の容器および/または漏斗を使用してください。

電解液があふれないようにするために、充電後バッテリーに蒸留水を追加します。

バッテリーに水を加える際は、マークのある位置まで、またはセパレータの上 9.5 mm (3/8 インチ) までのみ補充します。

2. 全ての通気キャップを取り外して各セルの電解液レベルを点検してください。電解液レベルは、バッテリーの最上部から約1インチの輪でなければなりません。バッテリーには蒸留水のみを充填します。全ての通気キャップを元に戻して締め付けます。
3. 負極から順番に1本ずつ、バッテリーポストからバッテリーケーブルを取り外します。ケーブルを酸性中和溶液（重層および水またはアンモニアなど）とワイヤーブラシで掃除します。必要に応じてケーブルおよび/またはケーブル締付けボルトを交換します。
4. ワイヤーブラシでバッテリーポストを清掃し、ケーブルをポストに再接続します。非接触面に鋳物グリースまたは石油ゼリーを塗布します。
5. 全てのケーブルおよび端子の清掃が終わったら、ケーブルが適切に配置され、挟まれていないことを確認します。バッテリーボックスのカバーを閉めます。
6. 油圧システムを起動して適切に機能することを確認します。

## バッテリーの充電（毎日）

**注意：** バッテリーの充電時間が過度に長くなることを防ぐために、バッテリーを完全には放電させないでください。

電解液があふれないようにするために、充電後バッテリーに蒸留水を追加します。

バッテリーに水を加える際は、マークのある位置まで、またはセパレータの上9.5 mm (3/8 インチ) までのみ補充します。

1. バッテリーの充電は、毎日の作業の終わり、またはバッテリーの残量が少なくなって機械の動作性能が大幅に低下したときに行います。
2. バッテリーの充電は以下の手順に従って行います。
  - a. バッテリーボックスを開き、バッテリー充電器ボックスの蓋を開けます。

### 警告

バッテリー充電器を使用する場合は、アース付きのコンセントに充電ケーブルを差し込む必要があります。コンセントがアース付きではなく、不具合が発生した場合は、機械で重度の感電が発生する可能性があります。

- b. 充電ケーブルを外し、適切な電圧のコンセントに接続してください。
  - c. 100%のLEDが点灯するまでバッテリーを充電します。
- 注意：** バッテリーの充電が完了したら、充電ケーブルをコンセントから外します。充電ケーブルを格納します。
- d. バッテリーのケーブルが適切な位置にあり、挟まれていないことを確認します。ボックスの蓋や扉をすべて閉じてロックします。

### 7.2 タイヤおよび車輪

#### タイヤの交換

JLG は交換用タイヤがもともと機械に設置された物と同じサイズ、プライ、ブランドである事をお勧めします。特定の機械・モデルに承認されたタイヤの部品番号については、JLG 部品マニュアルを参照してください。JLG 認可交換タイヤを使用していない場合、交換タイヤが以下の特性を有すること推奨します。

- ・ もともとの層 / 定格負荷やサイズと同等
- ・ タイヤトレッドコンタクト幅が最初のものと同様以上
- ・ 元と同じ車輪径、幅、オフセット寸法
- ・ タイヤメーカーによって用途に対して承認済み（空気圧力とタイヤの最大負荷を含む）

JLG 工業によって特別に承認されない限り、フォーム充填またはバラスト充填のタイヤ・アセンブリーを空気タイヤと交換してはなりません。交換用タイヤを選択、取り付けするとき、すべてのタイヤを JLG の推奨圧力まで膨らませてください。タイヤブランド間のサイズ違いがあるので、同一軸の両方のタイヤは同一ブランドでなければなりません。

#### 車輪とタイヤの交換

それぞれの製品モデルに取り付けられたリムは、わだち幅、タイヤ圧や負荷容量などの安定性必要事項を満たすように設計されています。リム幅、センターピース位置、直径の大小などのサイズが、工場からの文書による推奨なく変更されれば、安定性条件の安全が失われることがあります。

#### 車輪の取り付け

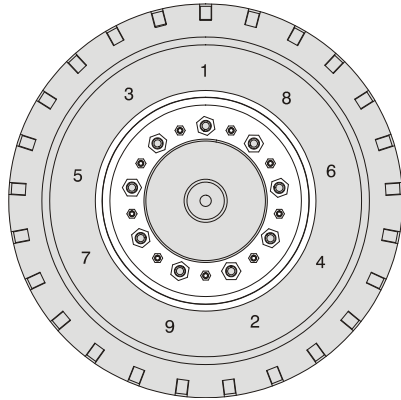
車輪を取り付けるとき、正しいトルクを与え・保守することが非常に重要です。

#### 警告

**車輪の緩み、スタッドの折れ、危険な軸から車輪のはずれの可能性などを防止するために、車輪ナットは正しいトルクで取り付け、維持されなければなりません。車輪のコーン角度に合ったナットのみを使用します。**

車輪が緩むのを防ぐ適正なトルクでラグナットを締めます。トルクレンチを使ってファスナーを締めます。トルクレンチがない場合は、ラグレンチでファスナーを締め、次にすぐサービスステーションやディーラーへ行き、ラグナットを適正トルクで締めてもらいます。締めすぎると、車輪のスタッドの破損、あるいは取り付けスタッド穴の変形につながります。車輪を正しく取り付ける手順は次のとおりです。

1. クロススレッドを防ぐため最初はすべてのナットで手を使います。スレッドやナットに潤滑剤は使用しないでください。
2. 次の順序でナットを締めます。



3. ナットの締め付けは数段階に分けて行います。推奨順序に従い、ホイールトルクに合わせてナットを締めます。
4. 使用を開始して稼働 50 時間経過後、および車輪交換後に車輪ナットを締めなおしてください。最初の 10 マイル、25 マイル、および再度 50 マイル後に、トルクをチェックします。以後は、定期的にチェックしてください。

表 7-16. ホイールトルク表

締め付け順序		
第 1 段階	第 2 段階	第 3 段階
55 Nm (40 ポンド - フィート)	130 Nm (95 ポンド - フィート)	230 Nm (170 ポンド - フィート)

## 7.1 補足情報


以下の情報は欧州機械指令 2006/42/EC の要件に従って提供するもので、対象は CE 機のみです。

電動作業車の場合、作業バスケット上の等価 A 特性音圧レベルは 70 dB(A) 未満です。

内燃エンジン機の場合、欧州指令 2000/14/EC (環境での屋外用機器による騒音出力)、補遺 III 第 B 部、方法 1 および 0 に従った試験方法による音響出力レベル (LWA) は 104 dB です。

ハンドアームシステムがさらされる振動の合計値は、 $2.5 \text{ m/s}^2$  を超過することはありません。全筐体がさらされる、加重加速度の平均平方根の最高値は  $0.5 \text{ m/s}^2$  を超過することはありません。

セクション7- 一般仕様およびオペレータ保守

 メモ：




## セクション8. 点検と修理の記録

機械のシリアル番号 \_\_\_\_\_

表 8-1. 点検と修理の記録

日付	コメント

## セクション8- 点検と修理の記録

表 8-1. 点検と修理の記録

日付	コメント





3123980



An Oshkosh Corporation Company

**本社**

**JLG Industries, Inc.**

**1 JLG Drive**

**McConnellsburg, PA 17233-9533 USA**

**☎ (717) 485-5161 (代表)**

**☎ (877) 554-5438 (カスタマーサポート)**

**☎ (717) 485-6417**

**JLG の世界中の拠点については、弊社ウェブサイトをご参照ください。**

**[www.jlg.com](http://www.jlg.com)**